

第4次館山市総合計画後期基本計画策定

館山市 市民まちづくり

アンケート報告書

令和2年5月

目次

1. 調査の設計	1
(1) 調査の趣旨	1
(2) 調査の方法等	1
2. 調査結果	2
(1) 回答者プロフィール.....	2
(2) 館山市への愛着について.....	14
(3) 館山市全体について.....	18
(4) 施策への評価	25
(5) 館山市の防災について.....	28
(6) 近所づきあい・地域コミュニティについて	35
(7) 市民協働について.....	38
(8) 行財政改革について.....	47
(9) 広報・情報発信について	49
(10) 新たな時代の潮流について.....	52
(11) その他.....	55

1. 調査の設計

(1) 調査の趣旨

館山市の令和3年度から令和7年度の「第4次館山市総合計画後期基本計画」を策定するにあたり、現行のまちづくりへの評価や、今後のまちづくりに対する市民の意見や考えを把握することで、計画策定の際の参考とする。

(2) 調査の方法等

①調査時期	令和2年1月27日～2月28日
②調査対象	市内に居住する満16歳以上の方の中から、無作為に抽出された3,000人
③調査方法	郵送による発送・回収（無記名）
④回答結果	配布数：3,000 有効回答数：1,103 有効回答率：36.8%
⑤調査結果の見方	<ul style="list-style-type: none">▶ 集計結果は各設問の標本数を100%とした百分比(%)で表示した。原則として小数点第2位を四捨五入してあるため、その結果としてこの比率の合計が100%にならない場合もある。▶ 1人の回答者に2つ以上の回答を認めた設問では、百分比(%)の合計は、100%を上回る場合がある。▶ 本文中の「n」はその設問についての有効回答数を示している。▶ 文中の「SA」、「MA」は以下の略称である。 「SA」(Single Answer)：単一回答形式 「MA」(Multiple Answer)：複数回答形式▶ 本文中のグラフ、表中の選択肢表記は、見やすさに配慮するために、語句を簡略化してある場合がある。▶ 本文中のグラフは、見やすさに配慮し、複数のものをまとめてある場合がある。

2. 調査結果

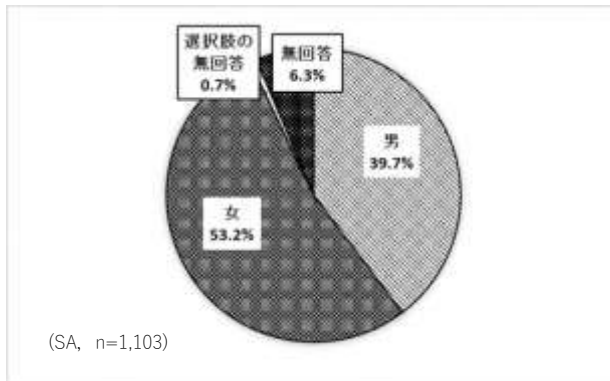
(1) 回答者プロフィール

①性別

回答者の性別は、男性が39.7%、女性が53.2%となり、女性が半数を超えた。

ただし、調査票配布数は、人口構成を考慮し女性に多く配布している。

(選択肢：1. 男 2. 女 3. その他 4. 無回答)

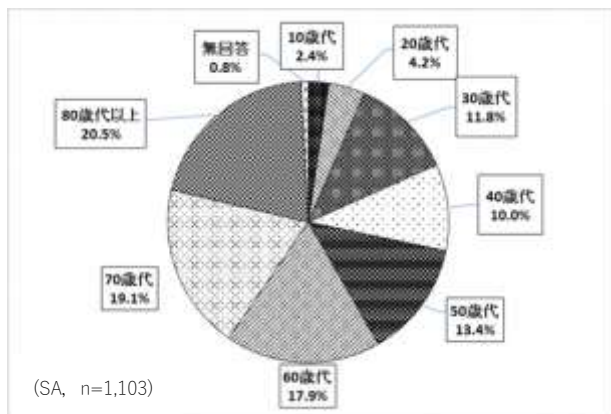


〈参考：配布率と回答率の比較〉

性別	配布率	回答率
男性	49.3%	39.7%
女性	50.7%	53.2%
その他	—	0.0%
選択肢の無回答	—	0.7%
無回答	—	6.3%

②年代

回答者の年代は、80歳代以上が最も割合が高く20.5%、次いで70歳代が19.1%、60歳代が17.9%となり、60歳代以上が半数を超えた。人口構成を考慮した配布率と比較しても、年代が上がるにつれて回答率が高くなっている。

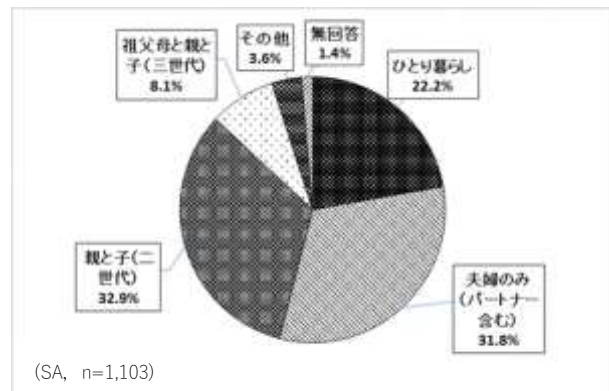


〈参考：配布率と回答率の比較〉

年代	配布率	回答率
10歳代	4.1%	2.4%
20歳代	10.7%	4.2%
30歳代	14.2%	11.8%
40歳代	14.2%	10.0%
50歳代	14.2%	13.4%
60歳代	14.2%	17.9%
70歳代	14.2%	19.1%
80歳代以上	14.2%	20.5%
無回答	—	0.8%

③家族構成

回答者の家族構成は、「親と子の二世代」が最も割合が高く 32.9%、次いで「夫婦のみ」が 31.8% となった。



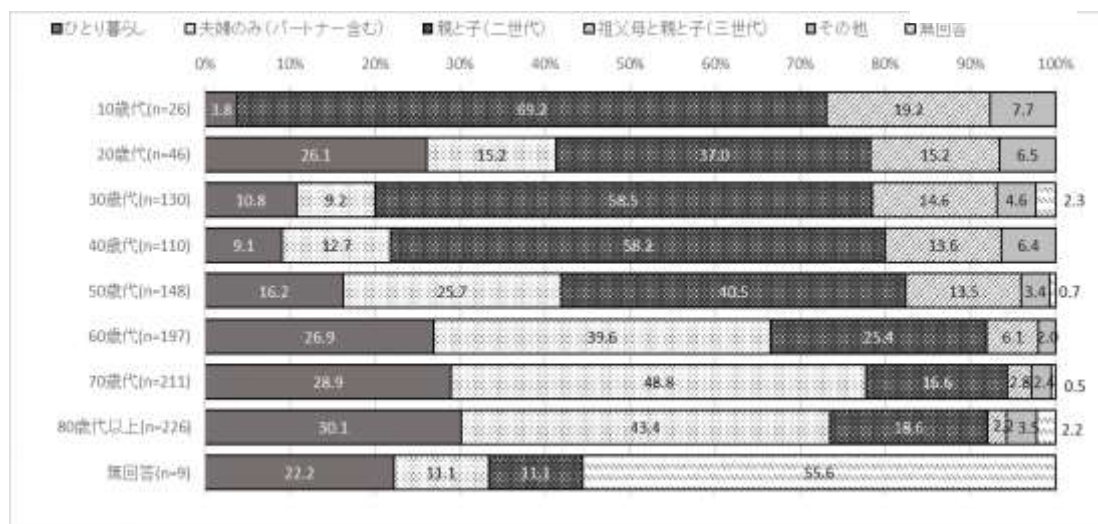
<年代別>

家族構成を年代別にみると、「ひとり暮らし」は 80 歳代以上が最も割合が高く 30.1%となっている。

また、「夫婦のみ」も 40 歳代までは 1 割程度だが、50 歳代から割合は高くなり、70 歳代では 48.8%となっている。

一方、「三世代」は 10 歳代では 2 割近くとなっているが、年代が上がるにつれて割合は低くなり、70 歳代では 2.8%、80 歳代以上では 2.2%と少ない。

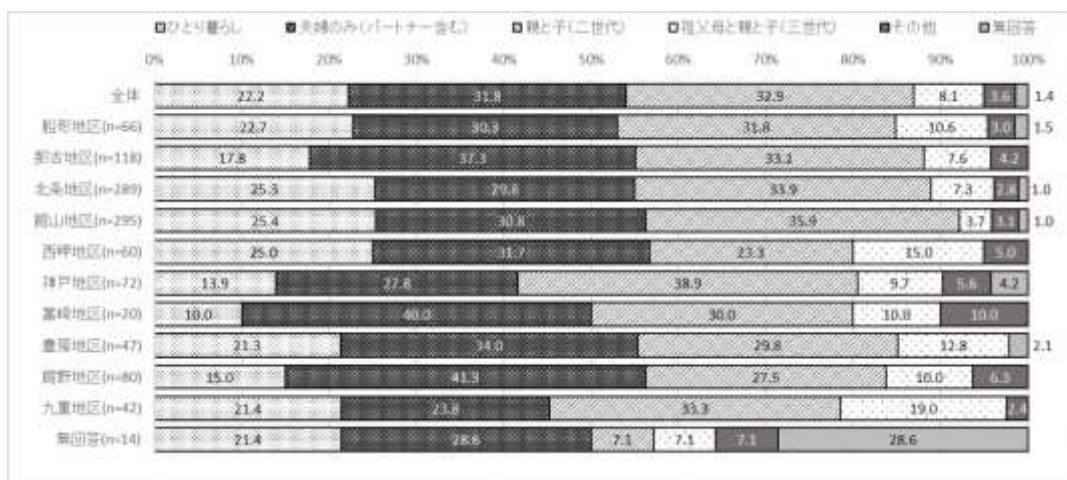
家族構成 (年代別)



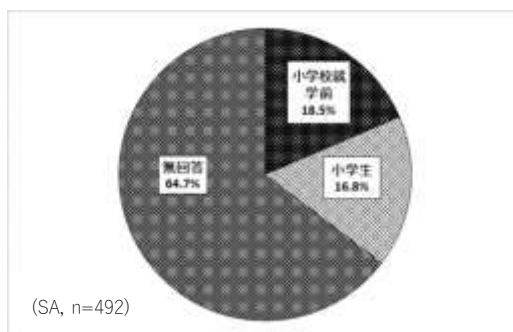
<地域別>

家族構成を地域別にみると、「ひとり暮らし」は北条地区、館山地区、西岬地区で割合が高く、「三世代」は九重地区や西岬地区で割合が高い。

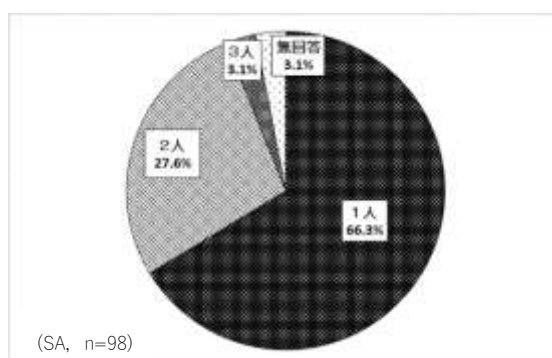
家族構成（地域別）



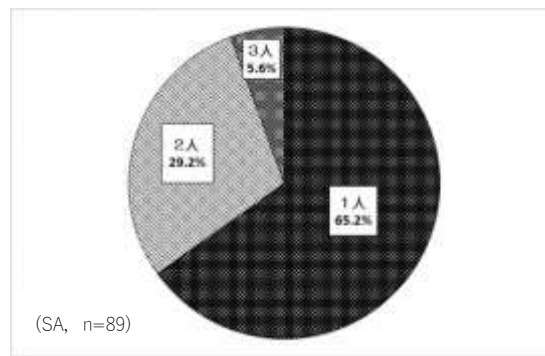
③ A. 同居する小学生以下の子ども



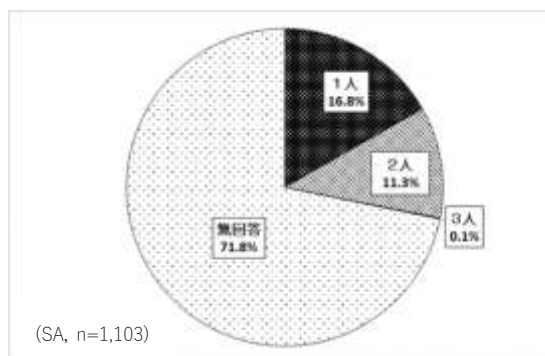
③ A - 1. 同居する小学校就学前の子どもの人数



③ A - 2. 同居する小学生の人数

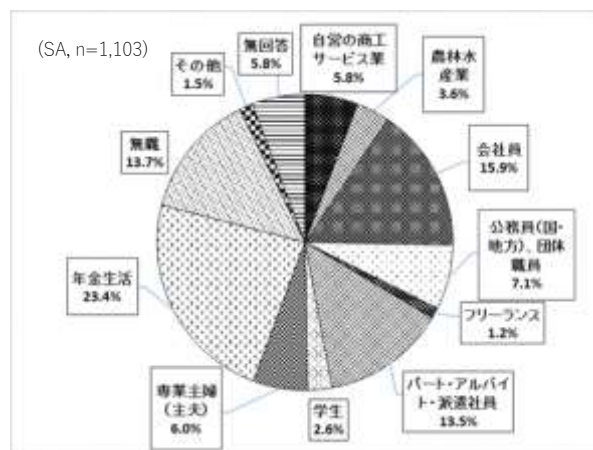


③ B. 同居する 75 歳以上の人数



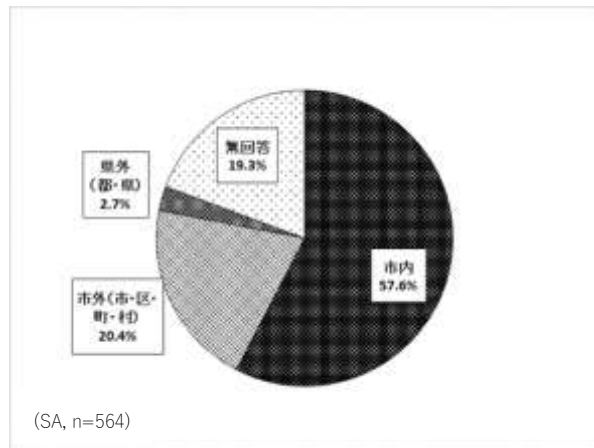
④ 職業

回答者の職業は、「年金生活者」が最も割合が高く 23.4%、次いで「会社員」が 15.9%、「無職」が 13.7%、「パート・アルバイト・派遣社員」が 13.5%となった。



④ A. 通勤・通学先

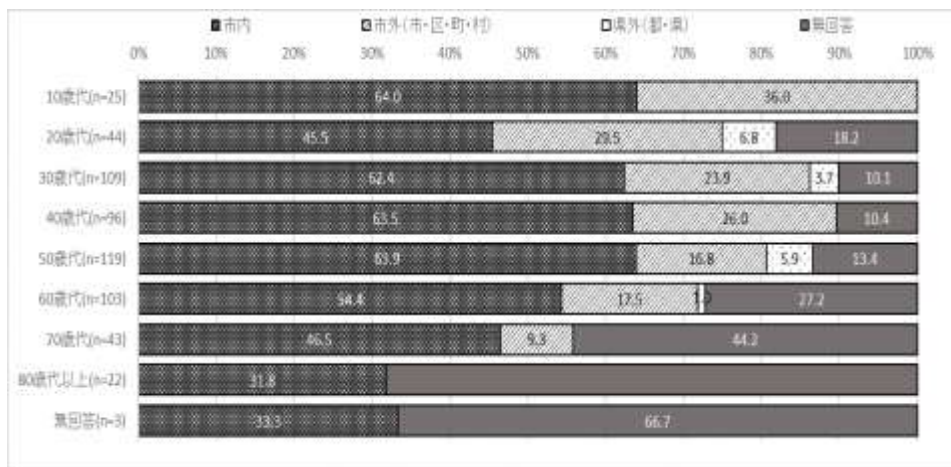
通勤・通学している回答者の通勤・通学先は、「市内」が 57.6%、「市外」が 20.4%となった。



<年代別>

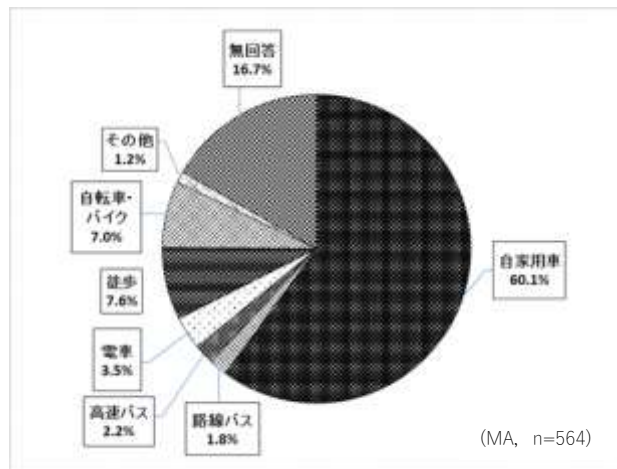
通勤・通学先を年代別にみると、「市外」と「県外」を合わせた“市外”への通勤・通学先の割合が最も高いのは 20 歳代で 36.3%、次いで 10 歳代が 36.0%、30 歳代が 27.6%と若い世代で高い割合となった。

通勤・通学先（年代別）



④B. 交通手段

通勤・通学の手段は「自家用車」(60.1%)に回答が集中しており、「電車」(3.5%)、「路線バス」(1.8%)などの公共交通利用者は少数であった。

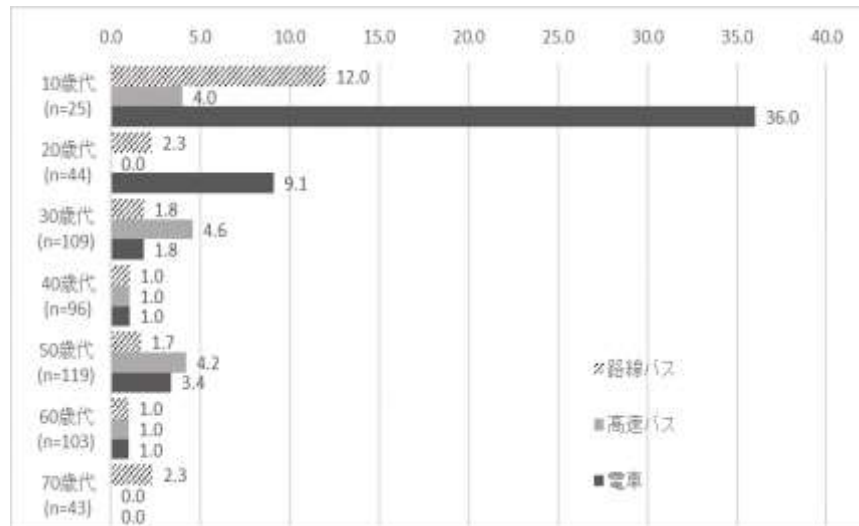


<年代別>

通勤・通学手段のうち、公共交通の利用状況を年代別にみると、10歳代では「電車」は36.0%、「路線バス」は12.0%と、他の年代に比べて利用割合が高い。

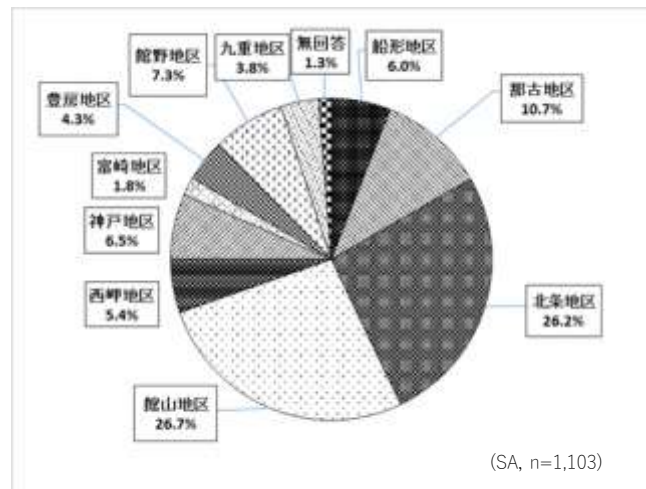
「高速バス」は全体として利用は少ないが、30歳代が4.6%、50歳代が4.2%、10歳代が4.0%となった。

通勤・通学手段（年代別：公共交通のみ）



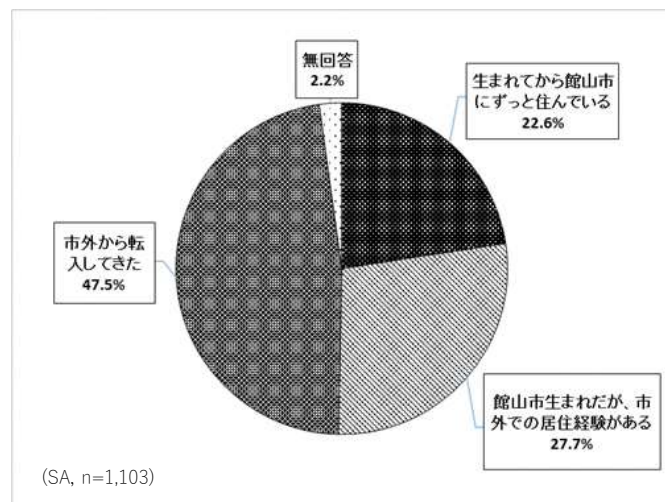
⑤居住地区

居住地区は「館山地区」が最も割合が高く26.7%、次いで「北条地区」が26.2%、「那古地区」が10.7%などとなった。最も割合が低いのは「宮崎地区」(1.8%)となった。



⑥居住状況

居住状況は、「市外から転入してきた」が最も割合が高く47.5%と半数近くを占めた。また、「館山市生まれだが、市外での居住経験がある」と回答した、いわゆるUターンした者の割合は27.7%となり、「生まれてから館山市にずっと住んでいる」(22.6%)を上回った。

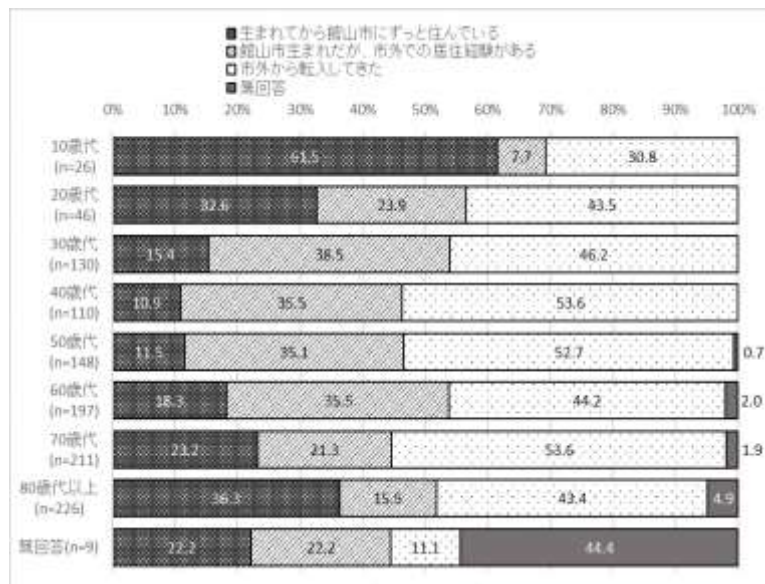


<年代別>

居住状況を年代別にみると、10歳代では「生まれてから館山市にずっと住んでいる」が61.5%と最も割合が高く、次いで80歳代以上が36.3%となった。

「市外から転入してきた」は20歳代以上の年代で半数前後と高い割合となっている。

居住状況（年代別）



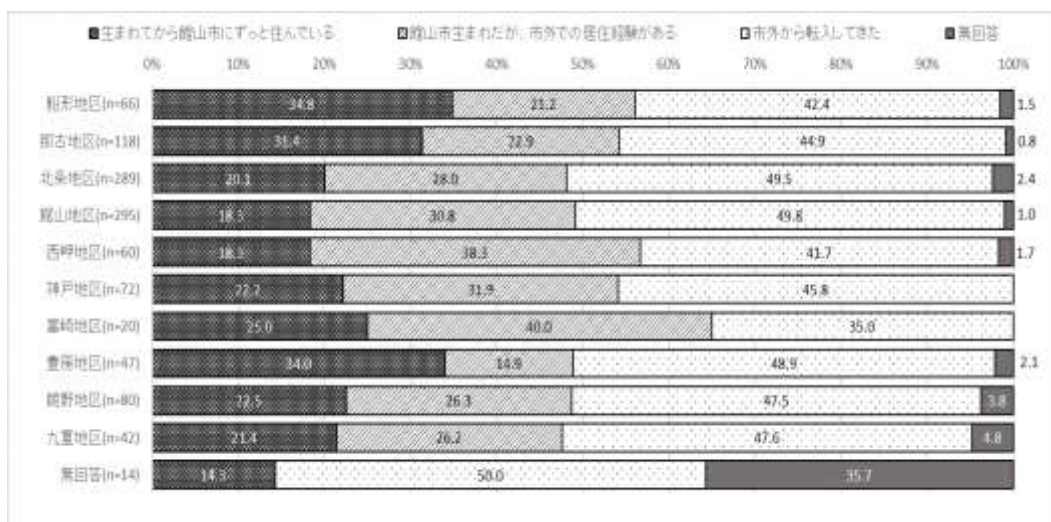
<地区別>

居住状況を地区別にみると、「生まれてから館山市にずっと住んでいる」は船形地区と豊房地区、那古地区で割合が高く、3割以上となった。

「館山市生まれだが、市外での居住経験がある」は、富崎地区や西岬地区で高く、最も割合が低い豊房地区では14.9%となった。

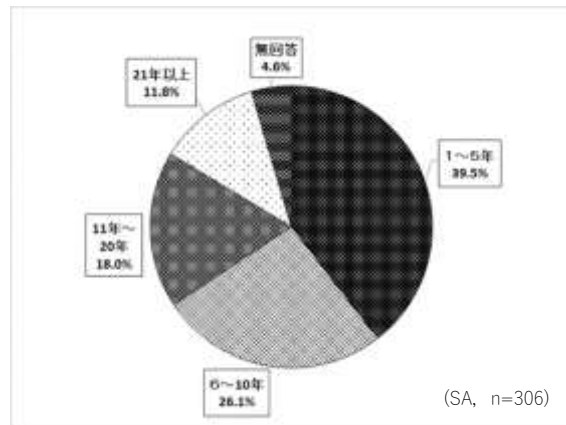
「市外から転入してきた」は、館山地区で最も割合が高く49.8%、次いで北条地区、豊房地区などとなった。

居住状況（地区別）



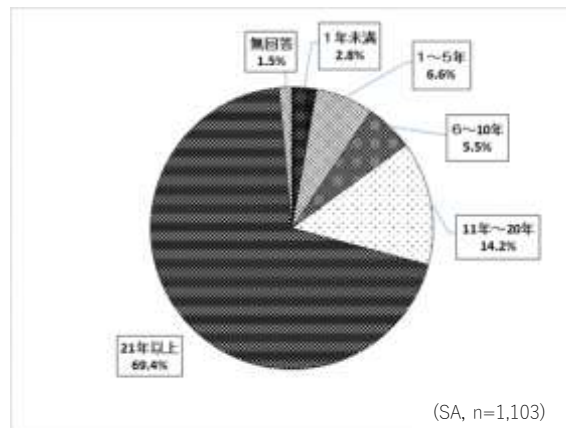
⑥居住経験年数

居住経験年数は「1～5年」が最も割合が高く、39.5%となった。



⑦居住年数

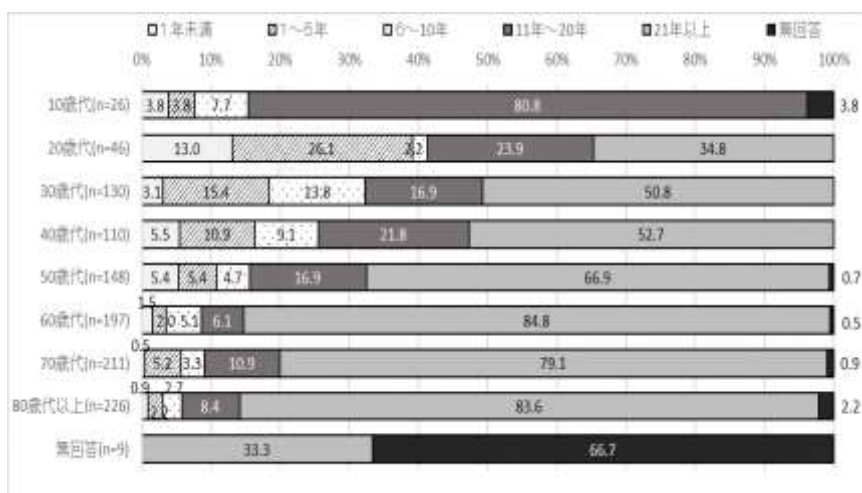
居住年数は「21年以上」が最も割合が高く69.4%となった。



<年代別>

居住年数を年代別にみると、年齢が上がるにつれて居住年数も長くなる傾向にあるが、比較的居住年数の短い「1～5年」は20歳代で最も割合が高く26.1%、「6～10年」は30歳代で最も割合が高く13.8%となった。

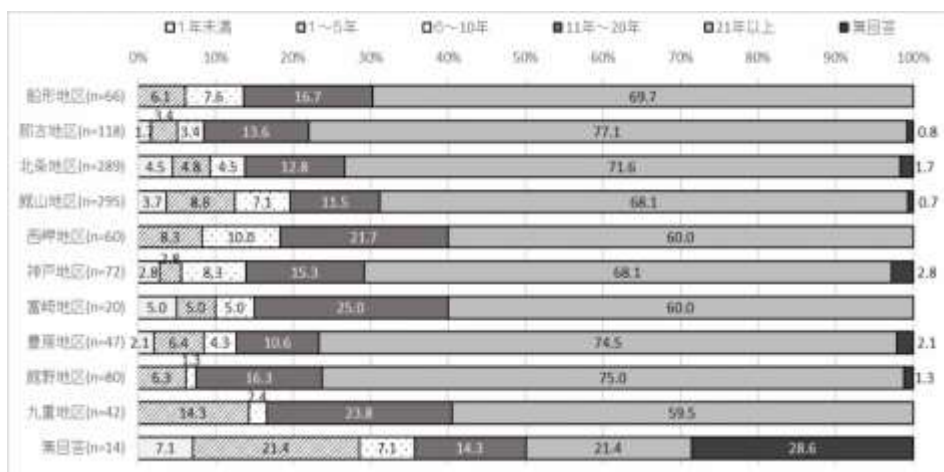
居住年数（年代別）



<地区別>

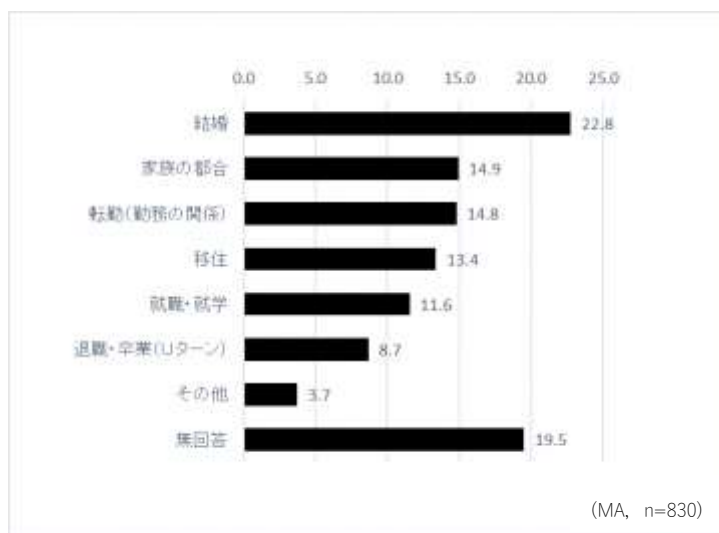
居住年数を地区別にみると、「1～5年」は九重地区で最も割合が高く14.3%、次いで館山地区（8.8%）、西岬地区（8.3%）となっている。また、居住年数が11年以上の割合が高いのは、立野地区（91.3%）、那古地区（90.7%）で、9割を超えた。

居住年数（地区別）



⑧転入理由

転入理由は、「結婚」が最も割合が高く22.8%となったが、他の理由はほぼ同じくらいの割合であり、「移住」も13.4%となった。

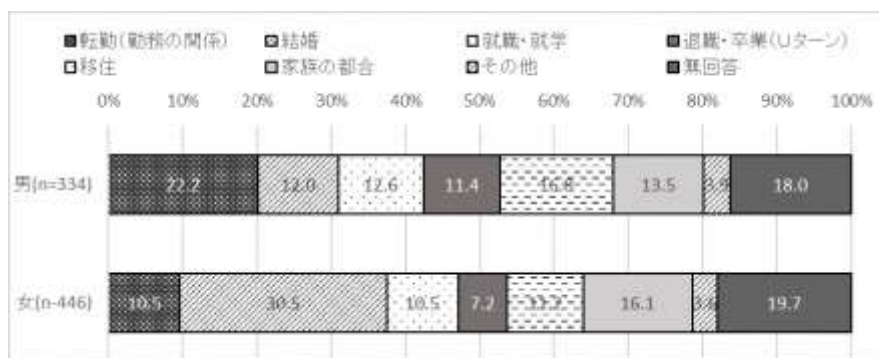


<性別>

転入理由を性別で見ると、男性は「転勤」が最も割合が高く 22.2%、次いで「移住」、「家族の都合」などとなった。

女性では「結婚」が最も割合が高く 30.5%、次いで「家族の都合」、「移住」などとなった。

転入理由（性別）



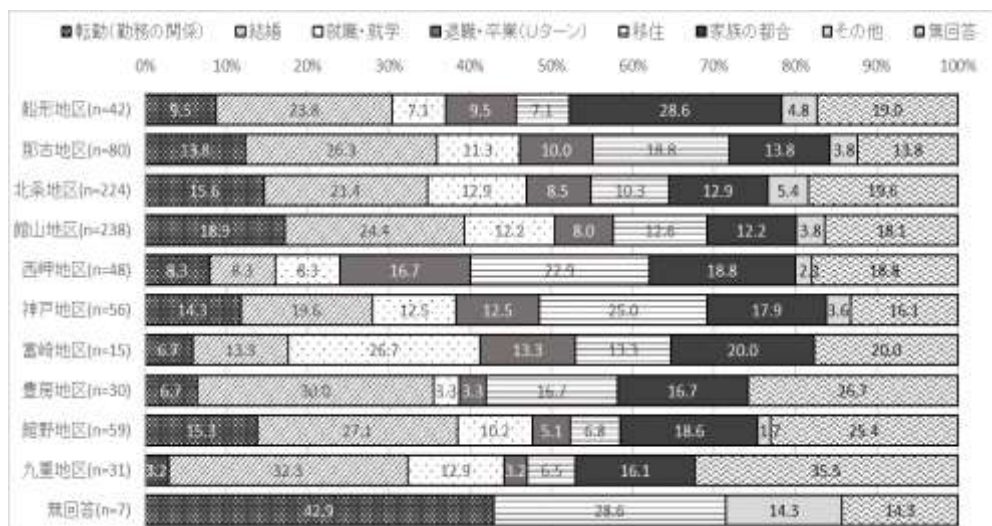
<地区別>

転入理由を地区別で見ると、「転勤」は館山地区が最も割合が高く 18.9%、「結婚」は九重地区で最も高く 32.3%、次いで豊房地区、館野地区などとなった。

「移住」は神戸地区で最も高く 25.0%、次いで西岬地区 (22.9%)、那古地区 (18.8%) などとなった。

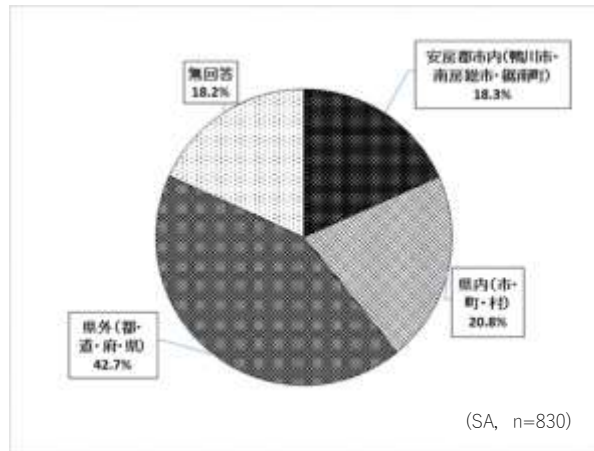
10地区のうち「移住」の割合が1割を超えているのは、ほかに豊房地区 (16.7%)、富崎地区 (13.3%)、館野地区 (10.3%)、北条地区 (10.3%) を加えた7地区となった。

転入理由（地区別）



⑨以前に住んでいた地域

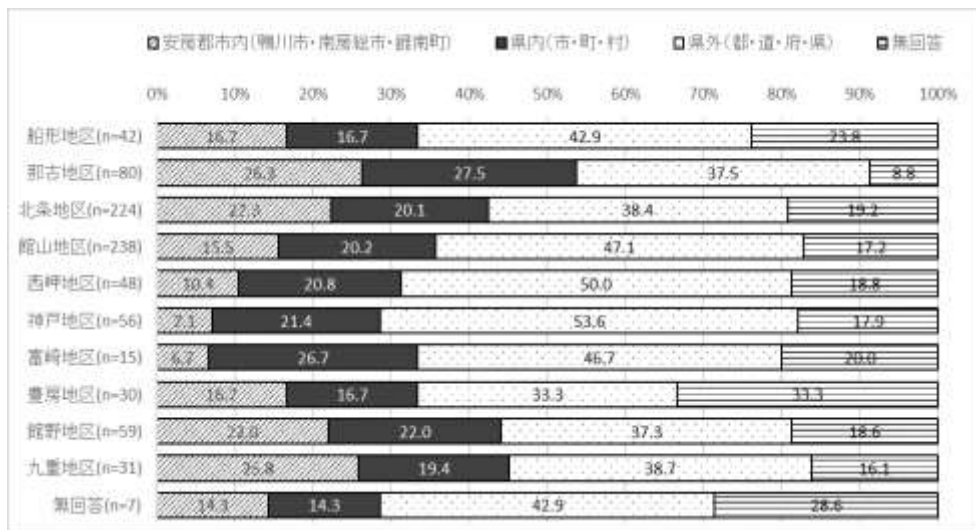
転入以前の居住地は「県外」が最も割合が高く 42.7%となり、次いで県内（20.8%）、安房郡市内（18.3%）となった。



<地区別>

転入以前の居住地を地区別にみると、「県外」の割合が最も高いのは神戸地区で 53.6%、次いで西岬地区で 50.0%、館山地区（47.1%）となった。

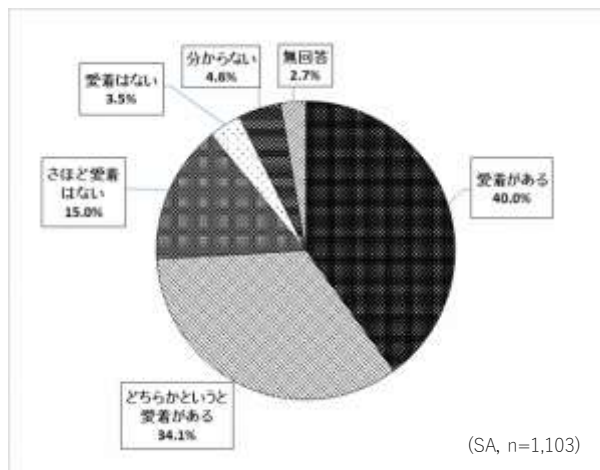
転入以前の居住地（地区別）



(2) 館山市への愛着について

問1. 館山市への愛着、魅力度

館山市への愛着では、「愛着がある」(40.0%)、と「どちらかというとな愛着がある」(34.1%)を合わせると、「愛着がある」は7割を超えた。

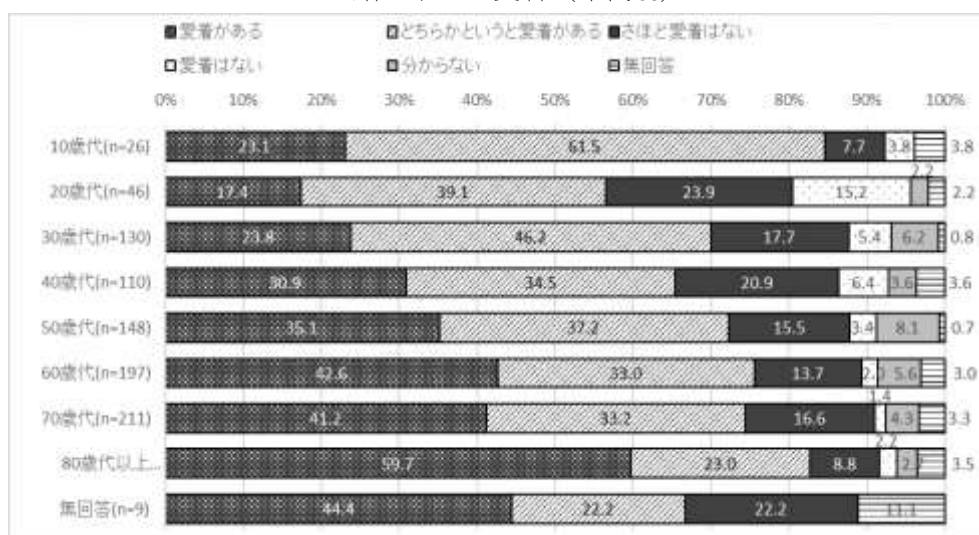


<年代別>

館山市への愛着を年代別にみると、「愛着がある」の割合が最も高いのは80歳代以上であり、年代が上がるに従って愛着を持つ割合が高まる傾向にある。

一方、「愛着はない」、「さほど愛着はない」は20歳代で最も割合が高く、合わせると“愛着はない”は39.1%となった。

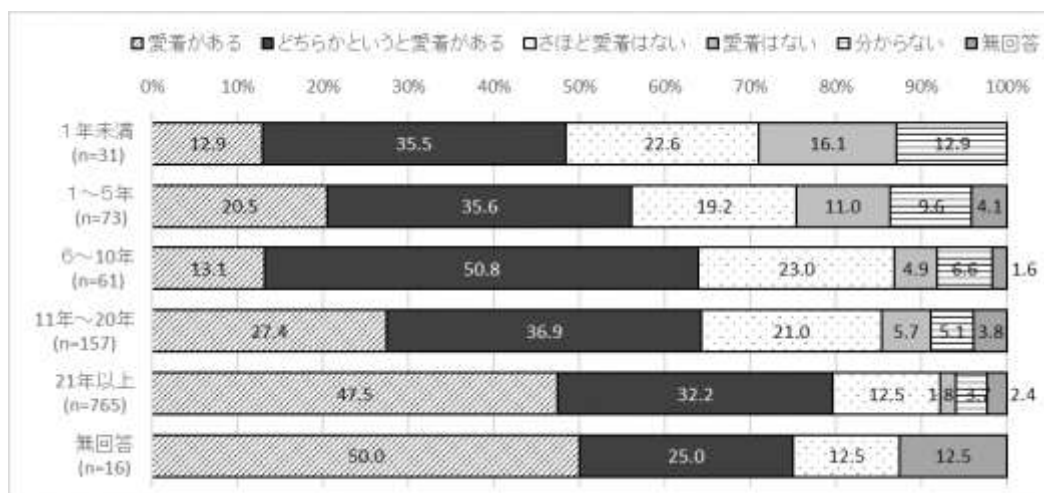
館山市への愛着（年代別）



< 居住年数別 >

館山市の愛着を、居住年数別にみると、「愛着がある」、「どちらかという愛着がある」を合わせた“愛着がある”の割合は、居住年数が長くなるほど高いことがわかる。

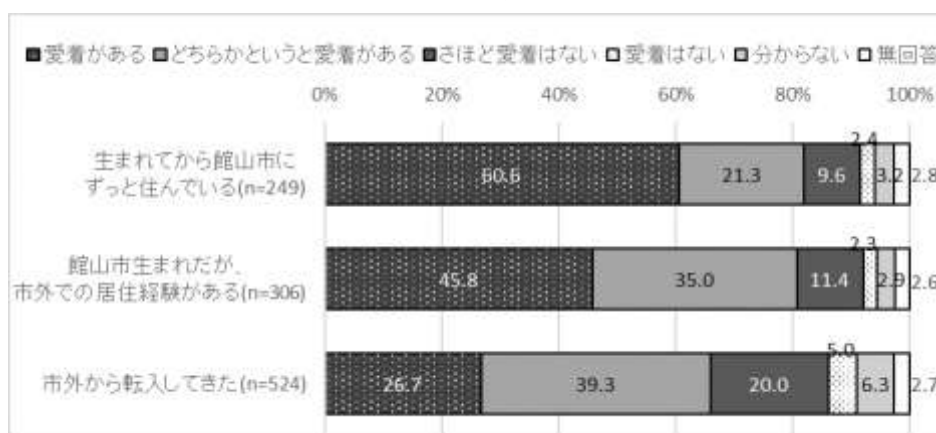
館山市への愛着（居住年数別）



< 居住状況別 >

館山市の愛着を、居住状況別にみると、「生まれてから館山市にずっと住んでいる」や「館山市生まれだが、市外での居住経験がある」では、“愛着がある”と回答した割合は8割を超えており、館山市生まれの市民の愛着度が高いことがわかる。

館山市への愛着（居住状況別）



問2. 「郷土の誇り」や「おすすめしたいもの」など

1. 来訪者に自慢したい素敵な場所や風景

「海（海岸・鏡ヶ浦）」が45.1%と突出して多く、「夕日」が12.1%で続く。

1. 来訪者に自慢したい素敵な場所や風景	回答割合 (%)
海（海岸・鏡ヶ浦）	45.1
夕日	12.1
富士山	7.9
城山（館山城）	6.2
その他	3.1
崖観音	2.9
花	2.9
沖ノ島	2.5
平砂浦	1.6
フラワーライン	1.2
ウミホテル	0.9
マキの生垣	0.8
南欧風の街並み	0.3
無回答	12.5

(SA, n=1,103)

2. 館山市の食べ物・お土産でおすすめしたいもの

「海産物（魚・刺身）」が42.1%と突出して多く、「びわ」が12.1%で続く。

2. 館山市の食べ物・お土産でおすすめしたいもの	構成比 (%)
海産物（魚・刺身）	42.1
びわ	12.1
いちご	9.7
寿司	7.4
さんが焼・なめろう	6.3
落花生	5.2
その他	3.0
野菜	2.3
無回答	12.0

(SA, n=1,103)

3. 対外的にPRしたいイベント・行事

「花火大会」が45.2%と突出して多く、次いで「やわたんまち」（18.2%）、「南総里見まつり」（10.7%）、「若潮マラソン」（10.6%）が続く。

3. 対外的にPRしたいイベント・行事	構成比 (%)
花火大会	45.2
やわたんまち	18.2
南総里見まつり	10.7
若潮マラソン	10.6
フラメンコ	1.8
その他	3.8
無回答	9.6

(SA, n=1,103)

4. 館山市ならではの歴史・文化・芸術

「里見氏・八犬伝」が32.7%で最も多く、次いで「地域の祭り」が22.1%となっている。

4. 館山市ならではの歴史・文化・芸術	構成比 (%)
里見氏・八犬伝	32.7
地域の祭り	22.1
房州うちわ	9.1
城山	8.2
神社仏閣	6.0
戦争遺跡	4.6
その他	3.3
青木繁 (海の幸)	2.4
無回答	11.6

(SA, n=1,103)

5. 館山市が誇れる著名人

「XJAPANのYOSHIKIとToshi」が55.6%と突出して多く、続く「さかなクン」(23.1%)と合わせると8割近くを占める。

5. 館山市が誇れる著名人	構成比 (%)
XJAPANのYOSHIKIとToshi	55.6
さかなクン	23.1
島田順子	2.7
その他	2.6
福原有信	2.1
中沢けい	0.3
無回答	13.6

(SA, n=1,103)

6. 館山市で楽しめるおすすめのおすすめの趣味・スポーツ

「マリンスポーツ」が30.4%で最も多く、次いで「釣り」が22.8%となっている。

6. 館山市で楽しめるおすすめのおすすめの趣味・スポーツ	構成比 (%)
マリンスポーツ	30.4
釣り	22.8
サイクリング	9.6
ランニング	7.2
ゴルフ	6.6
その他	4.6
ビーチコーミング	2.9
トライアスロン	2.4
無回答	13.5

(SA, n=1,103)

(3) 館山市全体について

問3. 館山市が住みやすいと思う点

館山市の住みやすい点では、「自然に恵まれている」が最も割合が高く74.0%、次いで「気候が良い」が67.1%、「長年住み慣れている」が42.8%などとなった。上位には自然に関する項目が多い一方、下位にはインフラや施設など利便性に関する項目が多い。



<年代別>

住みやすい点を年代別にみると、上位3項目は年代によって大きな違いはみられないが、「食材が豊富、食べ物がおいしい」、「お祭り・イベントが魅力的である」が10歳代で50.0%と、他の世代より割合が高い。

住みやすい点 (年代別：上位)

全体 (n=1,103)	50%台以上		40%台		30%台		20%台			
	自然に恵まれている	気候が良い	長年住み慣れている	食材が豊富、食べ物がおいしい	治安が良い	車で自由に移動できる	お祭り・イベントが魅力的である			
74.0	67.1	42.8	38.5	32.6	27.5	25.0				
10歳代 (n=26)	自然に恵まれている	食材が豊富、食べ物がおいしい	お祭り・イベントが魅力的である	気候が良い	長年住み慣れている			人々が親切で人情に厚い	治安が良い	
76.9	50.0	50.0	46.2	34.6	23.1	23.1				
20歳代 (n=46)	自然に恵まれている		気候が良い		お祭り・イベントが魅力的である	長年住み慣れている	食材が豊富、食べ物がおいしい	治安が良い		
60.9			43.5	39.1	34.8	32.6	28.3			
30歳代 (n=130)	自然に恵まれている	気候が良い			長年住み慣れている	治安が良い	食材が豊富、食べ物がおいしい	車で自由に移動できる	お祭り・イベントが魅力的である	人々が親切で人情に厚い
76.2	58.5			38.5	38.5	34.6	29.2	24.6	23.1	
40歳代 (n=110)	自然に恵まれている		気候が良い		長年住み慣れている	食材が豊富、食べ物がおいしい	車で自由に移動できる	治安が良い	お祭り・イベントが魅力的である	
73.6			49.1	37.3	35.5	30.9	27.3	21.8		
50歳代 (n=148)	自然に恵まれている	気候が良い			長年住み慣れている	食材が豊富、食べ物がおいしい	治安が良い	車で自由に移動できる	お祭り・イベントが魅力的である	
76.4	70.9			38.5	35.8	31.1	25.0	23.6		
60歳代 (n=197)	自然に恵まれている	気候が良い	長年住み慣れている	食材が豊富、食べ物がおいしい	治安が良い	車で自由に移動できる	お祭り・イベントが魅力的である			
79.7	75.1		47.2	41.1	31.5	31.0	20.8			
70歳代 (n=211)	自然に恵まれている	気候が良い	長年住み慣れている		食材が豊富、食べ物がおいしい	治安が良い	車で自由に移動できる	お祭り・イベントが魅力的である		
73.5	69.2		44.1	39.8	38.4		29.9	25.6		
80歳代以上 (n=226)	気候が良い	自然に恵まれている	長年住み慣れている	食材が豊富、食べ物がおいしい	治安が良い		車で自由に移動できる	お祭り・イベントが魅力的である	買い物などの日常生活が便利	医療や福祉制度が充実している
77.9	69.5		48.7	41.2	31.4		25.7	25.2	23.0	21.2
無回答 (n=9)	自然に恵まれている				長年住み慣れている	気候が良い	食材が豊富、食べ物がおいしい	文化施設・スポーツ施設などが充実している	お祭り・イベントが魅力的である	
66.7					33.3	33.3	22.2	22.2	22.2	

<地区別>

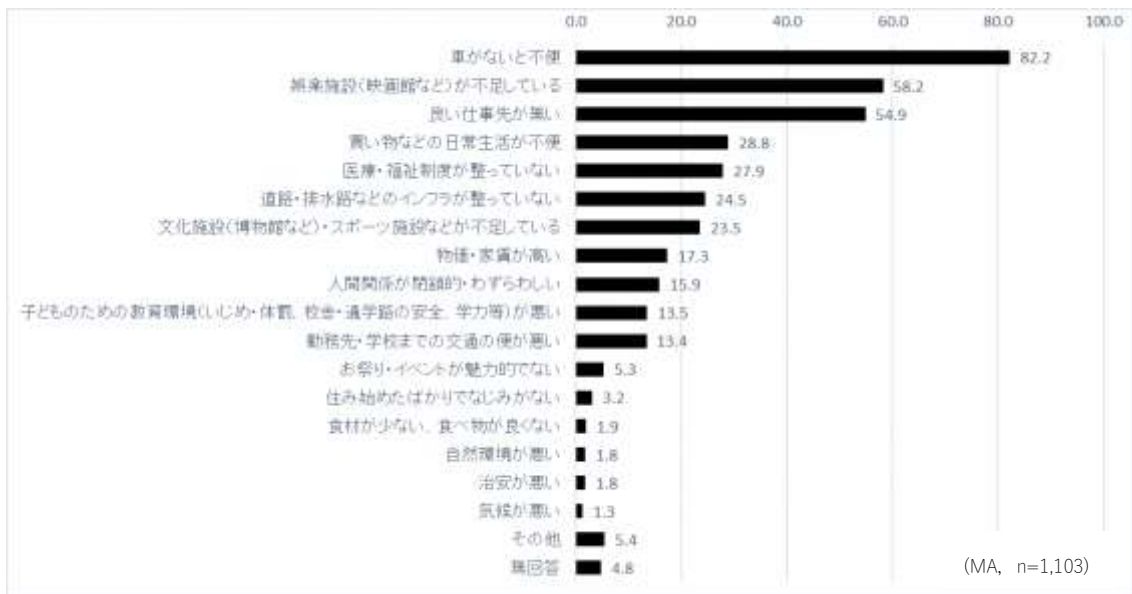
住みやすい点を地区別にみると、富崎地区では「人々が親切で人情に厚い」、「治安が良い」が50.0%、また九重地区では「食材が豊富、食べ物がおいしい」が50.0%と他の地区よりも高くなっている。

住みやすい点（地区別：上位）

	50%以上					40%台		30%台		20%台			
	自然に恵まれている	気候が良い				長年住み慣れている	食材が豊富、食べ物がおいしい	治安が良い	車で自由に移動できる	お祭り・イベントが魅力的である			
全体 (n=1,103)	74.0	67.1				42.8	38.5	32.6	27.5	25.0			
船形地区 (n=66)	74.2	72.7	54.5			40.9	34.8	31.8	21.2				
那古地区 (n=118)	72.0	68.6				49.2	48.3	30.5	28.8	22.0			
北条地区 (n=289)	72.7	61.9				45.3	33.6	31.1	28.7	24.9	24.9		
館山地区 (n=295)	72.2	67.1				40.7	36.9	31.2	27.8	25.1			
西岬地区 (n=60)	83.3	60.0				41.7	33.3	33.3	28.3	26.7	25.0		
神戸地区 (n=72)	81.9	77.8				41.7	40.3	37.5	27.8	26.4	25.0		
富崎地区 (n=20)	90.0	75.0	50.0	50.0	50.0			35.0	30.0	20.0			
豊房地区 (n=47)	80.9	68.1	53.2			44.7	42.6	36.2	25.5	25.5			
館野地区 (n=80)	77.5	67.5				43.8		37.5	33.8	28.8	21.3	20.0	
九重地区 (n=42)	78.6	69.0	50.0					31.0		26.2	26.2	23.8	21.4
無回答 (n=14)						42.9		35.7		21.4			

問3. 館山市が住みにくいと思う点

館山市の住みにくい点では、「車がないと不便」が最も割合が高く82.2%、次いで「娯楽施設（映画館など）が不足している」が58.2%、「よい仕事先がない」が54.9%となっている。



<年代別>

住みにくい点を年代別にみると、「買い物などの日常生活が不便」が70歳代、80歳代以上で3割を超え、「医療・福祉制度が整っていない」が30歳代、50歳代、60歳代で3割を超えてほかの年代より高くなっている。

住みにくい点（年代別：上位）

	50%以上			40%台	30%台		20%台			
	車がないと不便	娯楽施設（映画館など）が不足している	良い仕事先が無い		良い仕事先が無い	勤務先・学校までの交通の便が悪い	買い物などの日常生活が不便	医療・福祉制度が整っていない	道路・排水路などのインフラが整っていない	文化施設・スポーツ施設などが不足している
全体 (n=1,103)	82.2	58.2	54.9				28.8	27.9	24.5	23.5
10歳代 (n=26)	88.5	84.6			34.6	34.6	26.9	26.9		
20歳代 (n=46)	84.8	73.9		47.8	30.4		21.7			
30歳代 (n=130)	76.9	69.2	53.1		36.2	30.8	29.2	26.9		
40歳代 (n=110)	78.2	61.8	52.7				29.1	27.3	24.5	22.7
50歳代 (n=148)	86.5	70.9	62.2		35.1		27.7	23.6		
60歳代 (n=197)	86.3	62.4	56.3		33.0		27.9	25.9	25.4	21.8
70歳代 (n=211)	82.9	51.2		48.3	33.2	31.8	24.6	20.4		
80歳代以上 (n=226)	79.6	53.1		46.5	37.2		26.5	22.1	22.1	
無回答 (n=9)	66.7	55.6		44.4			22.2	22.2		

<地区別>

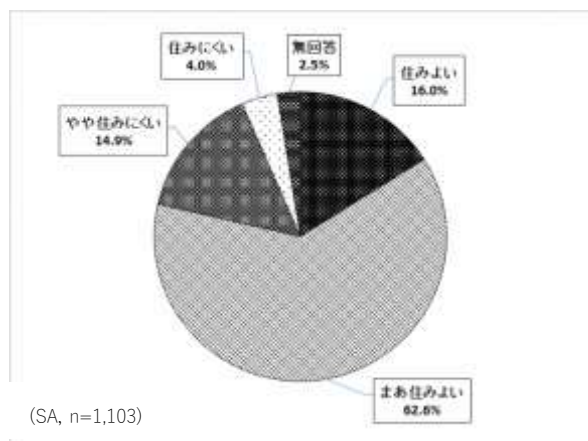
住みにくい点を地区別でみると「買い物などの日常生活が不便」が西岬地区、富崎地区で5割を超え、他の地区よりも高くなっている。

住みにくい点（地区別：上位）

全体 (n=1,103)	50%以上			40%台			30%台			20%台		
	車がないと不便	娯楽施設(映画館など)が不足している	良い仕事先が無い						買い物などの日常生活が不便	医療・福祉制度が整っていない	道路・排水路などのインフラが整っていない	文化施設・スポーツ施設などが不足している
	82.2	58.2	54.9						28.8	27.9	24.5	23.5
船形地区 (n=66)	84.8	62.1	51.5				36.4		25.8	21.2		
那古地区 (n=118)	82.2	59.3	55.1				33.1	33.1	22.0			
北条地区 (n=289)	75.8	61.9	56.1				30.1		28.0			
館山地区 (n=295)	82.7	59.7	53.9						29.2	27.8	26.4	22.4
西岬地区 (n=60)	90.0	61.7	58.3		41.7		33.3	30.0	20.0			
神戸地区 (n=72)	88.9	59.7	54.2		41.7		34.7	30.6	23.6			
富崎地区 (n=20)	95.0	65.0	55.0	50.0			30.0		25.0	20.0	20.0	
豊房地区 (n=47)	97.9	57.4			48.9		38.3		23.4	23.4		
館野地区 (n=80)	82.5	62.5	58.8				32.5		27.5	23.8		
九重地区 (n=42)	78.6	50.0			42.9		35.7	33.3	33.3	28.6	21.4	
無回答 (n=14)	64.3						35.7			28.6	21.4	21.4

問4. 館山市の住みやすさについて

館山市の住みやすさでは、「住みよい」は16.0%、「まあ住みよい」は62.6%となり、両者を合わせた“住みよい”は8割弱となった。

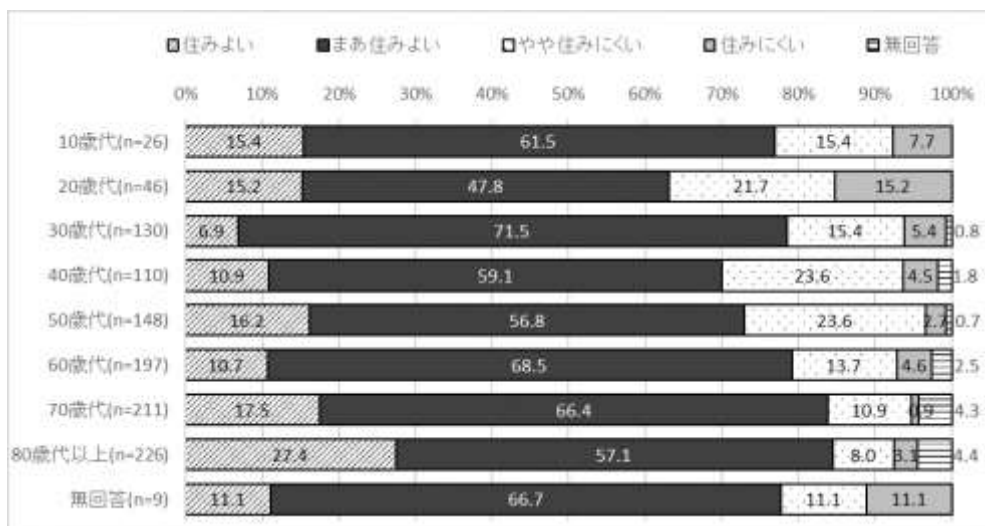


<年代別>

住み心地を年代別にみると、「住みよい」が最も高いのは80歳代以上で、「住みよい」と「まあ住みよい」を合わせた割合は、若い世代になるほど減少するが、10歳代では「住みよい」が15.4%と4番目に高く、30歳代では「まあ住みよい」が71.5%とどの年代よりも高い割合となっている。

「やや住みにくい」は40歳代、50歳代で23.6%、「住みにくい」は20歳代で15.2%と最も高くなっている。

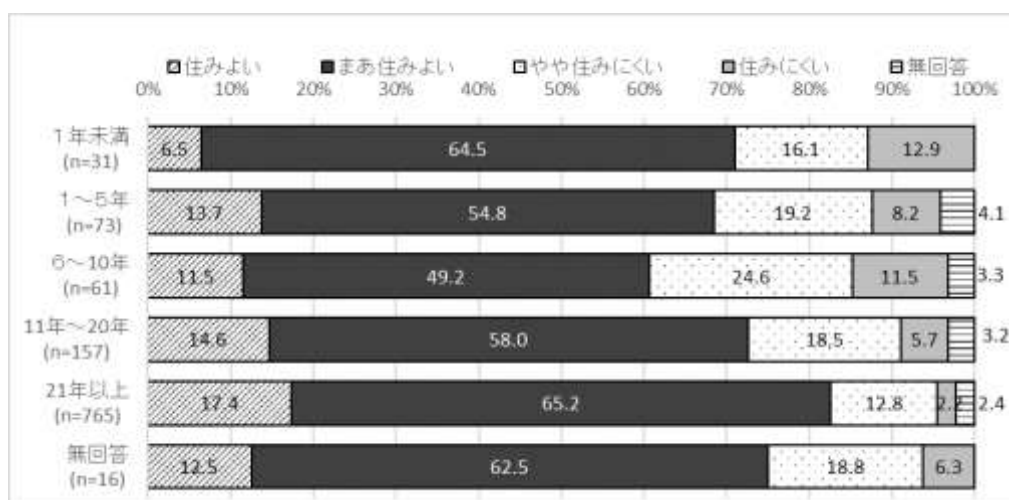
住み心地（年代別）



<居住年数別>

住み心地を居住年数別にみると、「住みよい」が最も高いのは「21年以上」で、17.4%となり、「まあ住みよい」を合わせた”住みよい”も「21年以上」で最も高くなった。

住み心地（居住年数別）

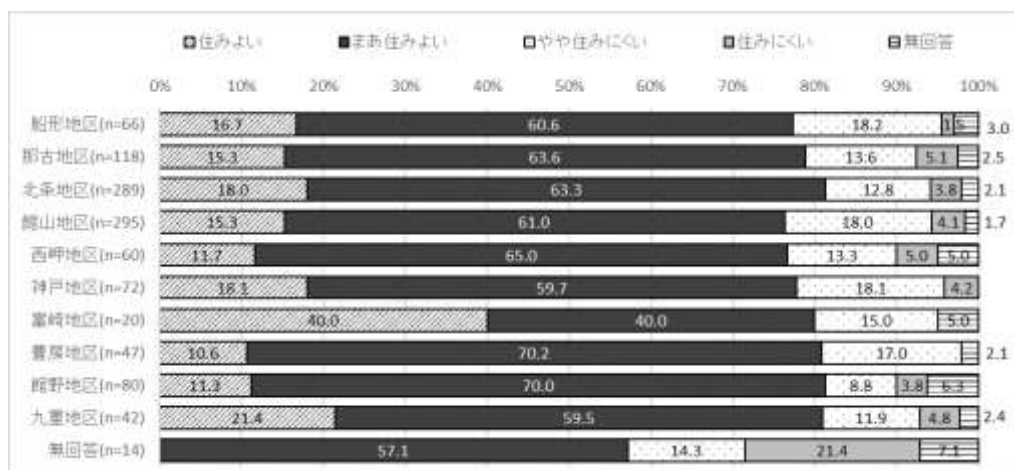


<地区別>

住み心地を地区別にみると、「住みよい」が最も高いのは富崎地区（40.0%）、次いで九重地区（21.4%）となっている。

「やや住みにくい」と「住みにくい」を合わせた“住みにくい”は神戸地区（22.3%）、館山地区（22.1%）で高かった。

住み心地（地区別）

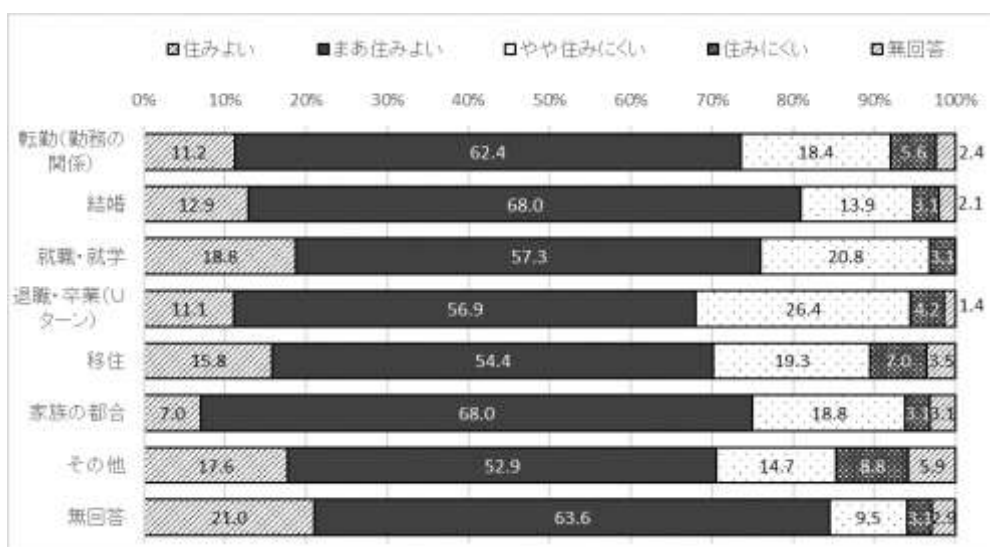


<転入理由別>

住み心地を転入理由別にみると、「住みよい」の割合が最も高いのは「就職・就学」で18.8%と他に比べて高い割合となったが、「住みよい」は「結婚」が最も割合が高くなった。

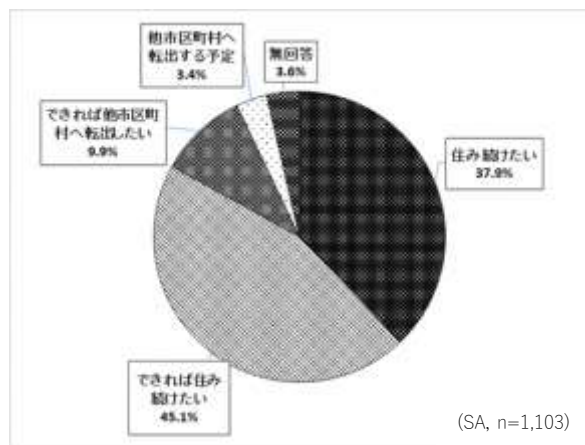
一方、「住みにくい」は「退職・卒業（Uターン）」が最も割合が高く30.6%、次いで「移住」が26.3%となっている。

住み心地（転入理由別）



問5. これからの館山市への居住意向

居住意向では、「住み続けたい」(37.9%)と「できれば住み続けたい」(45.1%)を合わせると、「住み続けたい」は8割を超えた。



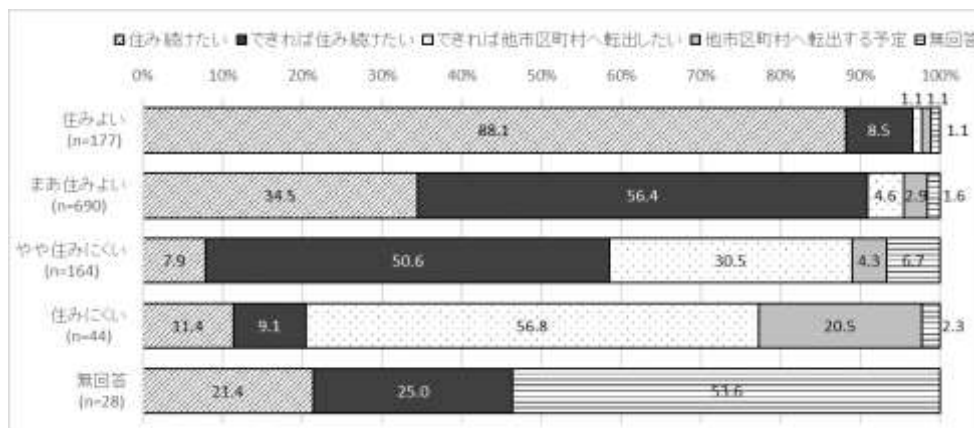
<住み心地別>

居住意向を住み心地別にみると、「住みよい」では9割近くが「住み続けたい」と回答しているが、「まあ住みよい」では「できれば住み続けたい」が半数以上を占める。

「やや住みにくい」では「住み続けたい」が7.9%まで減少するものの、「できれば住み続けたい」は半数を占めている。

「住みにくい」では、「できれば他市区町村へ転出したい」が5割を超える。

居住意向 (住み心地別)



(4) 施策への評価

問 6. 36 の施策に対する評価

①満足度

36 の施策の満足度を指数化して比較すると、最も満足の高い施策は「消防・救急の充実」で、「スポーツの振興によるまちづくり」、「歴史の継承と文化の振興」、「交通安全・防犯体制の強化」、「生涯学習の推進」が続いている。

一方、満足度の低い施策は「新たな雇用の創出と就業支援の強化」で、「交通体系の充実」、「道路環境の充実と河川整備の促進」、「住環境の充実と市街地の利便性向上」、「戦略的な行財政運営」が続いている。

※指数化：満足=2点、やや満足=1点、やや不満=-1点、不満=-2点とし、回答者数で除して指数化

【満足度】

(SA, n=1,103)

順位	施策名	満足度(指数)
1	消防・救急の充実	0.23
2	スポーツの振興によるまちづくり	0.10
3	歴史の継承と文化の振興	0.09
4	交通安全・防犯体制の強化	0.08
5	生涯学習の推進	0.05
6	地域コミュニティ活動の推進	0.05
7	健康づくりの推進	0.04
8	子育て環境の充実	0.03
9	青少年の健全育成強化	0.01
10	自然環境の保全と景観形成の促進	-0.01
11	国際交流・地域間交流の促進	-0.02
12	消費者保護対策の推進	-0.03
13	環境・衛生対策の充実	-0.04
14	市民参画の促進	-0.06
15	学校教育の充実	-0.06
16	男女共同参画の推進	-0.06
17	保健・医療体制の充実	-0.09
18	障害者福祉の充実	-0.10
19	地域福祉の推進	-0.12
20	農水産業の振興	-0.13
21	高齢者福祉の充実	-0.13
22	観光の振興	-0.14
23	資源循環型社会の構築	-0.16
24	防災体制の強化	-0.18
25	広域行政の推進	-0.18
26	情報発信力の強化	-0.18
27	交流拠点施設を核とした地域活性化	-0.21
28	移住・定住の促進	-0.22
29	公園の機能充実と緑化の推進	-0.25
30	低所得者福祉の充実	-0.25
31	商工業の振興	-0.35
32	戦略的な行財政運営	-0.35
33	住環境の充実と市街地の利便性向上	-0.38
34	道路環境の充実と河川整備の促進	-0.43
35	交通体系の充実	-0.63
36	新たな雇用の創出と就業支援の強化	-0.64

②重要度

36の施策の重要度を指数化して比較すると、最も重要な高い施策は「新たな雇用の創出と就業支援の強化」で、「防災体制の強化」、「子育て環境の充実」、「保健・医療体制の充実」、「消防・救急の充実」が続いている。

一方、重要度の低い施策は「男女共同参画の推進」で、「市民参画の促進」、「地域コミュニティ活動の推進」、「生涯学習の推進」、「国際交流・地域間交流の促進」が続いている。

【重要度】

(SA, n=1,103)

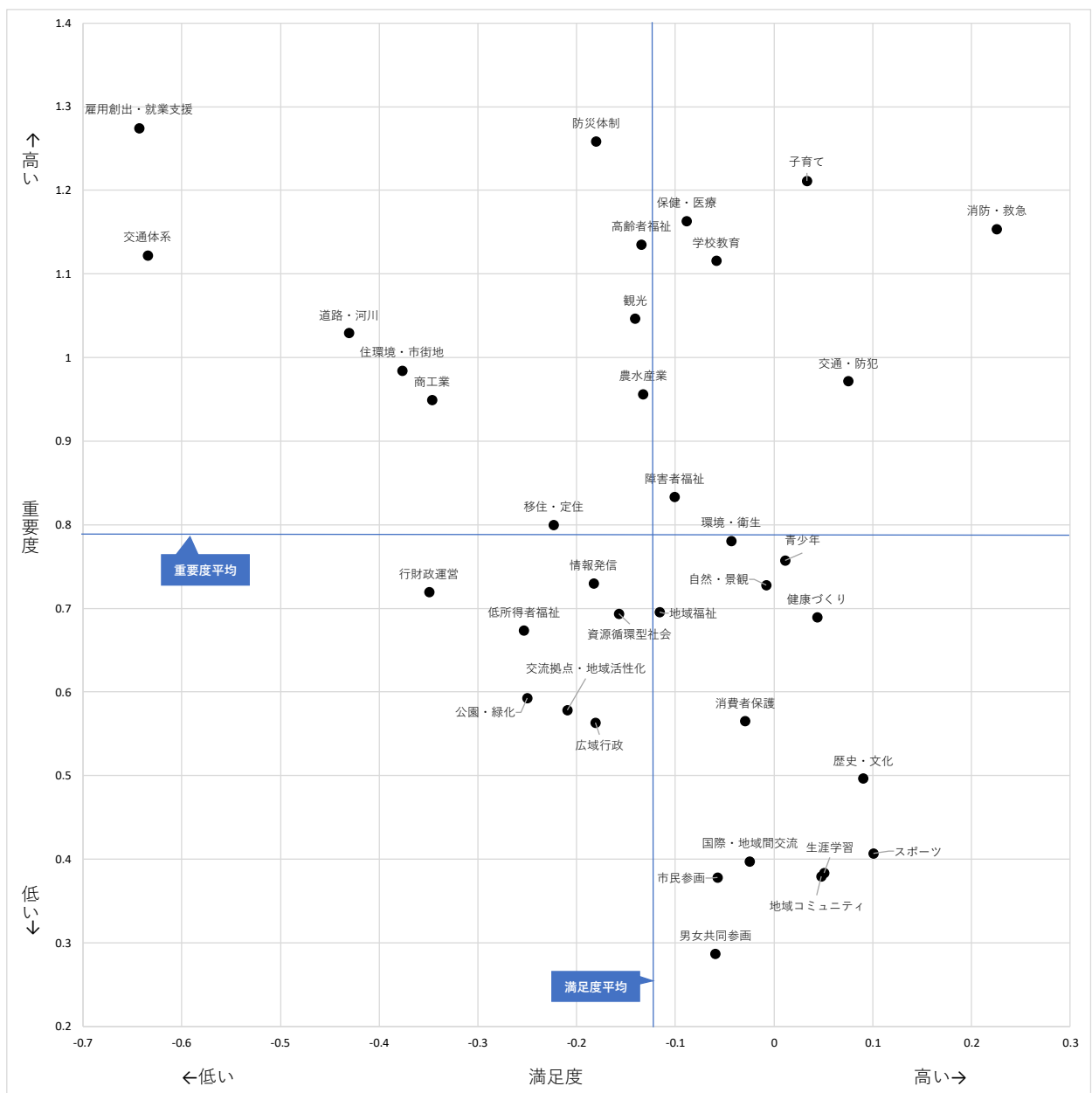
順位	施策名	満足度(指数)
1	新たな雇用の創出と就業支援の強化	1.27
2	防災体制の強化	1.26
3	子育て環境の充実	1.21
4	保健・医療体制の充実	1.16
5	消防・救急の充実	1.15
6	高齢者福祉の充実	1.13
7	交通体系の充実	1.12
8	学校教育の充実	1.12
9	観光の振興	1.05
10	道路環境の充実と河川整備の促進	1.03
11	住環境の充実と市街地の利便性向上	0.98
12	交通安全・防犯体制の強化	0.97
13	農水産業の振興	0.96
14	商工業の振興	0.95
15	障害者福祉の充実	0.83
16	移住・定住の促進	0.80
17	環境・衛生対策の充実	0.78
18	青少年の健全育成強化	0.76
19	情報発信力の強化	0.73
20	自然環境の保全と景観形成の促進	0.73
21	戦略的な行財政運営	0.72
22	地域福祉の推進	0.70
23	資源循環型社会の構築	0.69
24	健康づくりの推進	0.69
25	低所得者福祉の充実	0.67
26	公園の機能充実と緑化の推進	0.59
27	交流拠点施設を核とした地域活性化	0.58
28	消費者保護対策の推進	0.57
29	広域行政の推進	0.56
30	歴史の継承と文化の振興	0.50
31	スポーツの振興によるまちづくり	0.41
32	国際交流・地域間交流の促進	0.40
33	生涯学習の推進	0.38
34	地域コミュニティ活動の推進	0.38
35	市民参画の促進	0.38
36	男女共同参画の推進	0.29

②満足度と重要度の関係からみた評価

全施策の平均値と比べ、重要度が高く満足度が低い施策（散布図の左上の領域）については、今後重点的に実施していく必要がある。特に、「新たな雇用の創出と就業支援の強化」や「交通体系の充実」は平均値からの乖離が大きく、重視する必要がある。

重要度も満足度も高い施策（散布図の右上の領域）については、現状を維持・継続するとともに、まちの強みとしてアピールしていくことが考えられる。特に「消防・救急の充実」や「子育て環境の充実」があてはまる。

【満足度と重要度】

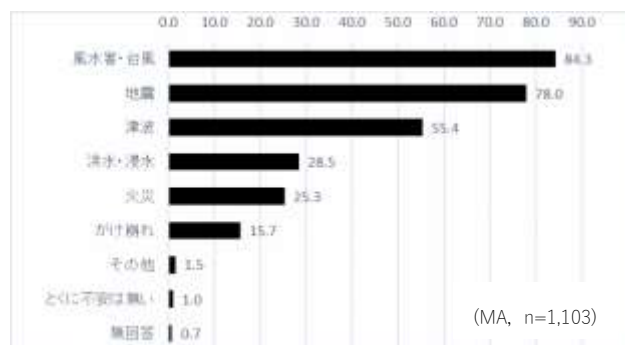


※散布図中の施策名は略称

(5) 館山市の防災について

問7. 住んでいる地域で不安を感じている災害

災害の不安では、「風水害・台風」(84.3%)と「地震」(78.0%)に回答が集中した。

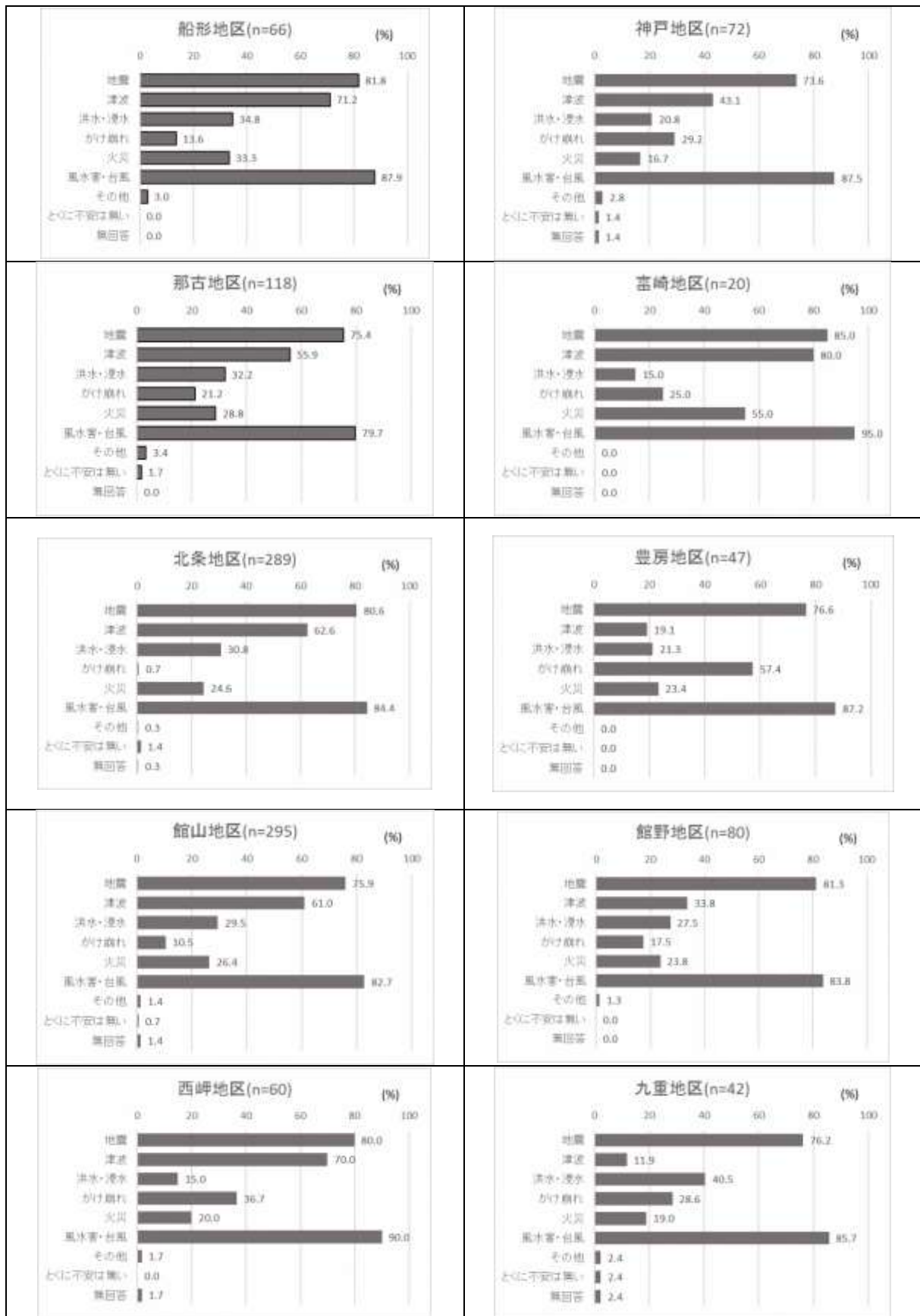


<地区別>

災害の不安を地区別にみると、「風水害・台風」と「地震」はどの地区でも割合が高いが、船形地区、那古地区、北条地区、館山地区、西岬地区、富崎地区では「津波」の割合も高くなっている。

また、富崎地区では「火災」(55.0%)、豊房地区では「かけ崩れ」(57.4%)に対する不安が高いなど、地区によって不安な災害に違いがみられる。

災害の不安 (地区別)



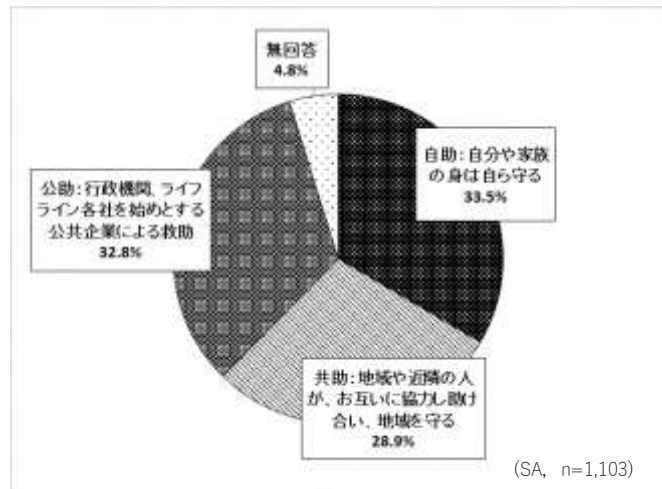
問8. 災害に強いまちづくりのために重要な施策

災害に強いまちづくりで重要な施策は、「情報収集・情報伝達体制の強化」が最も割合が高く69.2%、次いで「非常用物資（食料・飲料水・医薬品等）の備蓄の充実」が57.6%、「国・県・他の自治体・企業等との連携強化（災害協定等）」が42.9%、「自治体の対応力強化（避難所・BCP策定・職員体制）」が40.3%となった。



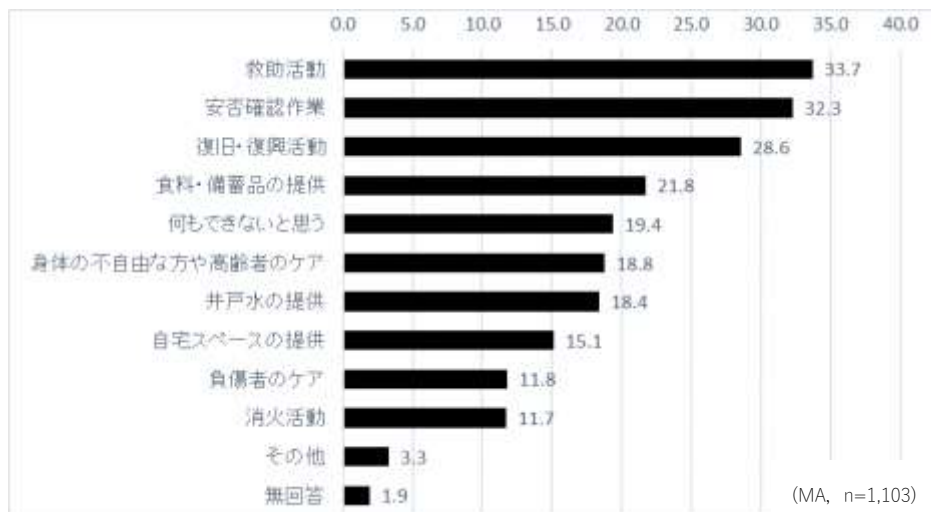
問9. 災害の被害を軽減するために重点を置くべきこと

最も重点を置くべきは「自助」(33.5%)、次いで「公助」(32.8%)となったが、その差はわずかだった。「共助」は最も割合が低かった。



問10. 住民どうしの助け合いが必要になったときにできること

災害時に自分にできる助け合い活動は「救助活動」が最も割合が高く 33.7%となり、「安否確認作業」が 32.3%と続いた。



<年代別>

災害時に自分にできることを年代別にみると、70歳代までは「復旧・復興活動」、「救助活動」、「安否確認作業」が上位になるが、80歳代以上では「何もできないと思う」が最も割合が高くなる。

災害時に自分にできること（年代別）

	1位	2位	3位	4位	5位
10歳代 (n=26)	復旧・復興活動 61.5	救助活動 34.6	食料・備蓄品の提供 30.8	安否確認作業 26.9	身体の不自由な方や高齢者のケア 26.9
20歳代 (n=46)	復旧・復興活動 43.5	救助活動 37.0	安否確認作業 28.3	負傷者のケア 26.1	身体の不自由な方や高齢者のケア 26.1
30歳代 (n=130)	復旧・復興活動 50.0	救助活動 40.0	安否確認作業 40.0	食料・備蓄品の提供 24.6	身体の不自由な方や高齢者のケア 23.1
40歳代 (n=110)	安否確認作業 36.4	救助活動 34.5	復旧・復興活動 31.8	食料・備蓄品の提供 18.2	自宅スペースの提供 18.2
50歳代 (n=148)	救助活動 41.9	復旧・復興活動 37.2	安否確認作業 35.1	食料・備蓄品の提供 19.6	身体の不自由な方や高齢者のケア 18.9
60歳代 (n=197)	安否確認作業 35.5	救助活動 32.0	復旧・復興活動 23.9	井戸水の提供 21.8	何もできないと思う 20.8
70歳代 (n=211)	救助活動 33.2	安否確認作業 30.8	何もできないと思う 23.2	食料・備蓄品の提供 22.3	井戸水の提供 21.8
80歳代以上 (n=226)	何もできないと思う 31.0	食料・備蓄品の提供 25.2	救助活動 24.8	安否確認作業 24.3	井戸水の提供 23.9

問 11. 災害時に地域の活動で重要な役割を果たすべきもの

災害時に重要な役割を果たすべきものは、「町内会や自治会、青年団等」が最も割合が高く57.5%、次いで「個人一人ひとり」が53.3%となった。



問 12. 災害時に重要な役割を果たすと思われる組織に入っていますか

災害時に重要な役割を果たすと思われる組織への加入状況は、「組織には入っていない」が最も高く 51.7%、次いで「町内会や自治会、青年団等」が 35.9%となった。

災害時に地域団体の活動を期待している一方、組織に加入していない割合は半数以上あり、最も期待されている「町内会や自治会、青年団等」でも加入割合は半数に満たない。

3番目に期待されている「消防団」では加入割合は 4.5%と低かった。



※問 12. 「組織には入っていない」理由

「組織には入っていない」と回答した者の、組織に加入していない理由は、「高齢であり、組織に入ることが負担」が最も割合が高く 41.1%、次いで「住んでいる地域にどのような組織があるかわからない」が 33.0%、「仕事や家族の世話で忙しく、組織に入って活動する時間が作れない」が 27.0%などとなった。

「他人と関わるのがわずらわしい」や「関心がない」などの回答は低い割合だが、両者を合わせると 16.5%となった。

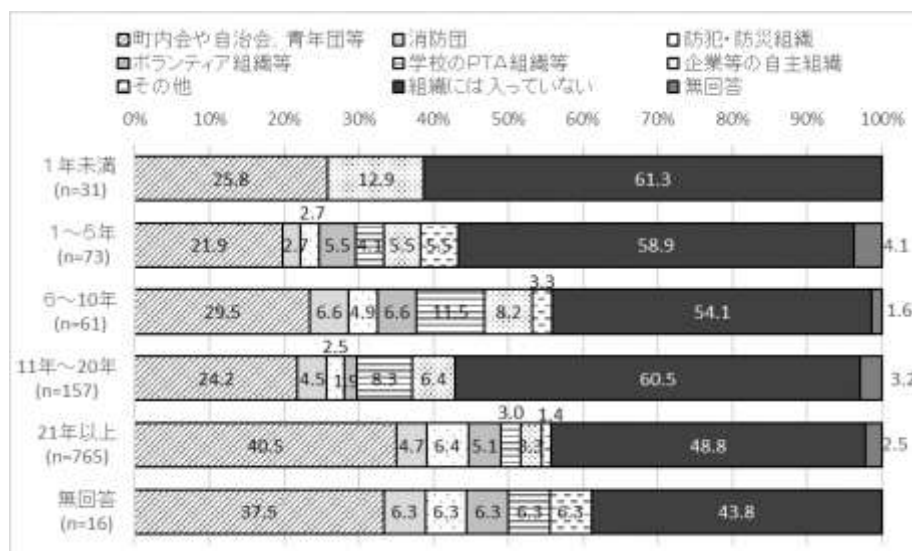


< 居住年数別 >

組織への加入状況を居住年数別にみると、「21年以上」では「町内会や自治会、青年団等」が40.5%と最も高くなっている。

一方、「1年未満」、「1年～5年」、「11年～20年」では、「組織には入っていない」が6割前後と高くなっている。

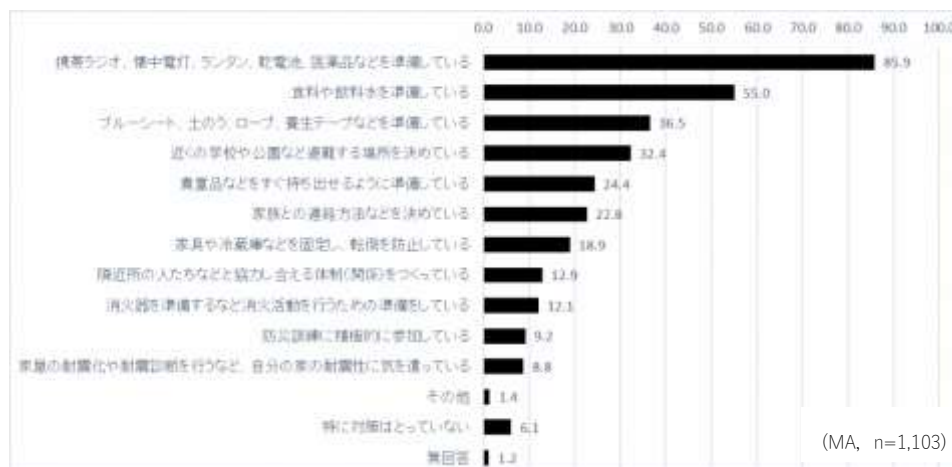
組織への加入状況（居住年数別）



問 13. 災害時に備えてとっている対策

災害対策として行っていることでは、「携帯ラジオ、懐中電灯、ランタン、乾電池、医薬品などを準備している」が最も割合が高く 85.9%、次いで「食料や飲料水を準備している」が 55.0%となった。

「特に対策はとっていない」は 6.1%となった。

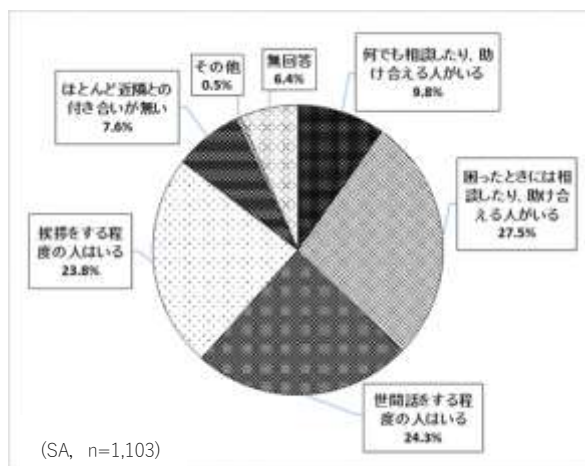


(6) 近所づきあい・地域コミュニティについて

問 14. 近隣との付き合いの程度

近隣との付き合いの程度では、「困ったときには相談したり、助け合える人がいる」(27.5%)、「世間話をする程度の人はいる」(24.3%)、「挨拶をする程度の人はいる」(23.8%) が同じくらいの割合となり、状況が分かれている。

「なんでも相談したり、助け合える人がいる」は9.8%にとどまった。

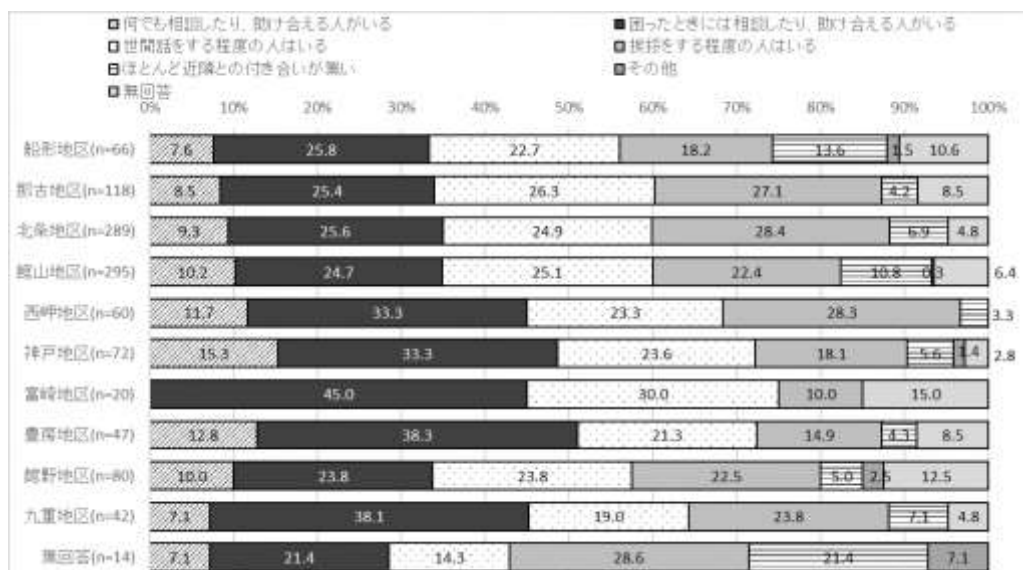


<地区別>

近隣との付き合いの程度を地区別にみると、西岬地区、神戸地区、富崎地区、豊房地区、九重地区では「なんでも相談したり、助け合える人がいる」や「困ったときには相談したり、助け合える人がいる」の割合が高く、特に豊房地区では両者を合わせると半数を超える。

一方、「ほとんど近隣との付き合いがない」の割合が高いのは船形地区 (13.6%)、館山地区 (10.8%) となった。

近隣との付き合い (地区別)

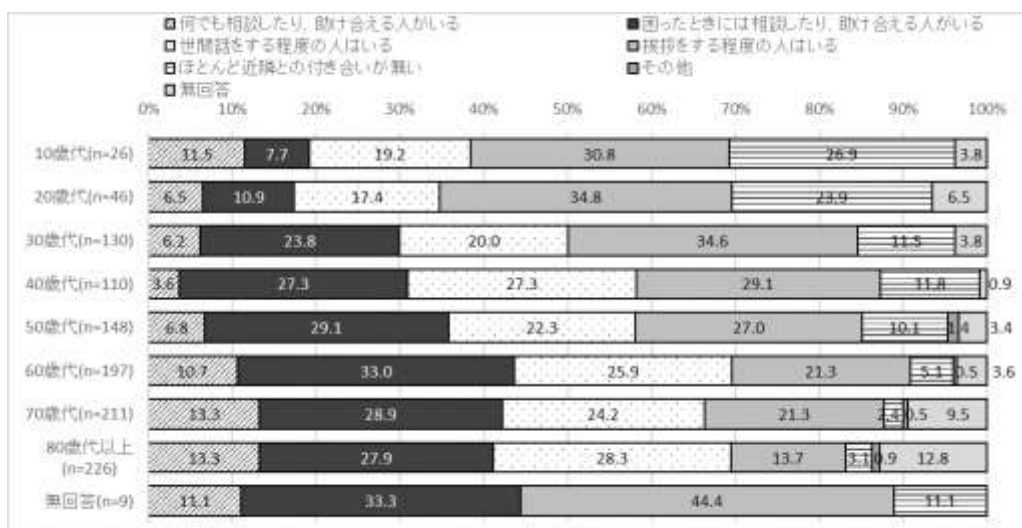


<年代別>

近隣との付き合いを年代別にみると、「なんでも相談したり、助け合える人がいる」や「困ったときには相談したり、助け合える人がいる」を合わせた割合は、10~20歳代で、2割弱、30から40歳代で3割程度、60歳代以上で4割程度と、年代が上がるにつれて高くなっている。

しかし、「世間話をする程度」は年代に関わらず3割前後みられ、「挨拶をする程度」は60歳代以上でも2割程度みられる。

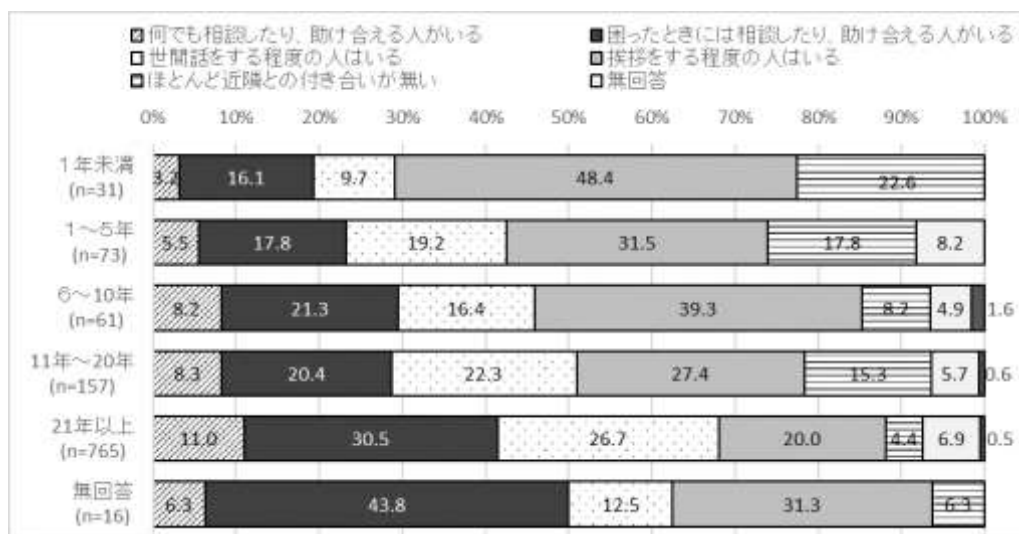
近隣との付き合い（年代別）



<居住年数別>

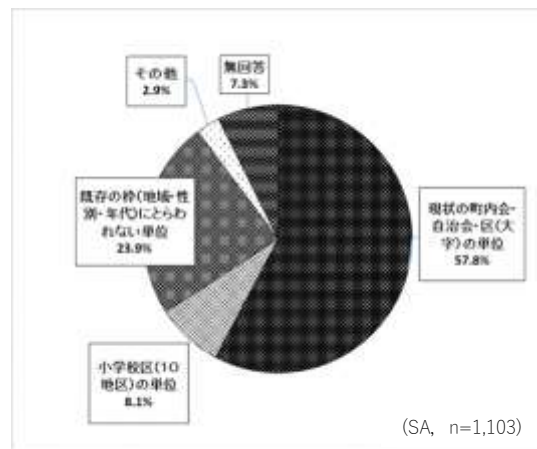
近隣との付き合いを居住年数別にみると、「なんでも相談したり、助け合える人がいる」や「困ったときには相談したり、助け合える人がいる」を合わせた割合は、居住年数が長くなるにつれて高くなる傾向にある。

近隣との付き合い（居住年数別）



問 15. 参加しやすいと思う地域コミュニティの範囲

参加しやすいと思う地域のコミュニティの範囲は「現状の町内会・自治会・区の単位」が最も割合が高く 57.8%、次いで「既存の枠(地域・性別・年代)にとられない単位」が 23.9%となった。

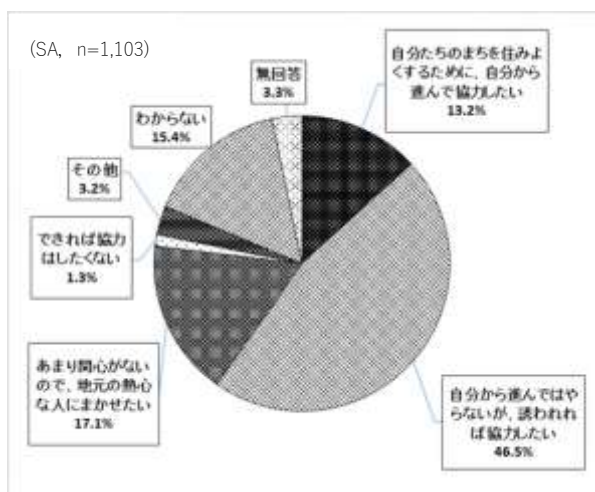


(7) 市民協働について

問 16. 「館山市市民協働条例」の制定について

まちづくりへの参加については、「自分からは進んではやらないが、誘われれば協力したい」が最も割合が高く 46.5%と半数近くを占めた。「自分たちのまちを住みよくするために、自分から進んで協力したい」との両者を合わせた”協力したい“は、6割弱となった。

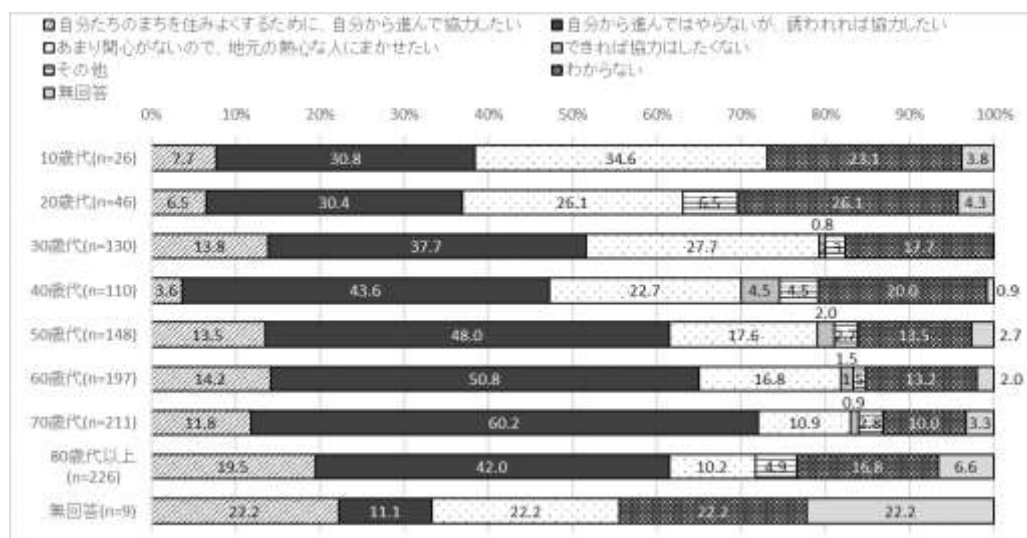
一方、「あまり関心がないので、地元の熱心な人にまかせたい」は 17.1%、「できれば協力したくない」は 1.3%とわずかだった。



<年代別>

まちづくりへの参加意向を年代別にみると、「協力したい」の割合は 10 から 20 歳代で 4 割弱、30~40 歳代は 5 割前後、50 歳代以上は 6 割以上となっている。「地元の熱心な人にまかせたい」は若い年代の割合ほど高い傾向となっている。

まちづくりへの参加意向（年代別）



※問 16. 協力していきたいと思う活動

協力していきたいと思う活動は、「ゴミの分別や生活排水など、身の回りの環境保全を心がける」(63.3%)、「地域のルールを守る」(60.5%) が6割を超え、「地域や市の取組(市政)に関心を持つように心がける」(48.1%) が約半数となった。

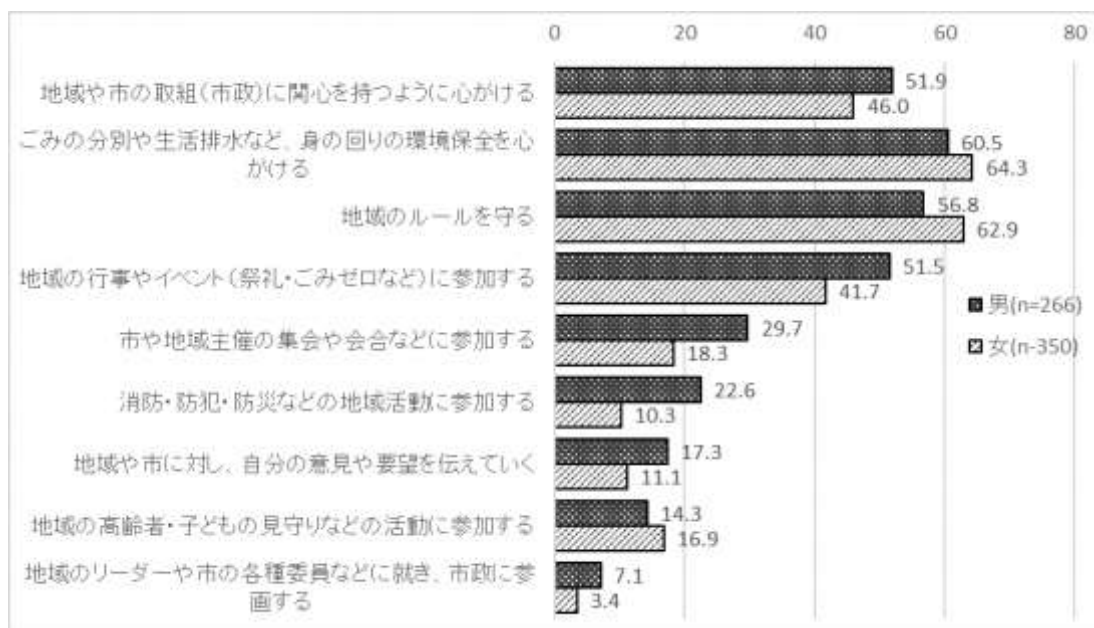
一方、「市や地域主催の集会や会合などに参加する」は2割程度みられるものの、「地域や市に対し、自分の意見や要望を伝えていく」(13.8%) や「地域のリーダーや市の各種委員などに就き、市政に参画する」(4.7%)などは少数だった。



<性別>

協力したい活動を性別にみると、女性では「ゴミの分別等環境保全」(64.3%)や「地域のルールを守る」(62.9%)に回答が集中したが、男性では「地域の行事やイベント(祭礼・ごみゼロなど)に参加する」や「市や地域主催の集会や会合などに参加する」、「消防・防犯・防災などの地域活動に参加する」、「自分の意見や要望を伝える」などの、積極的な参加活動において女性より割合が高くなった。

協力したい活動(性別:その他、無回答除く)



館山市の少子高齢化対策について

問 17. 若い世代が館山市に定住していくために必要なこと

若い世代の定住に必要なことでは、「企業誘致等による就業機会・職業分野の拡大」が最も割合が高く 62.4%と、回答が集中した。

次いで「子育て支援や学校教育環境の充実」が 45.7%、「医療機関の充実」が 44.2%となった。



<年代別>

若い世代の定住に必要なことを年代別にみると、「企業誘致による就業機会・職業分野の拡大」はどの年代でも高い割合だが、「子育て支援や学校教育環境の充実」は60歳代までの年代では高い順位にあるが、70歳代以上では順位が下がり、「医療機関の充実」が2番目に高くなる。

若い世代で上位になっている項目としては、「都市部へのアクセス向上」が10歳代で6割以上、20歳代で5割近く、30~50歳代で4割近くとなっている。

若い世代の定住に必要なこと（年代別）

	1位	2位	3位	4位	5位
10歳代 (n=26)	幹線道路や公共交通の整備による都市部へのアクセス向上	企業誘致等による就業機会・職業分野の拡大	子育て支援や学校教育環境の充実	大学のサテライトキャンパスや附属高校等の誘致	商工業やレクリエーション施設の充実
	61.5	46.2	42.3	42.3	42.3
20歳代 (n=46)	企業誘致等による就業機会・職業分野の拡大	子育て支援や学校教育環境の充実	幹線道路や公共交通の整備による都市部へのアクセス向上	購入・賃貸しやすい住宅や住宅地の整備	意欲のある若者に対する起業・創業支援
	56.5	54.3	47.8	39.1	30.4
30歳代 (n=130)	子育て支援や学校教育環境の充実	企業誘致等による就業機会・職業分野の拡大	医療機関の充実	幹線道路や公共交通の整備による都市部へのアクセス向上	購入・賃貸しやすい住宅や住宅地の整備
	67.7	50.0	48.5	37.7	33.8
40歳代 (n=110)	企業誘致等による就業機会・職業分野の拡大	子育て支援や学校教育環境の充実	医療機関の充実	幹線道路や公共交通の整備による都市部へのアクセス向上	安全・安心なまちづくりの充実
	64.5	58.2	41.8	35.5	30.0
50歳代 (n=148)	企業誘致等による就業機会・職業分野の拡大	子育て支援や学校教育環境の充実	医療機関の充実	幹線道路や公共交通の整備による都市部へのアクセス向上	意欲のある若者に対する起業・創業支援
	64.2	46.6	43.9	39.9	29.7
60歳代 (n=197)	企業誘致等による就業機会・職業分野の拡大	子育て支援や学校教育環境の充実	農林水産業における後継者の育成支援	医療機関の充実	幹線道路や公共交通の整備による都市部へのアクセス向上
	71.1	45.7	44.7	44.7	34.0
70歳代 (n=211)	企業誘致等による就業機会・職業分野の拡大	医療機関の充実	農林水産業における後継者の育成支援	安全・安心なまちづくりの充実	意欲のある若者に対する起業・創業支援
	65.9	46.0	39.8	38.4	36.5
80歳代以上 (n=226)	企業誘致等による就業機会・職業分野の拡大	医療機関の充実	意欲のある若者に対する起業・創業支援	農林水産業における後継者の育成支援	子育て支援や学校教育環境の充実
	59.3	48.2	38.9	36.3	35.0

問 18. 出産・子育て支援で重要な施策

出産子育て支援で重要な施策は、「急な病気にも対応できるような救急医療体制の確保・充実」が最も割合が高く 55.3%、次いで、「子育てしながら働きやすい職場環境の整備」が 52.1%、「経済的負担の軽減(保育料の軽減・医療費の助成・児童手当の充実・第3子以降の出産に対する助成等)」が 38.7%となった。

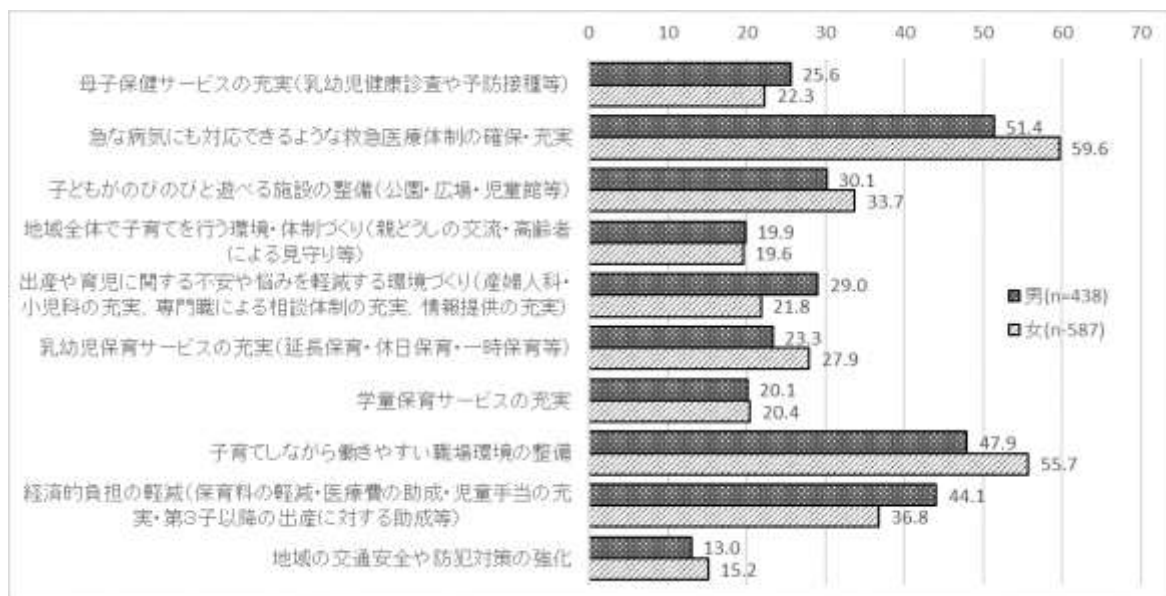


<性別>

出産・子育て支援で重要な施策を性別にみると、「経済的負担の軽減」では男性が女性の割合を大きく上回った。

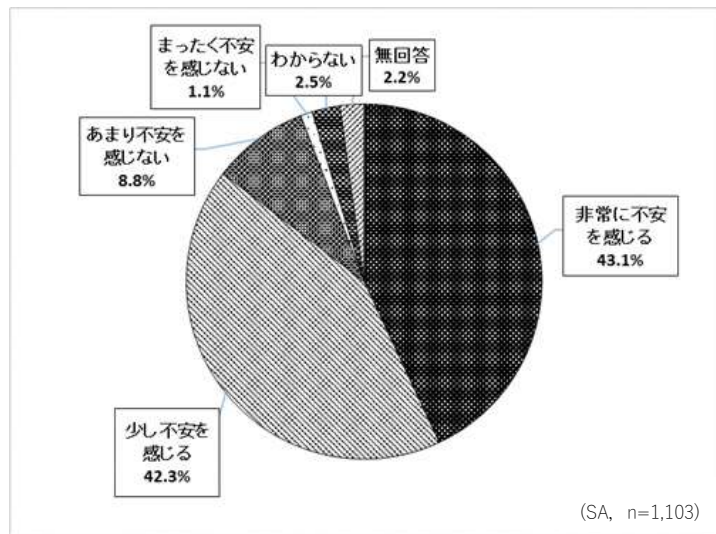
また、「救急医療体制の確保・充実」と「子育てしながら働きやすい職場環境の整備」は女性で半数を超えた。

出産・子育て支援で重要な施策 (性別)



問 19. 高齢期になったときの生活について感じる事

高齢期になったときの生活に対する不安では、「非常に不安を感じる」が43.1%、「少し不安を感じる」が42.3%で、両者を合わせた“不安を感じる”は85.4%となった。

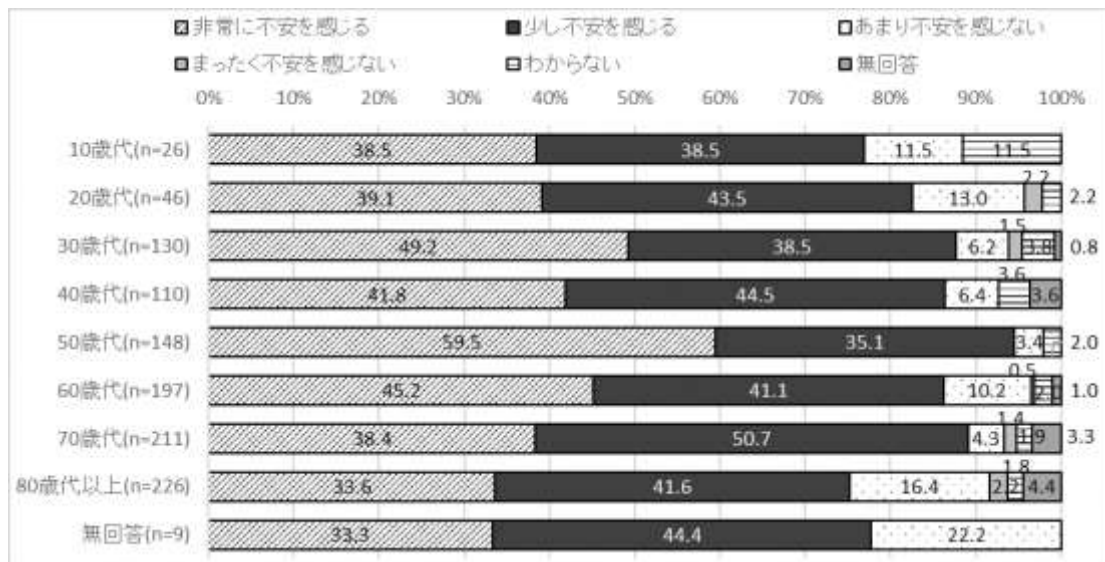


<年代別>

高齢期になったときの不安を年代別にみると、「非常に不安を感じる」は50歳代で最も高く、次いで30歳代、60歳代となり、10から20歳代でも4割近くが「非常に不安」と回答した。

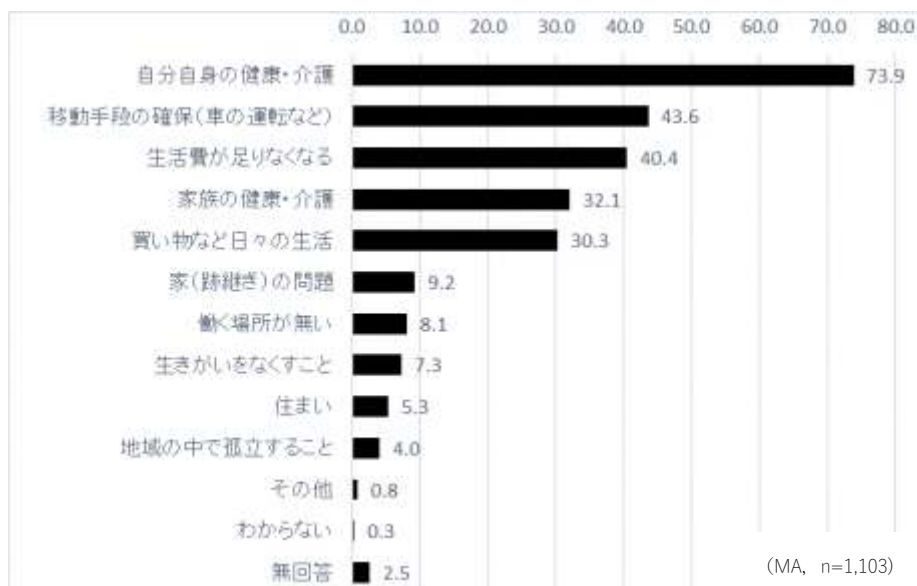
「少し不安を感じる」も合わせた“不安を感じる”では50歳代（94.6%）と70歳代（89.1%）で高くなった。

高齢期になったときの生活について感じる事（年代別）



※問 19. 高齢期になったときの生活で不安を感じていること

高齢期の不安要因では、「自分自身の健康・介護」が最も割合が高く 73.9%、次いで「移動手段の確保」が 43.6%、「生活費が足りなくなる」が 40.4%となった。



<年代別>

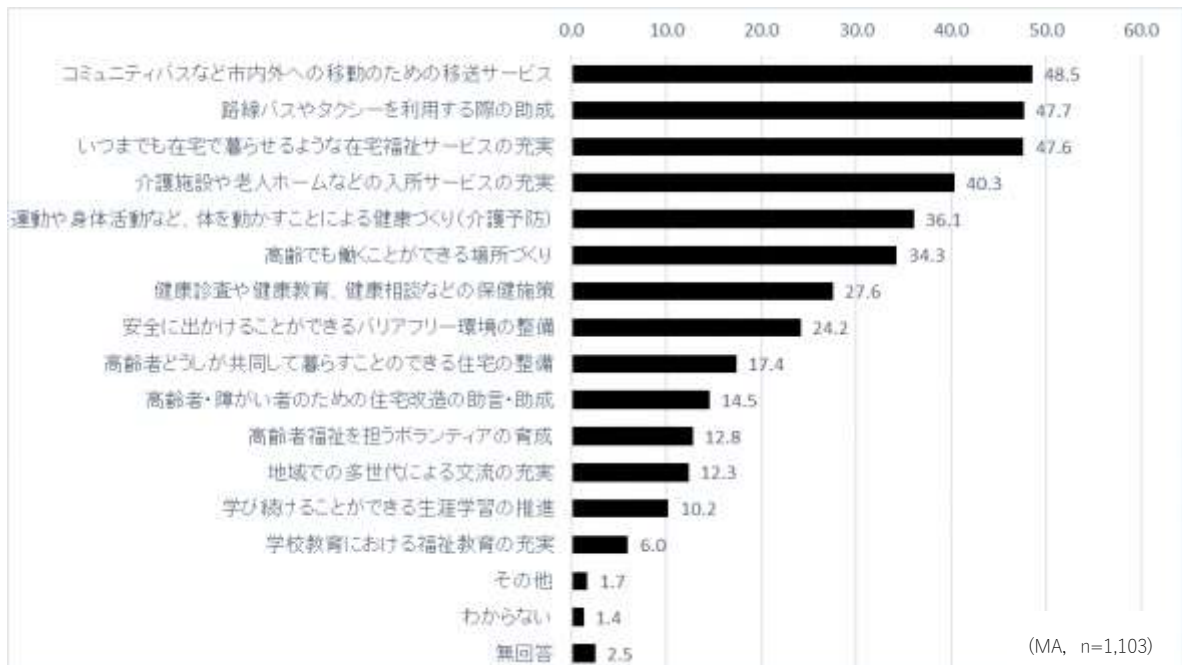
高齢期の不安要因を年代別にみると、「生活費が足りなくなる」は 20 から 50 歳代では半数を超えている。各年代比べても、上位の不安要因に格別の差は見られない。

高齢期の不安要因 (年代別)

	1位	2位	3位	4位	5位
10歳代 (n=20)	生活費が足りなくなる	自分自身の健康・介護	移動手段の確保(車の運転など)	家族の健康・介護	買い物など日々の生活
	45.0	40.0	35.0	15.0	15.0
20歳代 (n=38)	生活費が足りなくなる	自分自身の健康・介護	移動手段の確保(車の運転など)	買い物など日々の生活	家族の健康・介護
	57.9	47.4	39.5	26.3	23.7
30歳代 (n=114)	生活費が足りなくなる	自分自身の健康・介護	移動手段の確保(車の運転など)	家族の健康・介護	買い物など日々の生活
	57.0	56.1	39.5	28.9	25.4
40歳代 (n=95)	自分自身の健康・介護	生活費が足りなくなる	移動手段の確保(車の運転など)	家族の健康・介護	買い物など日々の生活
	67.4	57.9	44.2	31.6	18.9
50歳代 (n=140)	自分自身の健康・介護	生活費が足りなくなる	移動手段の確保(車の運転など)	家族の健康・介護	買い物など日々の生活
	68.6	60.0	39.3	32.1	28.6
60歳代 (n=170)	自分自身の健康・介護	移動手段の確保(車の運転など)	生活費が足りなくなる	家族の健康・介護	買い物など日々の生活
	79.4	46.5	34.7	34.1	29.4
70歳代 (n=188)	自分自身の健康・介護	移動手段の確保(車の運転など)	買い物など日々の生活	家族の健康・介護	生活費が足りなくなる
	83.5	50.5	38.3	34.0	27.7
80歳代以上 (n=170)	自分自身の健康・介護	移動手段の確保(車の運転など)	買い物など日々の生活	家族の健康・介護	生活費が足りなくなる
	87.1	42.9	36.5	34.7	18.8

問 20. 高齢者の施策で重要だと思うこと

重要な高齢者施策では、「コミュニティバスなど市内外への移動のための移送サービス」(48.5%)、「路線バスやタクシーを利用する際の助成」(47.7%)の割合が高く、移動に関する支援が上位となっている。次いで、「いつまでも在宅で暮らせるような在宅福祉サービスの充実」(47.6%)が高い割合となった。



<年代別>

重要な高齢者施策を年代別にみると 30~50 歳代では「コミュニティバスなど市内外への移動のための移送サービス」が5割以上と高く、60~80 歳代以上では、「いつまでも在宅で暮らせるような在宅福祉サービスの充実」が高い割合となった。

重要な高齢者施策（年代別）

	1位	2位	3位	4位	5位
10歳代 (n=26)	安全に出かけることができるバリアフリー環境の整備	路線バスやタクシーを利用する際の助成	運動や身体活動など、体を動かすことによる健康づくり	介護施設や老人ホームなどの入所サービスの充実	健康診査や健康教育、健康相談などの保健施策
	57.7	57.7	42.3	42.3	38.5
20歳代 (n=46)	路線バスやタクシーを利用する際の助成	運動や身体活動など、体を動かすことによる健康づくり	高齢でも働くことができる場所づくり	安全に出かけることができるバリアフリー環境の整備	コミュニティバスなど市内外への移動のための移送サービス
	47.8	37.0	32.6	32.6	32.6
30歳代 (n=130)	コミュニティバスなど市内外への移動のための移送サービス	高齢でも働くことができる場所づくり	路線バスやタクシーを利用する際の助成	運動や身体活動など、体を動かすことによる健康づくり	介護施設や老人ホームなどの入所サービスの充実
	50.0	47.7	41.5	37.7	37.7
40歳代 (n=110)	コミュニティバスなど市内外への移動のための移送サービス	高齢でも働くことができる場所づくり	路線バスやタクシーを利用する際の助成	介護施設や老人ホームなどの入所サービスの充実	いつまでも在宅で暮らせるような在宅福祉サービスの充実
	58.2	55.5	55.5	40.9	36.4
50歳代 (n=148)	コミュニティバスなど市内外への移動のための移送サービス	高齢でも働くことができる場所づくり	路線バスやタクシーを利用する際の助成	いつまでも在宅で暮らせるような在宅福祉サービスの充実	介護施設や老人ホームなどの入所サービスの充実
	58.1	50.7	47.3	41.2	34.5
60歳代 (n=197)	いつまでも在宅で暮らせるような在宅福祉サービスの充実	コミュニティバスなど市内外への移動のための移送サービス	路線バスやタクシーを利用する際の助成	介護施設や老人ホームなどの入所サービスの充実	運動や身体活動など、体を動かすことによる健康づくり
	52.8	49.2	47.7	39.6	39.1
70歳代 (n=211)	いつまでも在宅で暮らせるような在宅福祉サービスの充実	コミュニティバスなど市内外への移動のための移送サービス	介護施設や老人ホームなどの入所サービスの充実	路線バスやタクシーを利用する際の助成	運動や身体活動など、体を動かすことによる健康づくり
	62.1	48.8	47.4	41.7	37.4
80歳代以上 (n=226)	いつまでも在宅で暮らせるような在宅福祉サービスの充実	路線バスやタクシーを利用する際の助成	介護施設や老人ホームなどの入所サービスの充実	コミュニティバスなど市内外への移動のための移送サービス	運動や身体活動など、体を動かすことによる健康づくり
	58.8	51.8	43.8	41.6	38.1

(8) 行財政改革について

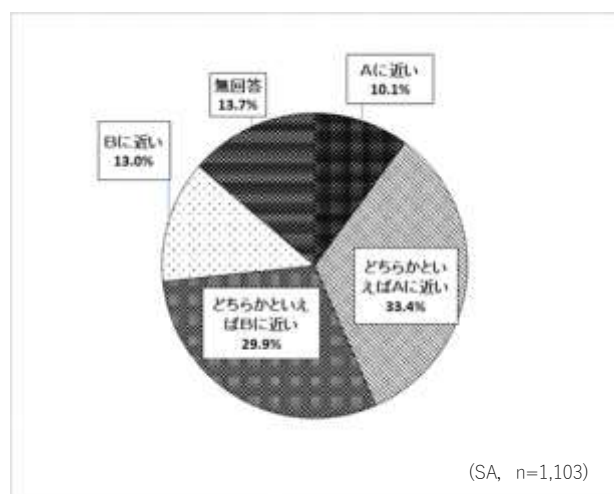
問 21. 行財政改革を引き続き推進するために必要なこと

行政改革を引き続き推進するために必要なことでは、「施設や事務事業の見直しを行い、施設や事業の廃止・縮小または改善をする」が最も割合が高く 22.0%、次いで「行政サービスの民営化・委託など」が 14.3%となった。



問 22. 行政サービスと市民の負担のバランスについて

行政サービスと負担のバランスでは、“A サービス充実のためには、負担が増えても止むを得ない”が 43.5%、“B 負担を増やしてまで、サービスの充実を図る必要はない”が 44.9%と回答はほぼ二分した。

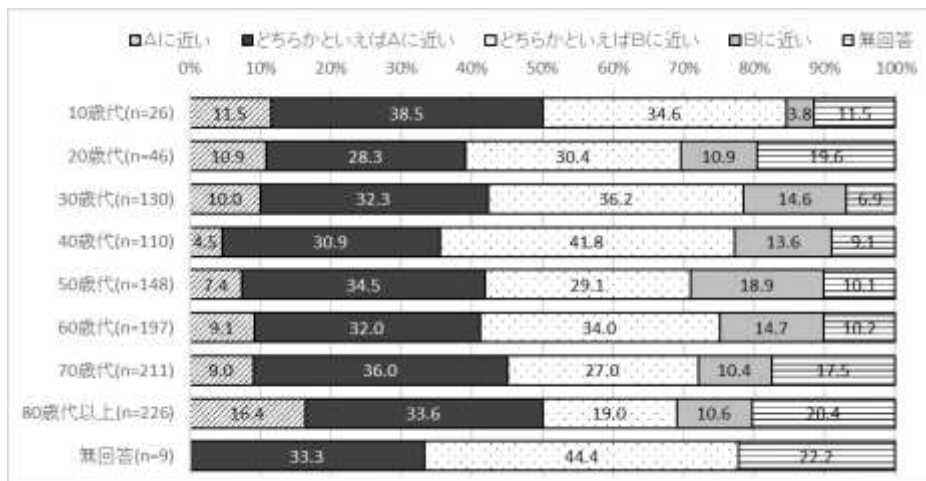


<年代別>

行政サービスと負担のバランスを年代別に比較すると、“サービス充実のためには、負担が増えてもやむを得ない”は10歳代と80歳代以上が半数となった。

また、「負担を増やしてまで、サービスの充実を図る必要はない」は、40歳代で最も割合が高く55.4%、次いで30歳代で50.8%と半数を超えた。

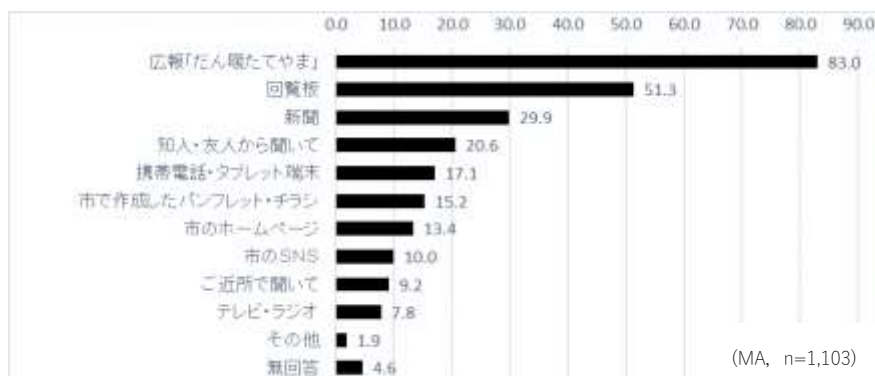
行政サービスと負担のバランス（年代別）



(9) 広報・情報発信について

問 23. 市の情報の入手方法

市の情報の入手方法では、「だん暖たてやま」が最も割合が高く 83.0%、次いで「回覧板」が 51.3%となった。「携帯電話・タブレット端末」(17.1%)、「市のホームページ」(13.4%)、市の SNS (10.0%) などの電子媒体は割合が低かった。



<年代別>

市の情報の入手方法を年代別にみると、「だん暖たてやま」はどの年代でも割合が高くなっている。

また、10~20歳代では「市のSNS」が3割を超えて2位に、そのほかの年代では「回覧板」が2位になっている。

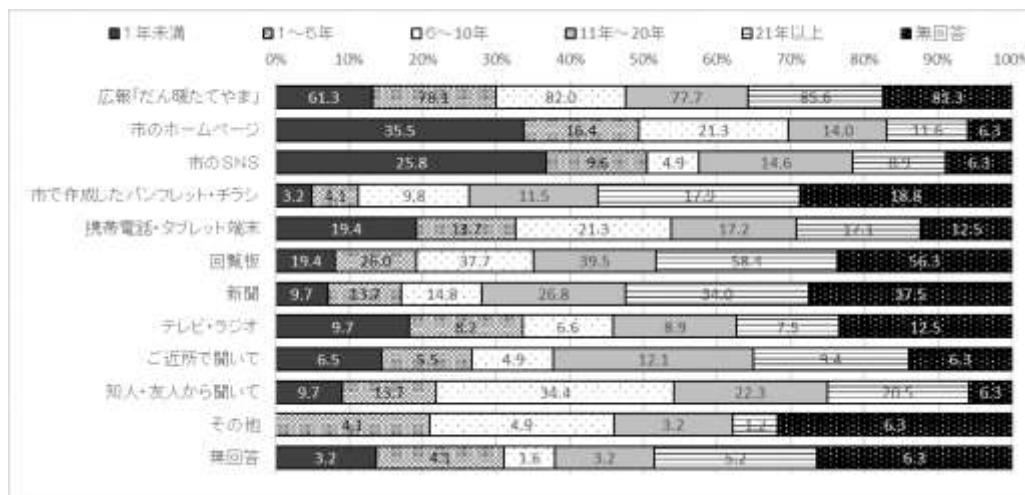
市の情報入手方法（年代別）

	1位	2位	3位	4位	5位
10歳代 (n=26)	広報「だん暖たてやま」 50.0	市のSNS 34.6	回覧板 34.6	知人・友人から聞いて 30.8	携帯電話・タブレット端末 26.9
20歳代 (n=46)	広報「だん暖たてやま」 47.8	市のSNS 30.4	知人・友人から聞いて 26.1	携帯電話・タブレット端末 23.9	新聞 21.7
30歳代 (n=130)	広報「だん暖たてやま」 75.4	回覧板 32.3	知人・友人から聞いて 29.2	携帯電話・タブレット端末 23.8	新聞 23.1
40歳代 (n=110)	広報「だん暖たてやま」 90.0	回覧板 40.9	知人・友人から聞いて 25.5	新聞 21.8	市のホームページ 20.0
50歳代 (n=148)	広報「だん暖たてやま」 85.1	回覧板 48.0	新聞 25.0	市のホームページ 18.9	知人・友人から聞いて 17.6
60歳代 (n=197)	広報「だん暖たてやま」 89.8	回覧板 58.9	新聞 23.9	携帯電話・タブレット端末 18.3	市で作成したパンフレット・チラシ 18.3
70歳代 (n=211)	広報「だん暖たてやま」 87.2	回覧板 65.9	新聞 37.4	知人・友人から聞いて 19.9	市で作成したパンフレット・チラシ 19.4
80歳代以上 (n=226)	広報「だん暖たてやま」 84.5	回覧板 60.6	新聞 42.9	市で作成したパンフレット・チラシ 26.5	知人・友人から聞いて 18.6

<居住年数別>

市の情報の入手方法を居住年数別にみると、「1年未満」では「市のホームページ」(35.5%)、「市のSNS」(25.8%)が最も割合が高くなっている。

市の情報入手方法 (居住年数別)



問 24. 希望する市の情報の入手方法

市の情報を入手したい手段・媒体では、「紙媒体で自宅に届くもの」が最も割合が高く 72.3%と、回答が集中した。



<年代別>

市の情報を入手したい手段・媒体を年代別にみると10~30歳代では、「電子媒体で、好きな時に閲覧できるもの（ホームページ・SNS）」が最も割合が高く、40歳代以上では「紙媒体で、自宅に届くもの（広報「だん暖たてやま」、回覧板）」の割合が最も高い。

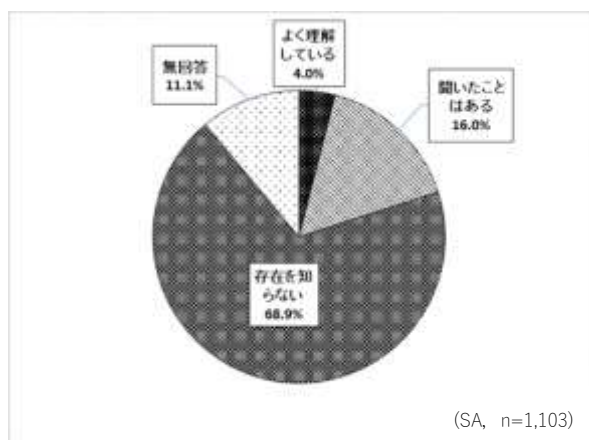
情報を入手したい手段・媒体（年代別）

	1位	2位	3位	4位	5位
10歳代 (n=26)	電子媒体で、好きな時に閲覧できるもの（ホームページ・SNS）	紙媒体で、自宅に届くもの（広報「だん暖たてやま」、回覧板）	電子媒体で、定期的に配信されるもの（メールマガジン等）	紙媒体で、いつでも取りに行けるもの（パンフレット・チラシ）	無回答
	80.8	38.5	19.2	15.4	3.8
20歳代 (n=46)	電子媒体で、好きな時に閲覧できるもの（ホームページ・SNS）	紙媒体で、自宅に届くもの（広報「だん暖たてやま」、回覧板）	電子媒体で、定期的に配信されるもの（メールマガジン等）	紙媒体で、いつでも取りに行けるもの（パンフレット・チラシ）	無回答
	73.9	32.6	23.9	6.5	4.3
30歳代 (n=130)	電子媒体で、好きな時に閲覧できるもの（ホームページ・SNS）	紙媒体で、自宅に届くもの（広報「だん暖たてやま」、回覧板）	電子媒体で、定期的に配信されるもの（メールマガジン等）	紙媒体で、いつでも取りに行けるもの（パンフレット・チラシ）	その他
	62.3	58.5	34.6	5.4	1.5
40歳代 (n=110)	紙媒体で、自宅に届くもの（広報「だん暖たてやま」、回覧板）	電子媒体で、好きな時に閲覧できるもの（ホームページ・SNS）	電子媒体で、定期的に配信されるもの（メールマガジン等）	紙媒体で、いつでも取りに行けるもの（パンフレット・チラシ）	無回答
	60.0	52.7	33.6	6.4	3.6
50歳代 (n=148)	紙媒体で、自宅に届くもの（広報「だん暖たてやま」、回覧板）	電子媒体で、好きな時に閲覧できるもの（ホームページ・SNS）	電子媒体で、定期的に配信されるもの（メールマガジン等）	紙媒体で、いつでも取りに行けるもの（パンフレット・チラシ）	その他
	62.8	51.4	27.7	10.8	4.1
60歳代 (n=197)	紙媒体で、自宅に届くもの（広報「だん暖たてやま」、回覧板）	電子媒体で、好きな時に閲覧できるもの（ホームページ・SNS）	電子媒体で、定期的に配信されるもの（メールマガジン等）	紙媒体で、いつでも取りに行けるもの（パンフレット・チラシ）	無回答
	81.7	30.5	16.8	15.2	2.5
70歳代 (n=211)	紙媒体で、自宅に届くもの（広報「だん暖たてやま」、回覧板）	電子媒体で、好きな時に閲覧できるもの（ホームページ・SNS）	紙媒体で、いつでも取りに行けるもの（パンフレット・チラシ）	無回答	電子媒体で、定期的に配信されるもの（メールマガジン等）
	85.8	15.2	14.7	8.5	8.1
80歳代以上 (n=226)	紙媒体で、自宅に届くもの（広報「だん暖たてやま」、回覧板）	紙媒体で、いつでも取りに行けるもの（パンフレット・チラシ）	無回答	電子媒体で、好きな時に閲覧できるもの（ホームページ・SNS）	電子媒体で、定期的に配信されるもの（メールマガジン等）
	83.6	14.6	11.9	11.1	8.4

(10) 新たな時代の潮流について

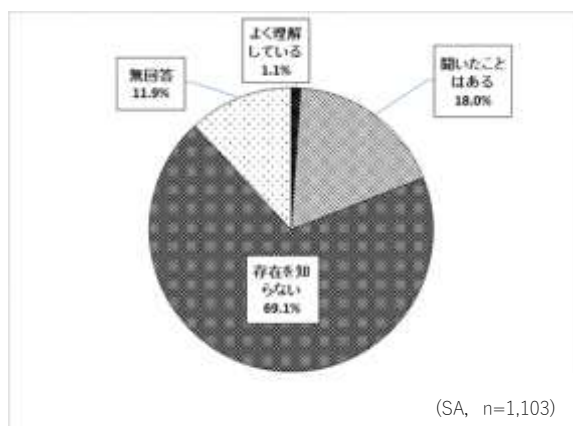
問 25. 用語の「認知度」【SDGs (エスディーゼーズ)】

「SDGs」の認知度では「存在を知らない」が68.9%と最も高い割合となった。



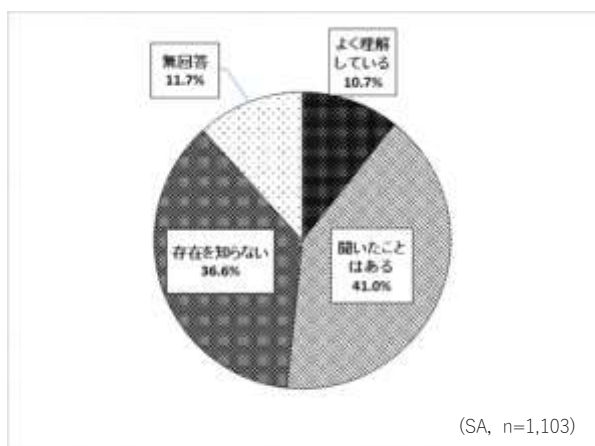
問 25. 用語の「認知度」【Society 5.0 (ソサエティ5.0)】

「Society 5.0」の認知度では「存在を知らない」が69.1%と最も高い割合となった。



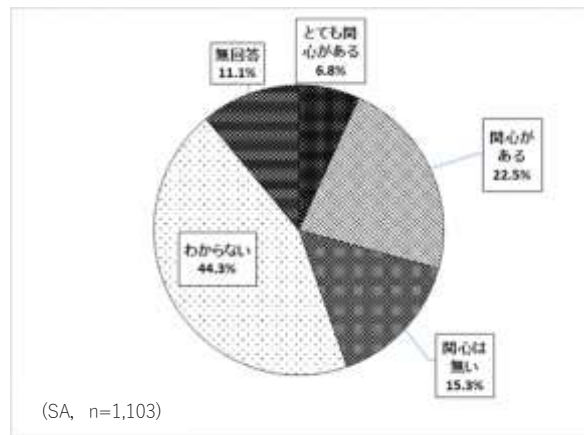
問 25. 用語の「認知度」【女性活躍の推進】

「女性活躍の推進」の認知度では「聞いたことはある」が41.0%、「存在を知らない」が36.6%と同じくらいの割合となった。



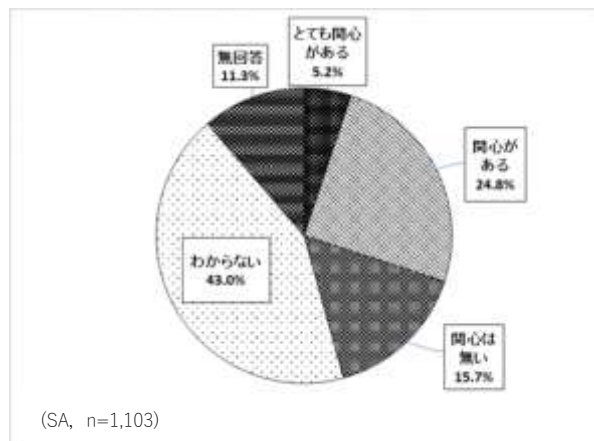
問 25. 用語の「関心度」【SDGs (エスディーゼズ)】

「SDGs」の関心度では「とても関心がある」(6.8%)、「関心がある」(22.5%) を合わせた“関心がある” (29.3%) が「関心はない」(15.3%) を上回った。



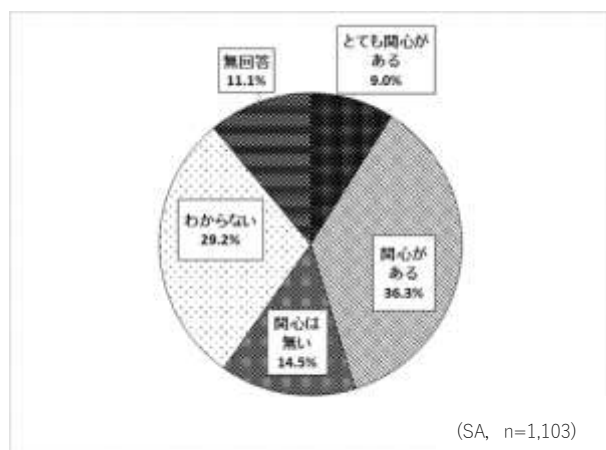
問 25. 用語の「関心度」【Society 5.0 (ソサエティ5.0)】

「Society 5.0」の関心度では「とても関心がある」(5.2%)、「関心がある」(24.8%) を合わせた“関心がある” (30.0%) が「関心はない」(15.7%) を上回った。



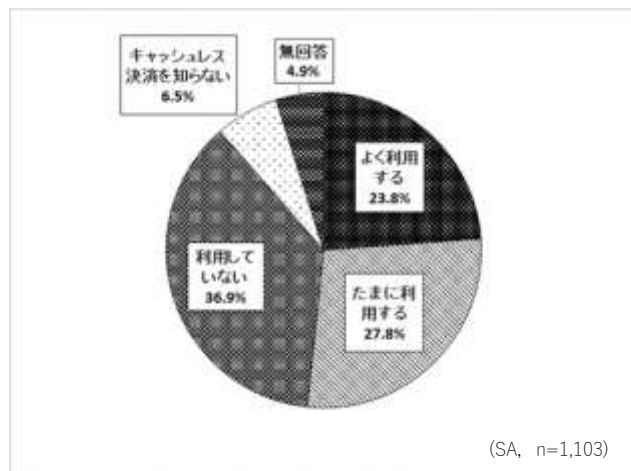
問 25. 用語の「関心度」【女性活躍の推進】

「女性活躍の推進」の関心度では「とても関心がある」(9.0%)、「関心がある」(36.3%) を合わせた“関心がある” (45.3%) が「関心はない」(14.5%) を上回った。



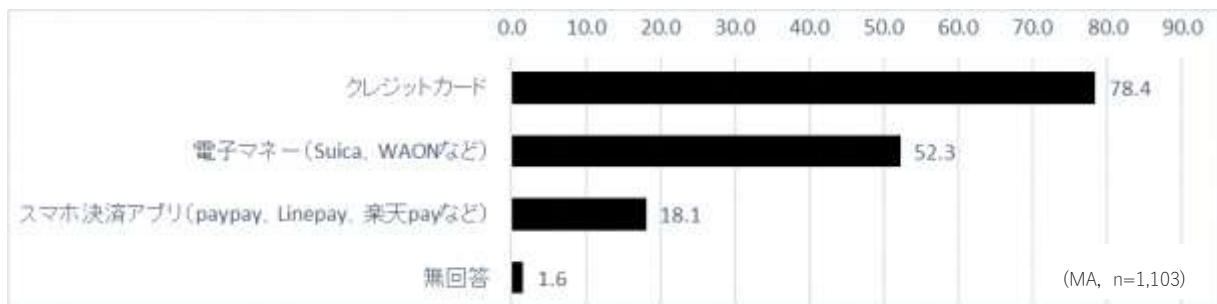
問 26. キャッシュレス決済の利用程度

キャッシュレス決済の利用程度は「よく利用する」と「たまに利用する」を合わせた“利用する”の割合が 51.6%と半数を超えた。



※問 26. 利用しているキャッシュレス決済方法

利用しているキャッシュレス決済方法としては、「クレジットカード」が 78.4%と最も高く、次いで「電子マネー（Suica、WAON など）」が 52.3%となった。



(11) その他

問 27. 自由記述回答

以下に関する自由記述回答の抜粋を記載する。

◇館山市をより良いまちにするためのアイデア

◇館山市の将来像

◇市に対するご意見・ご要望 など

※意見総数 566

【子育て・福祉・医療】

- ▶ 少子高齢化を活かした事業（例えば、独居老人の方が多いのでその方が食堂を開き、子ども達にご飯を提供するなど、共働きの多い世の中で親世代も凄く助かるのではないかと。私は近くに親が居ないので、祖父祖母が近くにいない人の場合ですけど）。
- ▶ 小児科を増やして欲しい。子どもはよく夜に熱を出したりするので、緊急時の対応が出来る病院を増やして欲しい。
- ▶ 鴨川市の様な知名度のある医療体制の充実化に力を入れ、他県の方々へ住みやすさの魅力をアピールする。
- ▶ 子どもの弁当づくりでストレス。毎日毎日休む日がない。簡易給食のメニューが増えないなら全員簡易給食にしてくれれば、子どもも諦めてそっちにしてくれる。北条幼稚園を建て直したときに、一緒に給食センターを造ってくれれば、こんな風になっていない。
- ▶ 高齢化が進んでいると思うので、高齢になっても個々の健康状態、能力に応じて個々のニーズにあったお仕事を提供し、生き生きとした老後を過ごすことが出来るようにもっと自由に参加可能な施設、ボランティアなどの広報を積極的に分かり易く提供して欲しい。
- ▶ 財政が厳しいからこそ大きな変化が必要。介護保険や保育の現場では人手不足。そこを充実させるためにももっと移住推進を！移住者には安く住居を貸したり、空き家を整備し子育て世代にもっと来て貰う努力をして欲しい。子どもの医療費は無料、保育費も無料（保育園のみ）、それに魅力を感じ子育て世代が移住してくれれば、働き手も増え、税金も増える。そのためには働く場所を造る。古い考えや年寄りの事ばかりではなく、若い世代に魅力あるアピールの仕方を考えて欲しい。魅力が沢山あるのにアピールがもの凄く下手です。新しい風を入れることを怖がらず、本気でやって欲しいです。子ども達のためのまちづくりを！！
- ▶ 保育所と近い職場があると助かる。高齢者の運転がとても怖いので出来たら返納を促す、何か市としての取組に期待したい。
- ▶ 幼児教育無償化がスタートしました。館山市では幼稚園の3年保育（教育）は実施されないのでしょうか？是非実施していただきたいです。また無償化の対象でない子ども達も平等に恩恵を受けられるようにしていただきたいです（家庭保育、自主保育当。「森のようちえん」の様に良い教育をしているにもかかわらず、対象でないのは如何なものかと・・・）。子どもは減っていますが、子どもへの投資を惜しんでいると益々子どもが減り、人口減につながると思います。館山市が消滅都市にならないよう願っています。
- ▶ 給食センターと三中新校舎を子ども達の為になるべく早く行って下さい。少子化は進んでいます。子どもを安心して産んで育てられる社会を望みます。

- 子どものいる家庭への助成は手厚い方が子どもの数が多少は増えるかも知れません。2 中と 3 中が合併し、現 3 中の場所に新校舎が完成して生徒が全員そちらへ移ったあと、2 中の跡地に企業などの誘致は可能でしょうか？土地を遊ばせておくのは勿体ないので・・・。
- 子育て支援を充実させてほしい。具体的には、出産・検診無料化→お金がかかりすぎだから産む人が増えない。保育園 0 歳児から無料→0、1、2 歳が大変なのに 3 歳から無料にされても負担は余り減らない。高校までの学費、医療費、給食費無料→日本は子どもが大きくなるまで親の払う額が多すぎです。
- 高齢者や身体困難の人達の安心できる所(病院、やすらぎの郷)が近くに欲しい。高齢者の一人暮らしの多い村ですので、淋しさを紛らわす場所を、近くの所で出来る様。
- 子ども、高齢者、弱者が安心して暮らせる街づくり。子どもの虐待、いじめ等は困難な事もあるが、事件になる前に防ぎたいものである。
- 高齢者でもアルバイトできる職場(半日程度、週 2~4 回)、少しわがままで贅沢だと思いますが、ボケないで健康でいられる時間、環境づくりができればと願います(要望)。
- 介護施設に入りたくてもあまりの料金の高さでたくさんの数があっても入れないのが現状だと思います。
- 町内であまり子供の声が聞こえない。子どもを産む環境問題。後継、結婚しない声が聞こえます。高齢者福祉タクシーの台数を増やして、頼むと予約合わないとかだめといわれとても不安。身近で頼みたいので町内の民生委員の方を声かけして頼んでもよろしいのですか？
- 障害を持つ家族、本人のいじめなど問題になっています。家族以外の理解があると生きやすいです。医療と学校との通うのが大変です。場所もバラバラなので。子どものことで働きたいが働けない現実。
- アンケートは税金の無駄使い。救急車がこの安房地区で 7 台では全然足りない!!館山市 1 台では全然足りない。
- 医療体制の充実(館山中心部と周辺の連携)。道路の充実(車がすれ違える十分な広さ。救急車、消防車のスムーズな対応)。
- 高齢者が住める家の確保(共同住宅等)。生活保護者が入居できる家、37200 円ではないので何とかして欲しい。
- 負担は大きくなれども、子どもや高齢者など立場の弱い方たちが、不安無く暮らせるようにして欲しい。職業柄、子ども達が年々減少していきさみしいし、将来が不安です。
- 高齢者の増加により、運転免許証の返納を考えている方が多くなってきていると思います。西岬地区はバス運行も少なく、困っている方が多いです。市が運営する巡回バスや乗合タクシーなどの利用は出来ないでしょうか？移住してきた方も自動車が運転出来なくなると又生活しやすい町へ移住してしまったり、都会にいる子どもの所へ引越す方が多いのが現状です。館山市として高齢者の事を考えた政策を打ち立てて頂きたい。
- 館山を好きになり移住したが、他の地域に比べ何の補助もなく、移住者に対して好意的ではないと感じた。子どもが出来長く住みたいと思っているが、保育園や学校、学力は整っていないように感じている。病児保育を増やして欲しい。土日祝日も預けられるサービスが増えて欲しい。女性がフルタイムで働きにくい。もっと税金を有効的に使って下さい。
- 低年金生活者(又は生活保護者)に働く場所と生き甲斐をと思う。毎日ぶらぶらしている姿

は痛ましい。何か充実感がないものかといつも考えさせられる。

- ▶ 子どもは土曜、日曜、夜など病院がやっていないときに体調を崩す。深夜に鴨川亀田まで往復し、寝ずに仕事へ行くのは辛い。小児科 24H 診察をお願いしたい。給食センター復活まで弁当が毎日辛い。週に 1 日くらい弁当を頼めるだけでも有り難い。
- ▶ 若い人達を館山に引き込む具体的な政策が必要だと思う。SNS で館山の魅力を拡散。住む場所、仕事、子育てなど金での補助も入れたら良い（子育てと住む場所の提供）。医療機関はもっと高度な病院を館山の中心部に造るべき。とにかく若い人の意見を優先しなくてはこれからの発展はありません（20 代、高校生の意見を聞くべきです）。子育て支援は他の市よりも優先して下さい。危機感を持った運営をして欲しいです。市の運営はビジネスだと思います。スポーツ、XJAPAN など館山は凄い人や事があるのに全く活かせていないと思う。
- ▶ 病児保育が充実してくれたらもっと働きやすくなると思います。行政での実現が難しいようであれば、ファミサポで病気の子どもの見ますよ!というシステムがあればとても助かるのかなと思います。ファミサポだと元気な子が対象なので検討していただきたいです。
- ▶ 子育てしています。元気な広場や図書館、良く子どもと利用させて頂いています。無料なのに広くのびのび遊ばせる事が出来るし、本は沢山あるのですごく気に入っています!!館山市凄く好きな街ですが、我が子が大人になったときに館山にいるのか分かりません。大きい会社の誘致、良いところを SNS で発信。子どもの学童の充実。館山市の平均給与だと共働きが当たり前かと思います。給与が上がる何かがある。安心して預けられる施設の充実、お願いします。
- ▶ 大学進学で市外へ出た若者が戻ってくる街にして欲しいし、そうする為の協力出来る事があれば良いと思う。また定年退職された方の能力、知恵、主婦として家事、育児を経験された方の能力、知恵を活かせる活気有る街づくりが必要だと思う。観光客に優しい街ではなく、市民に優しい街、市民が生きやすい街にして欲しい。公園に高齢者も気軽に安全に使える健康器具を設置したらどうか。医療費削減にもつながると思います。
- ▶ 町内が高齢者や独居が多くなり、近所の付き合いがなくなりつつあります。定期的な聞き取りや外出できる場所があれば良いと思います。高齢者は引きこもりになりがちですので、会話する場所を求めているようです。
- ▶ 低所得者（年金が少ない方）が入居できる介護施設、造って欲しいです。
- ▶ 高齢者が福祉サービスを受けるときの最初の窓口が分かりづらい。生活が行き詰まり介護や支援が本当に必要になってから、ギリギリになって周りの介入で、介護の申請を受け始める人が殆どだと思う。介護予防やそれよりも前の段階から利用できるものを高齢者にも分かり易く、利用しやすくなっていたらよいと思う。
- ▶ 健康塾が今年度で終わりますが、高齢者集団なので、「ゆるストレッチ&ヨガ」のような体を動かして過ごしたいので、そう言う施設がほしい。無料でなくとも良く、近いところで行えることが一番です。
- ▶ 大規模病院の誘致。
- ▶ 子供医療費の無料化。
- ▶ 段々と高齢になってくる。働いているときはいいけど、いざとなったら誰でも入れる施設にしてほしい。

- ▶ 子育て世代に優しいまちづくりを希望します。乳幼児でも遊べる遊具（乳幼児でも出来るブランコなど）がなさ過ぎる。公園で遊ぶと言っても遊具が少ないと子供が興味を持たない。そうすると遊ばせる場が見つけれなくなり、親は辛い（家でずーっと一緒に居ることは息が詰まりとてもストレス）。車移動を必須とする館山は、子供との移動も車が多い。母一人で子供を乗せ買物に行き、重い荷物を乗せたり降ろすのはとても身体に負担。店員さんなどが車に運んでくれるシステムなどが必要だと思う。又、子供が車内で眠っているときどうしても外へ買い物や用事があるときに、車内にいる子供を少しの間見てくれるサービスがあっても良いのでは・・・と思う。チャイルドシート乗降、体重の重い子を抱っこしての買い物はとても辛い。現実的にあまり良くないと分かっているけど、車内に子供を置いていくことがあると言っている親は多いです。
- ▶ 医療施設体制の充実を願いたい。総合病院というと鴨川まで行くことが多く、子育ての時など小児科がなく困ることが多かった。これから高齢になった時のことを考えると、免許返納した後、交通手段についても心配があり、こういう高齢者へのサービスの充実を図ってほしい。
- ▶ バスの時間問題(車のない高齢1人暮らしなので)。地域にスーパーが無くて困っています(那古地区)。←お年寄りなのでネットでなく電話一本で配達してくれるスーパーが欲しいです。独居老人対象とか・・・切実です。死活問題です。是非！！
- ▶ 今又新型コロナの不安が増える日々、医療機関の体制充実も必要と思います。
- ▶ 少子高齢化が進み人口を増やして行くことが喫緊の課題の中で2人、3人以上の子育て世代の家庭に対して税金や補助金の厚遇をお願いしたい。子どもを多く産めない家庭が懸念しているのは生活費等の金銭面であると思うから。
- ▶ 高齢の1人暮らしが今後増えていくなか、働けなくなった時、デイサービスの利用の他に自宅訪問（支援、声かけ）などして貰える組織などができればいいなと思う。
- ▶ 君津中央病院、亀田病院に匹敵する病院の建設。南高を3中とし、3中跡地は市の施設として確保しておく。老人に優しい施設の建設。
- ▶ 元気な高齢者の出番を増やして、どんどん働いて貰う（ボランティア等に参加して貰う）。

【教育・文化】

- ▶ 館山に古くから住んでいる住民はもっと芸術文化に目を向け、向上して欲しいと思います。気楽に入り込むことが出来るような方向に協力していきたいと思います。
- ▶ 大学等の誘致の必要と交通の不便さを感じています。義務教育を終えたあとの若者流出が大きな問題！！仕事場が無く（収入源）、高校を卒業したらどうするのか？進学、求職全て地元で出来ると良い。Uターンする魅力がある町に！！
- ▶ 大きな音楽イベントを開催し、定期化する。
- ▶ 館山三中と二中の統合の件ですが、統合や建て替えは後にして、三中生を早急に二中に移動させることは出来ないのでしょうか。形式よりも生徒、職員の安全を優先に考えるべきだと思います。移転までに災害が起こり、生徒に被害があったら市は責任を取りきれないのでしょいか？
- ▶ 幼児教育無償化がスタートしました。館山市では幼稚園の3年保育（教育）は実施されない

のでしょうか？是非実施していただきたいです。また無償化の対象でない子ども達も平等に恩恵を受けられるようにしていただきたいです（家庭保育、自主保育当。「森のようちえん」の様に良い教育をしているにもかかわらず、対象でないのは如何なものかと・・・）。子どもは減っていますが、子どもへの投資を惜しんでいると益々子どもが減り、人口減につながると思います。館山市が消滅都市にならないよう願っています。

- ▶ 給食については地産地消だけでまかなうくらい地域から買って欲しい。お米、味噌、野菜など無農薬の物にして貰いたい。外国産の物、安心して食べさせられない。農業体験を全校で実施し、食と自然、人との繋がりを伝えていける教育をして欲しい。農業に対してもっと積極的な姿勢を見せて欲しい。南房総市は職員さんの意識や施策が充実していると感じる。
- ▶ 芸術家村→芸術家が集える街→新たな文化の醸成。
- ▶ 館山市には学生が勉強に使えて、大人も子供も本を借りて、そこで読んで時間を過ごせると、使える図書館がないのが残念です。旧南校の校舎は使えませんか？雨の日や休日に行ける。学びたいときに本を借りにも行く。図書館は本を借りるだけでなく、放課後の子供達が勉強できる、学校の勉強の補足が出来ること（ボランティアの先生がいる）館山市の活性化に繋がりませんか？子供達をしっかりと大人に育てていくことが、未来の館山市を作る一番の道だと思えるのですが。
- ▶ 学校教育の中に匠的な技術を習得できる部を設置する。
- ▶ 高校の学区では第8学区において普通科の高校は安房高と長狭高の僅か2校。これでは教育効果も上がらず、若者は目標を持ちにくい。
- ▶ 全国16万人不登校児童がいる時代で、館山市はどのように対応すべきで、どのようなことを実際に行っているのか疑問です。年々、児童が減っているにもかかわらず不登校が多い。学校側の対応も昔ながらで、現代の子ども達に対する対応、考え方は勉強不足としか思えません（学校の先生）。各学校で行われている保護者、生徒向けの学校評価アンケートの結果の内容は、いじめの問題、不登校の問題は多いと思われます。市教委ではこの結果内容は承知しているのでしょうか。発達障がい、人一倍敏感な子（MSC）の児童に対しての理解不足と勉強不足は実際に肌で感じているところです。中学統合なら尚更、より良い学校を目指すためにも、必要な理解と勉強は必須だと思います。義務教育は大人が子どもに対して教育を受けられる環境・機会を与える義務であって、子どもが政府の造った学校に通い続けなければならない義務ではないはずです（毎日欠席連絡をしなければならないのは、親にとって心の負担になっている人もいます）。支援学校でもない、発達障がいでもないグレーゾーンの子供達の中で、様々な理由から学校へ通えなくなった場合、フリースクールのような（NPO法人でやっている所など）場所は館山市にはないのでしょうか。ネットで調べても余りよく分からなかったです。人口が減っている館山市にとって子ども達は宝です。本来なら生き生きと目を輝かせて過ごしていた子ども達が、行き場を見失う状況がある事を重く受け止めて欲しいです。本人だけでなく悩み苦しむ家族がいることを知ってほしいです。学校と医療側と連携を組み色々な性質を持つ子ども達の生きやすい、過ごしやすい環境づくりと配慮を館山市に強く要望します。住みやすい館山市になるためにも。
- ▶ 便利でなく不便でもいい。それが幸せではなく、楽しく暮らせる街。押しつけは要らない。館山の子ども達が自由な発想をできる教育。みんな同じでなくても良い。館山を自慢できる

環境。美しい街、美しい海、たったそれだけで未来は明るい。しかしたったそれだけが出来ない。先ずは見えている所から変えていきましょう。みんなの力で。

- ▶ 自然と足が運べる市役所や図書館が欲しい。どちらも古い建物で暗いイメージ。特に図書館で1日過ごすことが出来る空間があると良いです。読書できる、勉強できる、コミュニティ（会話）できるスペースがあると楽しく過ごせると思います。市役所ももう少し明るい（新しい）方が良いです。何号館・・・とか別の場所に点々とあるのではなく、1箇所で用が済むとよいと思います。
- ▶ 館山三中の校舎が老朽化していることが分かっていたのに、もっと計画的に安全な学校生活を送れるように進めて欲しい。ヘルメット配布されていても震度5か6くらいで崩れてしまう。子どもの安全は守れないだろうと思う。大変心配だ。館山市全体的に車道が広く歩道が狭い。通学路がとても心配である。ガードレールを造って欲しい。子どもだけで行かせられる多種多様なスポーツクラブ、遊び場が沢山あると良いと思っている親は多いと思う（安全面から公園に子どもだけでは行かせられない）。
- ▶ 前澤氏からの20億円の活用方法について一言。切り割りにして使うことなく、学生やスポーツ団体が合宿したり大会が出来たりの為の大型施設建設に使って頂きたい。藤原運動場、市民グラウンドでは大学生の合宿等は呼べない！外からの来訪者が館山市にお金を落としてくれるようなプランを英断して頂きたい。担当者様、大変です！しかし明日の館山のためにロマンを持って御尽力下さい。
- ▶ 文化的な生活の拠点として、図書館を大きくして欲しい。南房総はレジャーには適した土地だと思う。安全なサイクリングロードやマラソンコースを設定すればもっと盛り上がると思う。
- ▶ これからも少子高齢化が進むと考えられる。今までの考えでの打開策は？子どもの教育の充実と福祉施策の充実を。
- ▶ 遠隔教育→デジタル化に対応し若者の流出を止める（学生）。起業家育成、教育、デジタル化の推進。
- ▶ 藤原球場を公式球場に整備し、ノンプロ学生が使用できるようにしたら、多くのチームが集まるのではないかと。出野サッカー場を利用する人達に、トイレ等見学者に良い環境をつくって欲しい。
- ▶ 出来れば、スポーツライミングが出来る館山になったら良いと思います。一般の人も気軽に体験できる簡単なものから、競技をしている人の本格的な練習場もある施設をつくれれば、観光+体験そして競技の大会の人口も集まります。地元の子供達も競技にふれあい、選手になるような人を育てる、オリンピック選手育成の地となれば良いかと・・・。人も増え就職する場も増えます。こんな夢物語はお金（財政）や土地などで無理だと、現実的ではないと言われそうですが、何かを考えていくことは大切なことだと思います。生まれ育った場所が残るように色んな人々からの意見が集まり考えて行きたいです。
- ▶ 館山カントリー裏の砂山も整備を整えれば、観光客やトレーニングに使いたい選手達がお金を払ってでもやって来ます。温水プールも改修工事を行い、団体の合宿などを積極的に誘致すればプール利用料だけでなく、宿泊や食事などでも館山市にお金を落としてくれるのではないのでしょうか。

- 小学校がとても人数が少なく合併して欲しい。
- 大学誘致、教育分化の都市というイメージ。
- 要望です。セミナー、講演の開催が定期的にあつたらいいなと思います。起業、自立で稼ぐ副業、働き方、啓発系、モチベーション、経済のことあたりのテーマで会社に依存せず稼ぐ人が増えたらいいなと・・・。刺激とそのきっかけ作りの為に。開催する場合は周知の徹底を。
- 上位試合が行われるサッカー場などのショッピングも出来る複合施設の建設はどうか？スポーツと経済両面から進めるべき。

【産業・経済】

- 観光推し路線を縮小した方がいいと思う。館山市は、はっきり言って観光というより、暮らすのが”良いまちだ”と思うので。昨今では在宅勤務や個人起業が容易になりつつある。つまり、都会や職場が沢山あるような所に住まなくてもいい時代だ。ここ館山は環境的に恵まれており、子育ても絶好の場所。さらに、何かあれば都心へも2時間ほどという、便利な地域だ。これを売りにして若い世代の人間をどんどん流入させるのもいいし、今館山にいる若い人の働く場所も、これを利用すればある程度残る・戻るという選択肢にもなる。そのためにも、在宅勤務や個人起業について必要なスキルや知識を子供の頃から教育していく方がいいし、また、そう言う人に対しての支援や講座など充実させて意識改革をした方がいいと思う。福祉やSDGsなども大切だが、今一番館山市が危機的状態なのは「人がいない」ということだ。「どうしたら新たに住んでくれる人が増えるか？」を、もう一つ大きな柱として取り組まないと、何もかもどうにもなくなってしまうと思う。
- 企業を誘致し、若者達を受け入れ充実し、人口増加を計るように努力を！！
- 財政が厳しいからこそ大きな変化が必要。もっとSNSで館山の良いところを発信、何か館山にしかない物を造る（前澤氏の20億円で）。古い考えや年寄りの事ばかりではなく、若い世代に魅力あるアピールの仕方を考えて欲しい。東京から車で1.5hで来られ、土地の価格は半分以上、でも給料は半分以上とすることはないので、一軒家を建てるのも夢ではない場所。イオンの空き店舗はとても廃れたように見えるので家賃を低くして店舗を埋めるべき！そこは市も協力した方がよい。何かBigなことをやって欲しいし、20億円をムダに使わないで欲しい。
- 冬の観光業の検討。
- 観光については安房地域一体となって取り組むべきだと思います。毎年、館山、南房総、鋸南、鴨川それぞれで紙のパンフレットが新たに作られていると、その印刷代はムダだし観光客からすると色々ありすぎてかえって分かりづらいです。観光についてだけでなく、教育や健康面、交通面でのサービスも連携できるところは進めた方が、お互いの市町にとっても良いのでは・・・と。館山に住み南房総で働いているとそう感じます。子ども達にはこの地の自然に触れる機会を増やしてあげたいです。里山、里海が折角あるのに、休日はイオンのゲームセンターで遊ぶ・・・なんて悲しいです。生活が悪い意味で都市化していると感じます。
- 館山市は私を含めて高齢化が進んでいると思います。移住者に沢山ある空き家を活用したら如何かと思います。

- 渚の駅のあり方を考える。ヨットハーバーを造る。観光客を呼ぶための努力をして欲しい。私たち東京から館山に移住して10年、北条海岸とバイパスは整備されましたが、若い人の働き生活できる体制が全く少なくなっている。企業を誘致して欲しいが、聞くとところ漁業、農業組合が反対するとのこと。市長の力、市議会の力が弱い。農業も会社制度にして若い人を集める。
- 「何故人口減少が続くのか?」、この観点から課題を洗い直し、行政、まちづくりに取り組んだら如何でしょうか?そのためには行政の建て直しを図る事が重要。そこで、観光業、農業、漁業をベースに新しい産業が必要(特にサービス業)と考えます。館山市の若い住民、移住者が起業したり、家業を継ぐことを支援する仕組みを充実させたい。
- 移住者に心を開き、住みよい行政、住環境を。意識の改革。「よそ者」的な意識をいつまでもお互いに持ち続けられないこと。
- 館山駅の周りの店が少なく、活がないためシビックプライドが薄らいでしまっています。もう少し観光の振興に力を入れたらと思います。館山市の良いところをアピール強化、館山市の名物、館山だけの一押し商品を駅前にアピールする看板を立てるとか
- 働く場の種類を広げたい。現在、ホテル(観光業)、病院、介護などがほぼ占めていて、若い人もどんどん都会へと流れてしまっている。観光業や医療、福祉はとても大切と思っているが、それだけしかないと魅力を感じない。都会からの企業をこちらへ呼び込み、また、こちらから(館山などに住みながら)都会へ仕事に行ける(行きやすい)様になると良い(今以上に移動時間の短縮)。
- 観光について。館山市民からのアンケートだけでなく、観光に来たお客様によかったところを聞いてみたら良いのではないのでしょうか。館山市民は当たり前、日常のことが地域外の人にとっては面白い、または新鮮に映るものがあるかも知れません。
- ペレット燃料製造と発電事業。夕日栈橋と海ほたるを繋ぐ定期船運航。八犬伝キャラクターによる地域活性化。花火大会の充実を宣伝(もっと多くの船から見られるようにする、3尺玉を上げる)。館山市の店を東京駅に出す(バス停の前とか)。自衛隊の基地を使い、航空路線の新設。地元廃棄食材による格安食堂の設置。給食センターを24h稼働(複数の会社に時間貸し)し、各種施設に惣菜の提供。
- 漁業の増大(遊休漁船の指導、漁協の超保守性の改善)。若者の定住強化(交通アクセス、特に都市通勤者対策)。アプローチ強力化(出産子育て無料化、定住予定者の賃料、建築補助)。海辺観光強化(常設、海産物展示販売。館山湾遊覧船常設。現在の海中観光船は何のアプローチもない)。釣り栈橋の常設(例えば横浜釣り栈橋等)。老後定住地造成。
- 企業誘致による若者の定住化。1、高速道路(アクアライン等)により東京方面まで距離は短くなっている。2、IT関連企業のように遠隔化で仕事が可能な業種を誘致することを検討して欲しい(参考に、和歌山県南紀白浜市の事業)。
- 同じ年代が館山に残っていないのでその人達をまた館山で住めるような町にして欲しい(働く場所、娯楽施設などの整備)。
- 移住者や定住者にやさしいまちづくり→良く意見を聞いていく!!外から見た方が良いことも悪いことも良くみえているから。自然の良さや食べ物、美味しさはもっと追求してアピールして欲しい。小さなコミュニティを大切に。実力者のコミュニティでは本当の意味では市

民の意見ではないと思う。コンパクトなまちづくり（シンガポールみたいな）→車で15分くらいで全てが揃う（役所、学校、病院、お店・・・）。便利な町にすると人も集まるのでは？テレワークの方を募る。

- ▶ 市民だけの活性化ではなく外国人を受け入れる体制づくりをしないと人口の減少は避けられません。まずは人口増加をするための方策が必要では？
- ▶ 雇用の創出の為、企業誘致。住宅の整備。厳しい財政状況だと思いますが、安全安心に暮らせるまちづくりのため、協力していただけると良いと思っています。
- ▶ 市は館山港の有り難さについてどう思っているのか？現在の港は外部からの残土の捨て場と化している。港を整備し企業を誘致し館山に於いて作り出す製品等を重視し、出来た物を道路が良くなった高速を使い、千葉、東京、その他全国へ送り届けるため、館山一大作業としたい！！
- ▶ 愛媛の松山では城をライトアップしたり期間限定の電車を走らせたりすることで、観光客を増やしている。館山市には「海がある」だけに頼っているように思える。県外からアイデアを情報収集し、観光客がお金を落とす取組を考えて欲しい。館山市のホームページを見ると市長の直接の言葉が直ぐ見れるようになっていない。館山三中に合併後生徒が多く集まると市役所前が混雑する（雨の時）。
- ▶ 若い世代がないので、企業、学校の誘致や婚活イベント等を積極的に行って欲しい。市のPRを上手にして欲しい。利用できるPRポイントは何でも使っていくように。
- ▶ 北条海岸の植木にミニライトを取り付けて夜間でも人が来る様なイメージはどうか。神戸レタスの一個食べ大会。賞品はレタス！館山温泉のアピール→バスの運行。
- ▶ 地元食材を使った地元料理の飲食店をバックアップする（寿司の街というわりに特徴がない、いわしの街の方がいいかも）。ちゃんとした地元の土産品がない。開発は必要では。各地区の公民館活動をもっと活性化させるべき。若い人が働ける企業を誘致しなければ、経済は下降線をたどる。至上課題です。間違いなく老人の街になっていくので東京から老人が引っ越してきて住みやすい環境を造る。これによって人口減少を食い止める。現状のまま20年後にイメージすると人口は大幅に減少し、経済活動は乏しく若い人は東京へ行ってしまいうでしょう。「限界市」です。思い切って手を打たないと「住んで嬉しい街」は創れません。強いリーダーが必要です。
- ▶ 働く場所の確保（企業誘致など）をしないと育った子どもが戻ってこない。自然溢れる良い場所で子育てにはよい場所だと思うが企業が少なく、親が生活できない。
- ▶ 台風以来、街は観光の街と言うよりブルーシートの街となりました。飛行機の中からブルーシートがよく見えるそうです。「悲惨」としか言えません。早く、皆さん、どうぞ館山へとアピールするような街にして頂きたい。海の大会など観光客を呼べるように。食の大会 etc、魚、肉、野菜、びわ、いちご、沢山ありますので・・・。
- ▶ 働き場を作って人口の流出を防ぎ、若い人達の活性化を進めて欲しい。大学も造りましょう。
- ▶ コスプレをしている友人がいるのですが、城山公園や砂川などはコスプレをする人達からも注目されていると聞いたことがあるので、そういった所で有料撮影場所の提供、機材、衣装等の貸出をするなどできたら収益に繋がるのではと思います。若潮マラソンでもコスプレをして走っている人を多く見かけたので、コスプレ部門など設置できたら良いのではと思います。

した。花畑（館野小前のひまわり畑など）も写真で映えるし良いと思います。コスプレをしている人達は撮影できる所を探していそうなので、「この場所は」「ここ」に許可を取れば撮影 OK みたいな情報があると凄く助かるそうです。館山では観光でも若い人はあまり見ないので、そういう情報を積極的に流して若い人を呼べると良いなと思っています。

- ▶ 館山市には多くの漁獲物や農産品がありますが、全国的に認知度が低いように思われます。物産を商品化しブランド力を高められたら良いと思います。他県に出掛ける（知人、親戚等）時に「おみやげ」に悩みます。
- ▶ 職場の充実。一生館山に住みたいと思える場所作り。もっと館山市に人々が来たくになる様なカジノ、シティ・ホテル、シーレジュー、などの充実の密集。都心からの利便、元よりオリジナルの富士の見える市の美しさ、花の美しさの宣伝強化。館山市でしか買うことができない何か、ウリを作る。
- ▶ 「だん暖たてやま」は月1回の発行では駄目ですか？もっと XJAPAN 色を出せないか？海岸通りをハワイアンな感じに出来ないか？余暇を楽しめる企業誘致、IT 系？駅周辺のシャッター街をどうにか出来ないか？前澤友作さんのプロデュースでなにかする。ガルパンの様なアニメをつくる。
- ▶ 若者が館山に残り、生き生き活動できる街づくり。館山に残り多くの方が就職できる会社等の誘致。これらは IT 産業等。
- ▶ 館山市、南房総市はのんびりして住むには良い環境かと思いますが、若者が活躍できる職場が少ないように思います。大手企業等誘致し、町を活性化出来れば若者が離れて行かなくて済むと思います。
- ▶ 館山は観光で支えられ、活性化されています。市の将来像・町興しを目的とした支援を若者、その他企業家へ。空き家活用など！遠隔教育→デジタル化に対応し若者の流出を止める（学生）。企業誘致→A1条件を活かし観光都市へ。社会保障→若い方々の負担軽減。働き方改革→非正規職員の賃金アップ（人材投資）。起業家育成、教育、デジタル化の推進。5G→人材不足、高齢化の対応 etc。
- ▶ 企業誘致、観光客誘致で「東京から近い」という考え方は捨てるべきではないか。幹線道路の流れが悪いため、激しく時間がかかる。観光に悪影響！里見八犬伝などのネタがあるのに観光に活かさないのが不思議。子育て支援より企業誘致に力を入れないと人口減少に歯止めがかからない。館山市の衰退に危機感を感じていないのだろうか。館山市に居住する理由がない限り人口は流出するものですよ。感情はさておき。
- ▶ 企業誘致を進めて働くところを増やして、人口を増やす。海産物の養殖や農産物の温室栽培を多く進めて貰いたい。
- ▶ 館山へ来訪される方はお魚料理を希望する方が多くいらっしゃると思います。富浦さかな倶楽部のような施設を造れば、もっと観光客が増え地元で落とされる金額も増えると思われま
- ▶ 春夏は観光客がますますだと思いますが、秋冬の目玉を考えて客を増やす。沖ノ島の活用。大企業の誘致。里見祭りのピーアール。
- ▶ 東口駅前より旧シネマ通りに向け、近代的ではなくレトロな田舎な街の異種雑多な集落地として、「素通りさせない」安価なくつろげる店等の配置、素朴な人情味溢れる、市民と観光客

- 等のコミュニケーションのとれる憩いの場があっても良いのでは……。それには資金、諸々の相談等「館山市街興し」としてバックアップしてやるのが不可否ではないでしょうか。
- ▶ 館山駅の花壇の中の電気を明るくして欲しい。駅の街灯を明るくして欲しい。駅舎中はキレイだけれどとにかく暗くて淋しい駅。元 UMC ジャパンの跡を観光客がくるようにテーマパークを造ったりして観光客を増やす。大企業を増やして欲しい。館山だと異性との出会いがないので、もっと出会いが出来る企画とかして欲しい。
 - ▶ 地域にスーパーが無くて困っています（那古地区）。←お年寄りなのでネットでなく電話一本で配達してくれるスーパーが欲しいです。独居老人対象とか……。切実です。死活問題です。是非！！館山市に大学又は専門学校等有れば若い子達が溜まるかも。就職先や大学がないから高校卒業後の行き先が、市外、県外に流れて帰ってこなくなってしまう……。広いアウトレットなど欲しい（折角高速つながっているのだから）。イオンに負けない駅周辺の再開発を是非←店側の賃貸料は高すぎない程度で。折角、良いところだから若い人達が住みたくなる、住み続けたくなるような街にしてください。帰省したときの娯楽がイオンだけのイメージしかないのは残念。楽しみに期待しています！！お願い事ばかりで御免なさい。
 - ▶ JR 館山駅周辺の商店を活性化して欲しいです。
 - ▶ 何処の街へ出掛けても何処の観光地へ出掛けても、お洒落な外部のデザイナーを雇ってつくったようなプロダクトが沢山ある。「ここでしか」というような独自性のあるプロダクトが私なら欲しいと感じる。均一的な都会風は必要ない。インスピレーションの源としての火種としての外部の力は必要だが、内側を育てない限り「行政の仕事は美味しい」と外部へとお金は流れて行ってしまいうだろうと思う。
 - ▶ YOSHIKI さんや前澤さんからの寄付金の使用用途を市民、県民、国民に分かり易く発信してください。こういう事に使っています、こういうふうには復興しています、と常に情報発信し続けることで、日本国民からの注目を集め、認知を得られます。復興と言っても元に戻すだけでは立ち直れません。少しでも成長しなければ、市全体が縮小してしまいます。現状を市民、県民、国民に伝え「ジブンゴト」として捉えて貰うことが、重要かと思います。市民一人一人、企業一つ一つの成長が、館山市の成長にも繋がります。若い人は多分、自衛隊の方が多いと思います。そう言う人達にどう館山市の発展に協力して貰えるのか、基地の人と話すのもひとつかと……。勿論その分若い人には何かしてあげてください。宜しくお願いします。
 - ▶ キャッシュレス決済できる店を増やして欲しい。特に Suica などを使える自動販売機や PayPay ができる店の増加を期待している。学生（中高）の遊ぶところがヤングボウルかカラオケ、イオンしかないで新しくつくらないと危険な遊びをする人達が増えかねない。
 - ▶ 有害鳥獣対策と館山市の特産物の目玉となる商品を開発して欲しいと思います。
 - ▶ 商店が少なくなり買い物に不便を感じる人が沢山いる。会社が少ないので若い人が都会に流れ、年寄りだけが取り残され街全体も活気がない。
 - ▶ 館山を離れていった若者が戻ってくるよう、会社を誘致して欲しい。高齢者が歩いていける場所（公民館）で、体操教室やカラオケ、ゲーム等で楽しめる機会をつくって欲しい（ポケ防止に）。
 - ▶ 生まれてからずっと 20 年以上館山にいますが、自然も多く、温かい人達が沢山の、とても住みやすいと感じていますが、本当に交通の便と就職先が少なく、若い人にとってはとても酷

だなど感じます。

- ▶ 観光インフラの整備が遅れているように感じる。例えば、沖ノ島の復旧の遅れ。通年の観光地なのに「立入禁止」・・・夏までに対応すれば良いとの判断か？廃屋や廃施設が放置されているように感じる。特に北条海岸通り。観光客の目線として寂れて見える。
- ▶ イベント等を実施する際、市民からの意見を基に市が企画、実行するのではなく、市民等やイベントの自主性にある程度任せ、市は市民等のアイデアを実現できるよう環境や特にルールの整備を行う事に重点を置いた方が良いと考える。
- ▶ 少子高齢化が進む中、サービスやインフラを今の状態で維持し続けるのは不可能であり、市民側もある程度覚悟が必要。今後、人口密度が低くなると、行政サービスやインフラ維持も益々効率が悪くなり、機能が崩壊してしまう。今の都市形態ではなく、ヴィレッジ（村）単位で、コンパクトシティ化し、サービスや施設整備をそのヴィレッジを中心に投入し、ヴィレッジ間の交通網のみの整備をすることで将来の整備費や維持費を抑えることはできないか。

【基盤整備】

- ▶ 鴨川市の様な知名度のある医療体制の充実化に力を入れ、空き家の再利用を考え、他県の方々へ住みやすさの魅力をアピールする。
- ▶ 子どもがいるのですが外で遊べるところが少ない。公園があっても遊具が使用不可になっていたり、数も少ない。みんなが楽しく遊べる公園があると嬉しい。
- ▶ 交通の便（車がないと買い物、通院できない）。
- ▶ 館山道（バイパス）やその他の道路際には雑草が生い茂り、海岸も打ち上げられた木、竹、プラスチック、その他のゴミがそのままの姿になっています。観光の街としてこのままでよいのでしょうか？
- ▶ 区画整備と市道の拡幅整備を推進すべき（下水道含む）。あるローカル駅を選び、駅周辺をノスタルジックにして観光スポットに変身させる。
- ▶ 館山道の完全複車線化。内房線の複線化。高速バスの充実。駅前、市街地の WIFI 設置（たてやま、フリーWIFI の設置）充実。市内 TV 地上波、BS、CS の受診の充実やケーブル TV の設置。
- ▶ 東京から車で 1.5h で来られ、土地の価格は半分以下、でも給料は半分以下ということはないのだから、一軒家を建てるのも夢ではない場所。
- ▶ 館山駅前には相変わらず寂れた雰囲気のまま、人の住まなくなった家屋が目立ちます。館山道が出来た為、益々人の行き来が無くなり、道の駅だけが人の集まる所となっています。
- ▶ 是非、お願いしたいこと。船形バイパスが止まっていますが、千葉、東京方面から来る人が、船形駅前の道を通って北条方面、又帰りも船形駅前より八束方面へ走りますが、道が細くて自転車の人、歩いている人はとても怖いです。八束の方から駅に通学している子も。市議の人で反対している人が（名前は伏せますが）いますけど、船形駅の所も電柱が出ていて走りづらいと聞きます。とにかく館山道の途中から一車線も大変ですけど、船形の駅より館山道に入る道を走ってみて下さい。必ず分かると思います。市の職員の方が一生懸命なのに市会議員が壊しているのは残念です。宜しくお願い致します。
- ▶ 館山南部までバイパスになり、良い道路を、歩道も。

- 自転車で、谷藤原あたりの切り割りを通ると道が荒れていて凄く怖いです。神戸や富崎から高校に通う子ども達も毎日通るので整備して欲しい。以前要望を出したが、全く改善されない。
- 高齢者及び免許証返納者の通院、買い物等に小型マイクロバスで良いから巡回バスを巡回して欲しい。
- 高齢化に伴い、免許の返納をしなくてはいけないのですが、買い物、病院等に非常に難儀です。表通りばかりではなく路線バスの入らない田舎道にも、小型で良いので公共の乗り物が絶対に必要です。
- 館山市に住み 13 年になりますが、2 年ほど前に主人が 83 歳になり、車の免許を返納したのでバス便で買物に行きますがとても不便です。西岬小学校のバス停から行けたのですが、道の都合で通行止めとなり、休暇村まで行き、バスで買物に行きますが大変です。
- 混雑する信号の改変。免許（車）返納しても良いような移動手段（マイクロバスのような大ききで頻回に）。
- 道路の充実（車がすれ違える十分な広さ。救急車、消防車のスムーズな対応）。
- 交通の便を良くする。127 号バイパスに路線バスを通す（高速バスの他に）。南房総市との連携によるコミュニティバスの運行。
- 家の近くに子どもが遊べる公園等が欲しい。
- 笠名地区の蟹田川の護岸整備について・・・永年の台風等での風水害で蟹田川の土手の崩落が目に見え、状態です。館山に移住して 40 年、歴代の区長が市に申請しておりますが、建設課曰く、整備は完了しているとの回答です。完了している川は宮城地区の豊津川です。蟹田川に面している数箇所の住宅の土手は補修済みですが、現場を確認してください。予算がないで片付けないで、災害は待ってくれません。樹木の伐採だけでもお願いします。②昨年の台風で被害を受けた住宅の修繕で出た家財や木材の処理に大工さんは困っております。解体業者優先なのか今現在産廃業者は受け付けてくれません。地域の復旧復興の為にも役所に一考をお願いします。
- 高齢者の免許返納と関係してくると思いますが、交通機関（バス、タクシーなど）の再構築が必要だと思います。車がないと何処へも行けず、この先学校の統廃合があるとよりバスの利用が増えると思います。
- 市街地循環バスを走らせ、地元民や観光客が利用できるように。館山市内に高速バスターミナルを造る。無料駐車場併設。
- 以前まであった特急列車の館山まであった便の復活。そうすれば以前のように県外からの人ももう少し来て観光産業が盛り上がるのではないのでしょうか？それが無理ならせめてもう少しだけ本数を増やすとかオリンピックが終わった後、外国（インバウンド）等の誘致のアピールにもなると思う。高速バスだけでは少し物足りないと思う。
- 電車の時間を 1 時間に 1 本ではなく、30 分に 1 本が良い。
- 年寄りの運転が怖いので何とか年寄りが運転しなくても暮らして行けるようなまちづくりをして欲しい。
- 景観を守るために街頭の広告看板をなくす条例をつくる。市内循環ミニバスを例えば 4 コースつくって 1 時間毎に走らせる（西岬館山コース、那古船形コース、九重方面コース、豊房

- 方面コースなど)。タクシーの迎車料金を無料にする（高すぎて動けない）。
- ▶ 子ども達の遊び場となる公園（遊具が大変整っている）が少ない。安全、安心して外遊びさせられる場所が欲しい。館山市全体的に車道が広く歩道が狭い。通学路がとても心配である。ガードレールを造って欲しい。空き家が多く、犯罪の温床にならないか心配。
 - ▶ 交通の利便性を向上させる。
 - ▶ 高齢なので自転車は絶対に乗るなどと言われてタクシーは大変なので、バス停、右に行こうか左に行こうかどちらも同距離で、雨風大変です。車社会でバスの本数も増やして頂きたい。
 - ▶ 高齢化社会に進む中で交通事故対策として免許返納した後の対策として、循環バス（公共バスの本数が少ないため）の実現を考えて頂きたいです。以前、市と住民の話し合いが開かれましたが、その結果は？（1箇所のみ買い物バスが実現されたのは承知済み）。市役所等の公共施設を館山駅周辺（バス停）に設置して欲しい。
 - ▶ 新しい道路の建設よりも市道の整備をきちんとして頂きたい。
 - ▶ 子育て、子どものためにもっと広い公園や遊ぶ場所があって欲しい。そこに、ベンチなど、お花など、年配の方もゆっくりしていただける・・・みんなのコミュニティも広がるまちづくりが理想です。今でもとても住みやすく良い町です。
 - ▶ 東京までのアクセス、バスは90分程、特急は120分、100kmの距離で時速50kmの特急ですが、スピードアップは難しいでしょうか？高速船は70分？通勤、通学が90分なら移住条件に入ります。ただ定期が高いので、住んでいる人は定期が安くなると有り難い。住民に対してJR、市、民間補助する形にして欲しい。
 - ▶ JR特急本数の増加、鴨川～館山間の終電時間の見直し。市内の幹線道路沿いの歩道（国分付近）の整備をして欲しい（電灯、広さ、デコボコ）。市内の公共交通機関の路線、時間帯の拡充をして欲しい。駅前の活性化が必要。
 - ▶ 要望・・・環境整備についてご承知のように館山市も高齢化社会となり、生活基盤が脆弱してきております。住居近くに商店がないため日常の買い物が不便。バスの便も少なく、停留所も遠く、高齢者にとっては、荷物を持って歩行は大変。これは市街地でも同様。人口減少と高齢化に伴い地域内は共同作業。例えば、生活道の維持管理、農道の草刈りなど、特に道の補修等には公的支援が望まれるところです。
 - ▶ 観光シーズンになると道路が混雑します。”ナビ”で裏道（抜け道）まで込みがちです。子を持つ世代としては旧道等、歩道のない道路の利用が不安です。急に道路を広げられないことも承知しています。そこで歩行者専用スペースでなく、自転車や自動車も通行可能な”歩行者優先スペース”を造っては如何でしょうか？心理的效果を期待して提案します。※図にて説明有り。
 - ▶ 元気な広場内が暗い。電気を付けてほしい。公園等の子ども達が遊ぶ場所が少なすぎる。道路のミラーが汚い。見えづらくてミラーの意味がない。バスの本数が少ない。タクシー夜やっていない。
 - ▶ 我が家の近くは道路や持ち主が遠方の方の土地があり、草が伸び放題で害虫や動物が増え、衛生的にも悪くなり、景観も悪く枯れているので火がついたら火事になり大変危険である。地域にとって良いことがないと思い、手刈りしていたが間に合わないので、草刈り機を買い燃料を買い休みを利用してボランティア的に草刈りをしている。20年になるが草の有料処理

が問題。市は無料処理は公共の場であれば、無料袋を配ると言うが、完全に公共の場でないために申請に行けない。市はこの様な条件の場所は公共の場に準じた場所として扱い、広報等に示し無料処理袋の支給を推進していますと、地域の景観の維持のために動く人を増やす対応をPRし、大量の草が出る春から秋にかけて動ける人の力を引き出す政策をお願いします。他人の土地は刈るのものはわかるが景観のため、又苦言も持ち主から出ていないので続けていきたいので、配慮を願いたい。

- ▶ 館山駅前、商店街にして貰いたい。大型スーパー等（イオン）バスに乗らないとなかなか行けないので、駅前に中小商店を増やして貰えれば、もう少し繁盛すると思います。若松屋から中村パン屋の道路、段差があるので歩いていても転びそうになり危ないと思います。早めに直していただきたいと思います。
- ▶ 高齢者の自動車運転・・・返納が進むように地区や市内を循環するマイクロバス、ワゴン車などを走らせるとか（有料でも良いと思います）。河川の改修工事を早く進めて欲しい。去年の台風、大雨で館野の稲は洪水のニュースをTVで見ました。
- ▶ 電車の便が年々悪くなってきているが、今後どのようにしていくのか考えを知りたい。
- ▶ 千葉、東京まで（から）一本の電車で行けない（来れない）。電車の場合、京葉線東京発着でなく、総武線東京駅発着の方が観光客も来ると思う。特急、快速で館山まで来れるようにしたらいいと思う（総武線で）。以前あった特別快速を復活させたらどうだろうか？（東京～館山を11両で）。買い物等に高齢、障害のある方や、車を持っていない人のために、安くタクシーやバスを利用出来ないだろうか？虐待がある。以前、足の不自由な方の歩き方を真似して集団でからかっていた小学生がいた。
- ▶ 市内各海岸の駐車料金の徴収。西岬地区には大型バスではなく、小型バスを路線バスとして、本数を増やしてほしい。※本数が増えなくても、道路環境的に小型にしてほしい。環境保全と観光推進のため、西岬地区にマイカー規制を導入する。公園の遊具を壊れたら直ぐに直してほしい。
- ▶ コメリ、しまむら、カインズ、バイパス方面に仕事に行きたい人や車を持っていない人や買い物に行きたい人達がいると思うから路線バスを出して欲しいです。館山駅東口のロータリーが狭いような気がするので広げられたら広げて欲しいです。館山駅から赤門へ行く方面と一緒に走っているJRバスと日東バスの2社が走っているので、お客さんがそんなに乗らないと思うので大型バスを止めてマイクロバスを走らせた方がよいと思います。館山市は活気がないと思います。
- ▶ 船形バイパスを早く。市内路線バス、乗降に困難なため乗降階段を付けてほしい（バス利用者より）。
- ▶ 病院へ行く手段が無いこと。病院の場合はマイクロバス等があるところもありますが、クリニックの場合は困ります。
- ▶ 少子高齢化が進む中、サービスやインフラを今の状態で維持し続けるのは不可能であり、市民側もある程度覚悟が必要。今後、人口密度が低くなると、行政サービスやインフラ維持も益々効率が悪くなり、機能が崩壊してしまう。今の都市形態ではなく、ヴィレッジ（村）単位で、コンパクトシティ化し、サービスや施設整備をそのヴィレッジを中心に投入し、ヴィレッジ間の交通網のみの整備をすることで将来の整備費や維持費を抑えることはできないか。

- バスの支払いで電子マネーを使えるようにしてほしい。
- 「車の免許返納しても生活に支障ない」などの他市、他県にない魅力の強化。

【環境共生】

- 館山の自然環境を活かした複合レジャー施設で子どもから老人まで楽しめる所があると良いです。
- 自然を活かした産業の誘致。サーフィンの大会←若者が増えるのではないか。自然を活かしたフェスの誘致（温暖な気候で海もとてもキレイなので）。
- 海の魅力を活かせる物はないかと思えます。
- 館山道（バイパス）やその他の道路際には雑草が生い茂り、海岸も打ち上げられた木、竹、
- 館山市はとても良い街だと思うのですが、海や道路などにポイ捨てされたゴミなどが目立つので、そこら辺を直した方がいいと思えます。
- 子ども達にはこの地の自然に触れる機会を増やしてあげたいです。里山、里海が折角あるのに、休日はイオンのゲームセンターで遊ぶ・・・なんて悲しいです。生活が悪い意味で都市化していると感じます。
- 洪水対策（どぶ川の整備など）。
- 海岸沿いを今より美しくする。渚の駅のあり方を考える。ヨットハーバーを造る。
- ゴミ集荷について。各々のゴミ集積場所が、ゴミ捨て場になってしまっている場合、個人がよく掃除を心がけているところがありますが、無関心の人が多すぎると思えます。そこで、毎月の広報で「あなたの出したゴミは収集されるまではあなたの家のものです。綺麗に出し、ルール通りに分別して出しましょう」という言葉を毎月の広報に載せるようにしたらどうでしょうか？目立つページで毎回目にすれば、少しは心がけるかなと思うのです。住みよい愛される街はやはり、一人一人の意識の高さが重要です。行政側の市民サービスだけでは一方通行で市民側も行政へ様々な無償の協力が欠かせないです。館山大好き。
- 地域に猪やアナグマが多く趣味で家庭菜園をするが収穫できない。市道を木や竹が覆い困っている。市道の草刈りは地域で行っている。高所作業車の手配を依頼したい。作業は地域で行う。
- 便利でなく不便でもいい。それが幸せではなく、楽しく暮らせる街。押しつけは要らない。館山の子ども達が自由な発想をできる教育。みんな同じでなくても良い。館山を自慢できる環境。美しい街、美しい海、たったそれだけで未来は明るい。しかしたったそれだけが出来ない。先ずは見えている所から変えていきましょう。みんなの力で。
- エネルギーの地産地消。
- マイクロプラスチックってご存じですか。プラスチックが風化して小さくなった物であります！山や街、道路脇の至る所に捨てられています。最近特に気になって、犬の散歩時、朝夕目についた物はタバコに吸い殻に至るまで拾うようにしています。観光地を目指すのであれば、もっともっと市民が一つになって、街のため、子や孫のために綺麗な未来を残すべきでは！私が初めてシンガポールに行ったときはゴミ捨てに対する罰金がありました。シンガポールは”日本は自分の家の前をきれいにする”に感動して実施したそうです。あれから40年シンガポールは今や誰でも行きたがる一流な観光地であります。もっとゴミ拾いの日を多くす

べきと考えます。素敵な館山にしましょう。

- 館山市の将来像。館山市の将来像は現在閑散化している館山駅東口地区の再生の改善を図り、繁華街のまちづくりに市民及び関連団体等が一体となり、促進運動の企業を立ち上げて研鑽、推進して行くのが肝要である。また観光館山市のPRについても全県にわたり行楽地の誘致を展開して推進していくことが重要であると思う。
- 耕作放棄地が近所であり、草も凄く生えて竹も竹藪になってしまい、そうなる管理もできなくなり更に酷くなる状態。そう言う土地は市内にも沢山あると思います。持ち主も高齢者とか市外県外に住んでいて、どうしたらいいのかと思いつつそのままかも知れません。活用法の提案とか、何件か放棄地を集めて、例えば北海道のような大きな畑をつくって農業をするとか？市営って無理でしょうか？公営墓地、霊園をつくるのか？使っていない土地をそのままでは勿体ない気がするのですが、予算もあるでしょうから、難しいのも分かりますが・・・。
- フラワーラインが出来てから、数十年が経つと思います。路肩の白線が殆ど消えている。中央線（オレンジ色）も薄くなっている所が多くなっているのでキレイに塗り直してほしい。競輪の練習している人や自転車に乗っている人も走りやすいのではと思う。ゴミの収集に関し、出す時間は決められているのに遅いときは昼過ぎになっても来てないのは何故ですか？特に燃えるゴミ出しの日です。
- ゴミ捨て場が遠くて少し不便に感じている。
- 自然があり暖かく、空気も綺麗でとても良いところなのですが・・・。どんどん増える一方の野良猫に何か対策をして欲しいです。去勢や避妊もせず外で多数飼育している家が沢山あり、糞尿や敷地内で子猫を生んだり死んだり、野良猫化して大変迷惑しています。
- 城山を重点とするならば海岸線には松等の植樹が望ましい。
- 雑草が背丈ほど伸びて樹木の枝は伸び放題になり、気温が高くなると害虫の発生が酷くなっても他人の土地に立入、薬剤を散布することも出来ない。聞くとところによると数年前に家主が存在していたそうだが、自分の家を放置したまま行方不明になっている無責任な者に財産の所有権は認められるのか。何処の空き家空き地も少なからず近隣に迷惑を掛けている。それでも手も足も出せない愚かなことになったものだ。正常な状態で生活できる者が、迷惑して苦しんでいるのに救うことも出来ないようでは情けない話ではないのか。
- 館山市全体が総てに行き届いた住みよい町として宣伝するのは、上下水道が完備出来ていなくて、自信を持って呼び込めません。個人で出来るものでは無いため、大事なことだと思います。
- 空き家の敷地から木や草が道路へ伸びている。処理をして欲しいです。

【防災・安全】

- 電柱なんか埋める前に津波タワーを建ててください。気仙沼や大船渡の様になりますよ？20億円貰ったようですが、それで給食を提供したり、台風被害家庭援助したりしないんですか？まちづくりの前に復興でしょうが。
- とにかく台風の被害を受けてしまった家や施設の復興を早く完了させて頂きたいです。
- 子どもの弁当づくりでストレス。毎日毎日休む日がない。簡易給食のメニューが増えないなら全員簡易給食にしてくれれば、子どもも諦めてそっちにしてくれる。北条幼稚園を建て直

したときに、一緒に給食センターを造ってくれば、こんな風になっていない。長い間空き地で対応が遅い市のせい。今は自分の家庭で精一杯なのにまちづくりのことまで、考える余裕がない。まだ災害の被害受けている人が沢山。

- ▶ 館山三中と二中の統合の件ですが、統合や建て替えは後にして、三中生を早急に二中に移動させることは出来ないのでしょうか。形式よりも生徒、職員の安全を優先に考えるべきだと思います。移転までに災害が起これば、生徒に被害があったら市は責任を取りきれないのででしょうか？
- ▶ 警察によるパトロールの強化（違反者や補導など取締を増やすため）。洪水対策（どぶ川の整備など）。
- ▶ 災害時の罹災証明、義援金等は手続等簡単に補助金も早く出して欲しい。
- ▶ ”広報たてやま”について・・・昨年の台風 15 号（9 月 8 日）半日で 1 ヶ月分の降雨（10 月 25 日）「警戒レベル 4」が出ましたので、避難して下さいと放送がありました。9 月 16 日「レベル 4」だけでは分からないので NHK のように上限「レベル 5」のうちの「レベル 4」だからと危険度を表して下さい。と交換手に依頼しました。10 月 25 日の放送でも「レベル 4」と前回（9 月 16 日）と同様でしたので、二度の電話をしたのですが、交換手から”広報室”に伝達されているのか心配です。気象庁、NHK の発表のように館山市も警戒レベル 5 を追加して下さい。※図にて説明有り。
- ▶ 市職員の皆様には日々お仕事お疲れ様です。市民のために市を良くするためにありがとうございます。9 月の台風の後、大変な毎日だと思います。あの日を境に生活も生き方も考え方も変わったように思います。まだまだ家の修理の目処が立たず、不安な日々ですがこの経験をプラスにしていく必要があると考えます。私は家族や友達と「良い経験できたね。自然の大きさを強く感じる。自分の生命を守るためにはどうしたらいいのか対応していこう」などと話をしています。市に是非やっていただきたいこととしてお願いします。☆台風 15 号、19 号当について市民アンケート☆色々な団体、地区等の声は聞くことができると思うのですが、1 人 1 人の声は中々聞くことは出来ないと思います。でも今回の場合は 1 人 1 人の困り事が違ったと思うのです。その声を聞いて欲しいのです。それに対して何処まで対応できるのか分かりません。勿論無理なことも多いと思いますが、先ず聞いて欲しいのです。そこからこれからやるべき事、進む方向が見えるかも知れません。＜今回の台風への不安が少しでも小さくなるように＞。
- ▶ 安心して暮らせる市；ハザードマップの充実をお願いします。他市のハザードマップで降水量に応じて何 m 浸水等の情報が載っていました。館山でも浸水事例があるはずですが。内水と記載があってもどの位の雨で内水氾らんするのか分からなければ、対策が取れない。今後、台風 19 号のような災害があったら、館山市はどうなるのか予想できると、個々の災害意識が変わると思います。
- ▶ 北条海岸の防風の松林を再生するように望みます。防災と景観のため。
- ▶ 市としての津波避難対策の強化が何もなされていないように思われます。他県では巨大な津波に備えて対策が進んでいるようですが、我が館山市はどのような対策を今後とられるのかお考えをお聞かせ下さい。私の住んでいる地域では 7~10m の津波がもしも襲ってくるようでしたら逃げ場を失う人がほとんどです。

- 災害に対する対応の充実。
- 今後の天候変動と台風等の災害増に対応できる体制整備と、大雨、土砂災害に対するハザードマップの見直し、住民への周知。
- 台風 15 号、19 号の復興を早く資金の方も早く出してください。実家も全壊しましたが、どうすることも出来ず、子どもの家を泊まり歩いていて気の毒に思います。
- 台風による被害を受け家屋が段々朽ちていくことを眺めるだけの高齢者に、どれだけ心的にも支えることができるのでしょうか。よりよいまちづくりを推進するのなら、今の現状にもっと真剣に取り組むべきでしょう。弱者が困る館山市政にガッカリです。困った人が「ありがとう」と言える対応、対策を望みます。
- 昨年の台風 15 号の被害対策について館山市職員の対応を強く非難する。1、ブルーシート配布について開始時間が広報されている時間に行くのと配布が終了していた。2、配布者の確認もしないで無記名で配布。3、列に並んで複数回受領できた。4、隣接自治体は上記のようなことはなくマニュアルに沿って適切に配布されたと聞いた。館山市への質問。1、ブルーシート配布についてマニュアルはあるのか。2、担当者への周知は適切に行われていたのか。3、庁内で反省会は行われたのか。4、上記の件について市民に広報を要望する。以上。
- 笠名地区の蟹田川の護岸整備について・・・永年の台風等での風水害で蟹田川の土手の崩落が目に見える状態です。館山に移住して 40 年、歴代の区長が市に申請しておりますが、建設課曰く、整備は完了しているとのことへの回答です。完了している川は宮城地区の豊津川です。蟹田川に面している数箇所の住宅の土手は補修済みですが、現場を確認してください。予算がないで片付けないで、災害は待ってくれません。樹木の伐採だけでもお願いします。②昨年の台風で被害を受けた住宅の修繕で出た家財や木材の処理に大工さんは困っております。解体業者優先なのか今現在産廃業者は受け付けてくれません。地域の復旧復興の為にも役所に一考をお願いします。
- 台風 15 号により避難所の整備が必要であると痛感しました。公民館とかではなく多くの人が入れるようなきちんとした建物が必要と思います。又、避難所へ行くときどんな物を最低限持っていけばいいのか教えていただけたらと思います。
- 台風 15 号、19 号（2019 年）で被害に遭ったことで、大小にかかわらず少しでも義援金を配布して貰えればと、日頃考えております（証拠があればの話ですが）。折角、XJAPAN の YOSHIKI さんやゾゾタウンの前澤社長さんに「館山大好き」と義援金を頂いたのですから。勿論館山のために使い道はいっぱいいっぱい有ることでしょう。しかし、義援金は義援金としてそのための有効活用をして頂きたいと願っております。※ちなみに私は台風 15 号の時大変怖い思いをしましたので、19 号の時は避難させて頂きました。その節は大変お世話になり、今の若い人達の優しさ、御親切には非常に有り難く思っております。そのお陰で安心して夜を過ごすことが出来ました。こんな書面でお礼を申し上げるのは失礼かと思いますが、本当に嬉しくて心が癒されたのです。ありがとうございました。
- 道路が暗い、街灯が少なく冬の夜道は怖い。自転車を通っている学生さんがとても危なく感じています。全部の電柱でなくても 2〜3 本置きにでも設置を考えて頂ければ幸いです。
- 災害（台風 15 号）を経験して。社会福祉協議会の職員の対応（優しさ）に感謝しています。又、数名の市会議員の方々の困っている人に対する対応を見て心を打たれました。災害時の

ブルーシートの配布の件ですが、高齢者がコミセンまで貰いに行かれず苦情を痛感しました。若い人は家族で10枚も貰った人もいたようです。雨漏りしていても一枚もない状態を目のあたりにしましたので今後検討して頂きたく記させて頂きます。部落毎の配布をお願いします。

- 津波から身を守るための高台なども大切だと思います。
- 台風19号の時に館山小に避難しました。係の人はとてもよくやってくれて有り難かったですが、情報が全くなくて不安でした。テレビがあればとても良いと思います。
- 地区内に空き家、空き地が多くなっています。防犯上とても不安です。対策を考えて下さい。災害に強い公営住宅が生活に便利な場所にあつたらと思っています。特に高齢者（年金生活者）が多くなっているため。
- 台風時（今も）対応が遅く、又家の修理が今も出来ない。
- 市からの放送が聞き取れない（外でないと分からない）。市内の街灯が少ない。
- 昨年の台風15号が房総地方に甚大な被害をもたらせました。そこで早急に市を挙げての防災訓練の実施をお願い致します。

【市民参加・行政運営】

- ダイバーシティの推進。障害者、性的少数者など社会的マイノリティ、外国人が住みやすいまちづくり。障害者支援。同性パートナーシップ制度。通訳や英語など外国語への対応など。既存の風習やルールにとらわれずに何が必要かから対策を考えて下さい。よろしく申し上げます。
- 旧態依然した行政を打破し、思い切った思考で行政を推進する。安房都市一体となり行政の推進を計る（安房市をつくる）。国家行政施設の誘致。
- 一部ですが感じが悪い（対応等）、暗い。
- 高齢化が進んでいると思うので、高齢になっても個々の健康状態、能力に応じて個々のニーズにあったお仕事を提供し、生き生きとした老後を過ごすことが出来るようにもっと自由に参加可能な施設、ボランティアなどの広報を積極的に分かり易く提供して欲しい。
- 那古バイパス（船形）は館山全体を考えた時、さほど重要（必要性）が低いと思う！！そのお金をもっと必要なところのために利用すべきではないだろうか？もう決定されたことで無理であろうが・・・市長が自分の地域の為にやっているように思えるのは・・・何故！これは一例で、市民全体が納得できる行政運営を心掛けて欲しいです。
- 「何故人口減少が続くのか？」、この観点から課題を洗い直し、行政、まちづくりに取り組んだら如何でしょうか？そのためには行政の建て直しを図る事が重要。そこで、観光業、農業、漁業をベースに新しい産業が必要(特にサービス業)と考えます。館山市の若い住民、移住者が起業したり、家業を継ぐことを支援する仕組みを充実させたい。
- 市長、助役、課長級職員の報酬を減らす。一般職員の報酬を1/10程度上げ、非正規職員を増やす。南房総市より少ない人数、少ない報酬で働いておりなんとかしたい。現在の市長は県内の平均以上の報酬を受け取っており「金がねえ、金がねえ」という前に身を切るべき。長期政権なので辞めるまで5/10カットでも元が取れると思うが。船形バイパスがらみの利権はないのか？一部の議員しか、反対しなかったのは何故だろう？前澤友作さんらの支援金約22~23億円の収支報告をしてほしい。どさくさに紛れて船形バイパスを完成させないで

ほしい。財政破綻するのは銚子市か？富津市か？はたまた館山市か？

- 行財政見直し。既存施設、施策のスクラップアンドビルド。スリム化。新規施設（ハコモノ、特に道路等）の建設禁止。
- 安房4市町村統合の推進。
- もっと若い方が市長をやった方がよいのでは？ここ数年市長が変わっていませんが、館山も何も変わっていません。若い方の意見を取り入れるべき。あともっと税金を減らしていただけたら生活が楽になります。
- 防災たてやまが聞きとれず、スマホ等で情報を得られない人にとり、ストレスになるときもある。もう少し聞きとれるような状況にあったら有り難いです。老いも若きも支え合い、つながりあった生活のできる館山を目指す為にも、市政に立った人々が対立し合うのではなく、一丸となり方向性を見つけて欲しいと思います。
- 市役所の雰囲気がかつても暗いのでは？閉鎖的なイメージがあるので、誰でも気軽に入れる（子どもから大人まで）窓口になって欲しいです。今年の台風で役所の方々も、とても大変だと思いますが、役所の方々の笑顔で館山市もこれから大丈夫なんだと感じられるので、私個人も身近に出来ることから一つずつ貢献できたらと思います。
- 民間より企画のプロを入れてテコ入れを行う。庁内でプロジェクトベースで業務にあたる体制づくり。計画と連動させる。人口母数拡大の為に、自衛隊拡張等、政治の力を活用する。環境保全においても”ビジネスチーム”を活用し、しっかり稼ぐ仕組みを入れる。安房の中心都市としてリーダーシップを持ち超高齢化地域の先進モデル都市圏となるようテクノロジー実験を積極的に誘致。統計はコンサルへの委託をやめる。
- 各協議会があり会議等が全て平日の昼間（仕事で全て出席できない）。
- 手続きの導線を作ってほしい（建物が別で移動して手続きするのが不便。市役所→コミュニティセンターへ行かなければならない）。
- 住民税が高い→館山独自の環境税がかかっていますか？台風被害の時、市と医療機関が連携できていないのが分かった。地域の医療機関との連携がどんな時でもスムーズにできるようにして欲しい。災害は予測できる物だけではないので。
- 館山市の将来像は現在閑散化している館山駅東口地区の再生の改善を図り、繁華街のまちづくりに市民及び関連団体等が一体となり、促進運動の企業を立ち上げて研鑽、推進して行くのが肝要である。また観光館山市のPRについても全県にわたり行楽地の誘致を展開して推進していくことが重要であると思う。
- 広報「だん暖たてやま」について、市の財政を考える上で月2回の発行を1回に減らしてはどうかと思います。内容もマンネリ化しているように思います。
- 少子高齢化、人口減少、それによる財政不足は避けられないので、本気でふるさと納税の強化に取り組んで欲しいです。具体的に返礼品の基準の範囲で、貰って嬉しい物を考えて欲しいです。有名な物（名物）でも心を動かさなければ無意味だと思います。去年は台風の被害により多くの方々が寄付してくれたように、人々が関心を持ってきているうちに情報発信して、現状をアピールしていく事はとても大切だと感じます。まだまだ大変な人達がいるので、市が支援されることを拒否せず、末端まで助けてあげて欲しいです。又折角頂いた寄付は町興しの専門家の意見を聞きながらお金を使って、それきりで終わるのではなく、永続

的に市が儲かり、サービスが充実して人口が増加する仕組みを考えながら使用して欲しいです。

- ▶ 市の財政を考えると環境を害さない商工業を誘致し、財政の安定と職場の確保をして、人口の増加を図ってはどうか。行政サービスの民営化、委託などせず市職員が元気を出して、働いて欲しいです（笑顔で）。スローフードの活用、循環も取り組んで欲しいです。
- ▶ 町内会の運営について一律にするのは無理ですか？会費が違う。班長になり手が少なくなった。負担の色々な違い。規則がはっきりしていない。
- ▶ 高齢者にも理解できるような市の刊行物などは、なるべく外国語を控え日本語でお願いします。
- ▶ マイナンバー制度、折角導入されたが活用されていない。行政対応ではないと駄目な部分が多すぎ。もっと気軽に手続き等できないか。スーパーやコンビニ等。利用上メリットも欲しいしたい。
- ▶ ”だん暖たてやま”タブロイド判の新聞でも良いのではないのでしょうか。現在区に届けられた冊子を担当者が班毎に仕分けして班長宅に届け、それを各家庭に配布している区がありますが、班長も高齢化しており月2回の配布も負担になっております。新聞折り込みの関連施設、市内の病院等に置くことも考えの一つではないのでしょうか。

【その他】

- ▶ 前澤さんからの寄付金の使い道を、市民に分かるようにきちんと説明して下さい。
- ▶ 大手企業の社長さんから多額の寄付がありましたね。何に使われるのか市民としては気になる場所ですね。細かい明細とは言いませんが、何か分かるように教えて頂けたら嬉しいですね。
- ▶ 前澤さんからのふるさと納税。企画を立ち上げ、実のあるものに、そしてさらにもっと大きくなっていくようなことを考えてほしいです。せっかくの寄付、無駄にならないと言うよりも無駄に出来ないですよ。市役所だけでなく広く意見を募り、良い結果につなげるようにしてください。上手く書けませんが、ただでもらったお金を軽く扱わないでください。公務員、税金で給料もらっています。利益を出さなくてもやれば良いということは悲しいです。私たちのお金を大事に使ってください、よろしくお願いします。
- ▶ 世界では今分断化が問題になっています。日本でも私利私欲のための政治、経済が際立ち、公共性が乏しくなっているように思います。身近な地域から老若男女みんなが融合し支え合いながら、誰一人孤立することのない、住みやすい、館山市、安房地域であってほしいと思います。